

第5次栗島浦村総合計画策定に 関する村民アンケート結果報告

令和6年2月

栗島浦村総合政策室

調査の概要

調査の概要

目的 第4次栗島浦村総合計画（令和元年6月策定。令和4年3月改定）の施策について評価・検証及び第5次栗島浦村総合計画の策定に役立てるため。

調査対象 令和5年4月1日現在で栗島浦村に住民票登録がされている満16歳以上の者

対象数 290人

調査期間 令和5年9月4日～令和5年9月30日

回収数 152/290（52.4%）

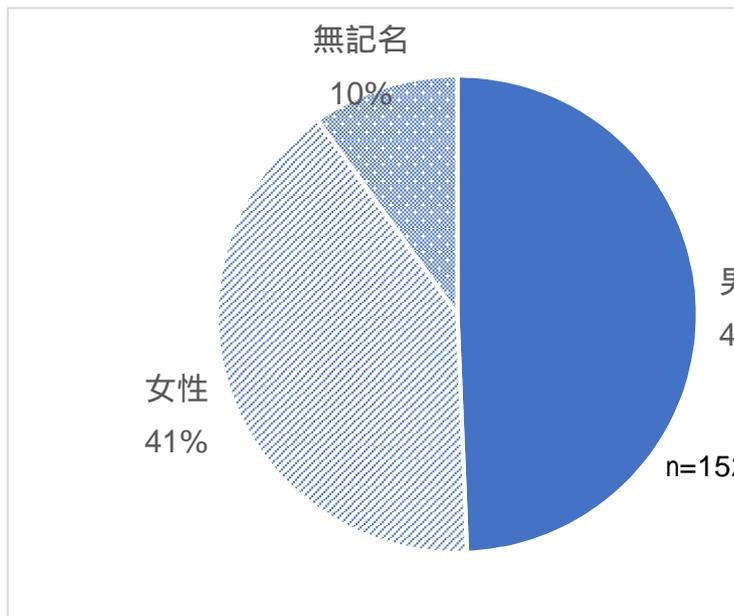
調査の結果

1 回答者の属性

①性別

男性が 49.3%、女性が 40.8%となっています。

表1 回答者の性別

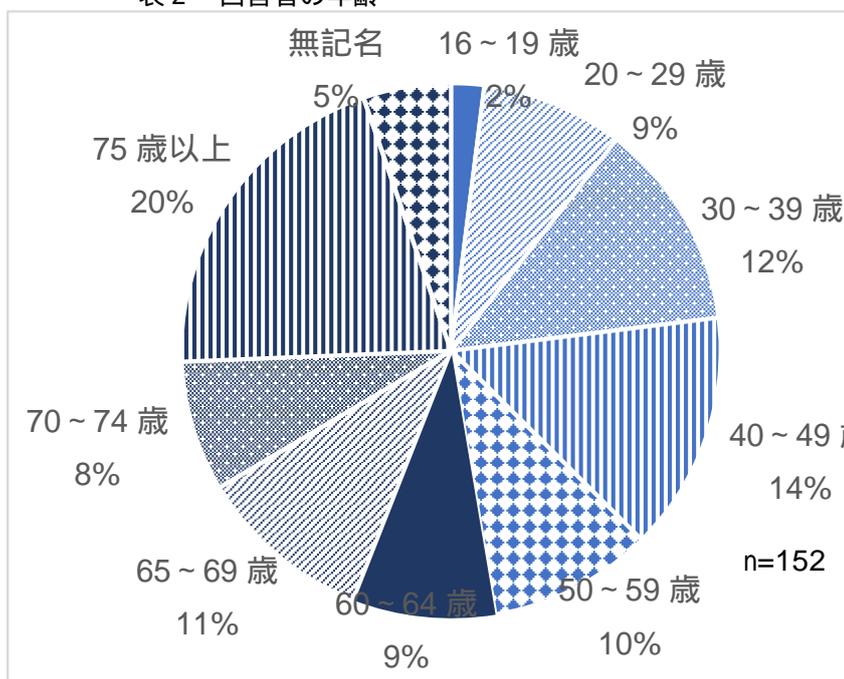


	回答数	構成比
男性	75	49.3%
女性	62	40.8%
無記名	15	9.9%
合計	152	100.0%

年齢

「70歳以上(28.3%)」が最も多く、次いで「60歳代(19.1%)」、「40歳代(14.5%)」、「30歳代(12.5%)」、「50歳代(9.9%)」、「20歳代(8.6%)」、「10歳代(2.0%)」の順に続いています。

表2 回答者の年齢

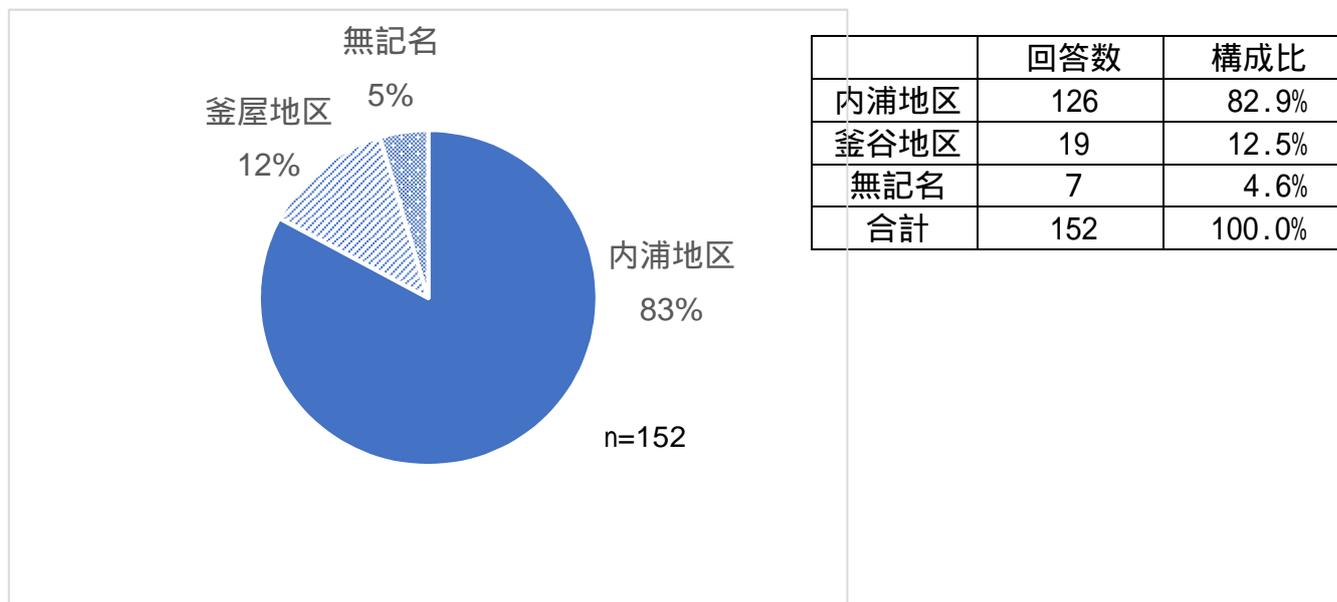


	回答数	構成比
16～19歳	3	2.0%
20～29歳	13	8.6%
30～39歳	19	12.5%
40～49歳	22	14.5%
50～59歳	15	9.9%
60～64歳	13	8.6%
65～69歳	16	10.5%
70～74歳	12	7.9%
75歳以上	31	20.4%
無記名	8	5.3%
合計	152	100.0%

居住地区

「内浦地区(82.9%)」が最も多く、次いで「釜谷地区(12.5%)」となっています。

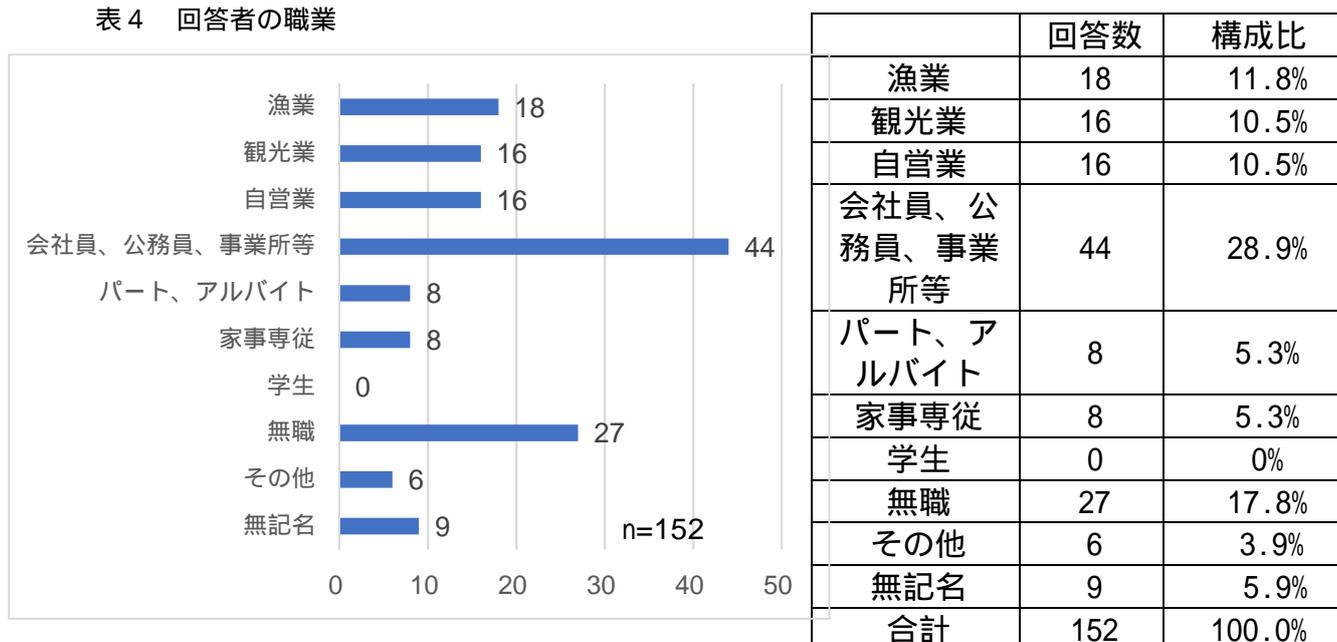
表3 回答者の居住地区



職業

「会社員、公務員、事業所等(28.9%)」が最も多く、次いで「無職(17.8%)」、「漁業(11.8%)」、「観光業(10.5%)」と「自営業(10.5%)」、「パート、アルバイト(5.3%)」と「家事専従(5.3%)」の順に続いています。

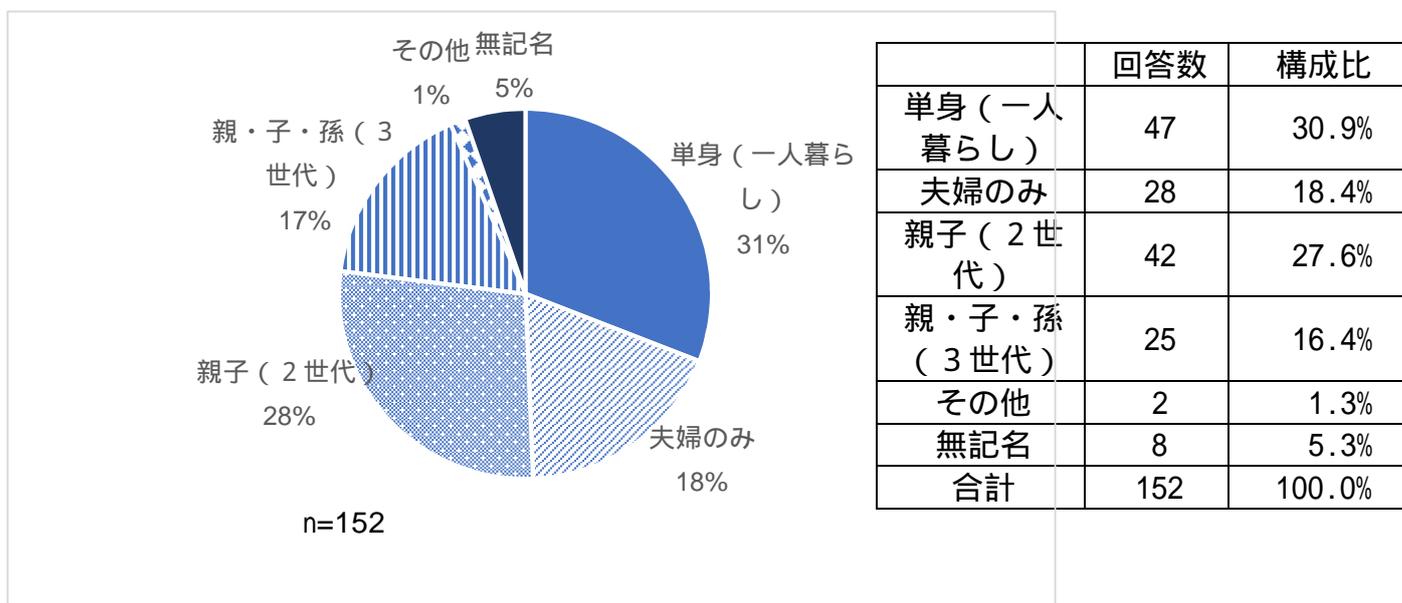
表4 回答者の職業



居住世帯

「単身(一人暮らし)(30.9%)」が最も多く、次いで「親子(2世代)(27.6%)」、「夫婦のみ(18.4%)」、「親・子・孫(3世代)(16.4%)」の順に続いています。

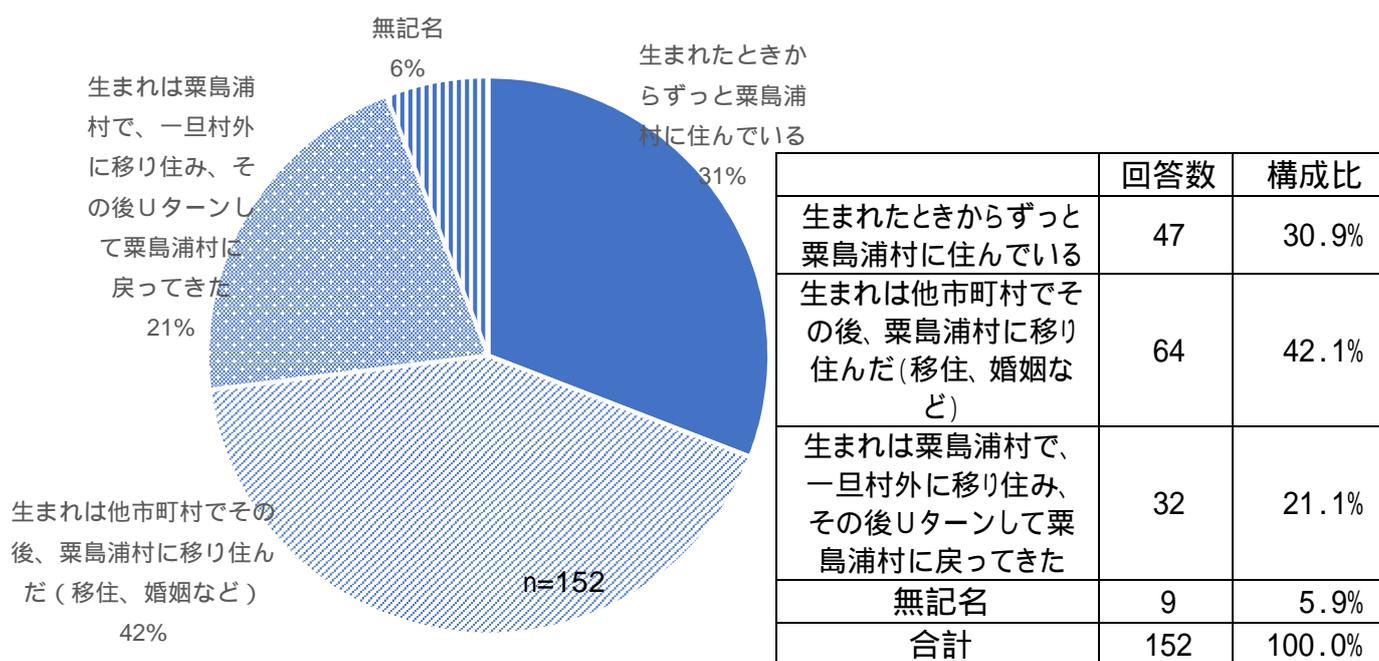
表5 回答者の居住世帯



居住経緯

「生まれは他市町村でその後、栗島浦村に移り住んだ(移住、婚姻など)(42.1%)」が最も多く、次いで「生まれたときからずっと栗島浦村に住んでいる(30.9%)」、「生まれは栗島浦村で、一旦村外に移り住み、その後Uターンして栗島浦村に戻ってきた(21.1%)」の順に続いています。

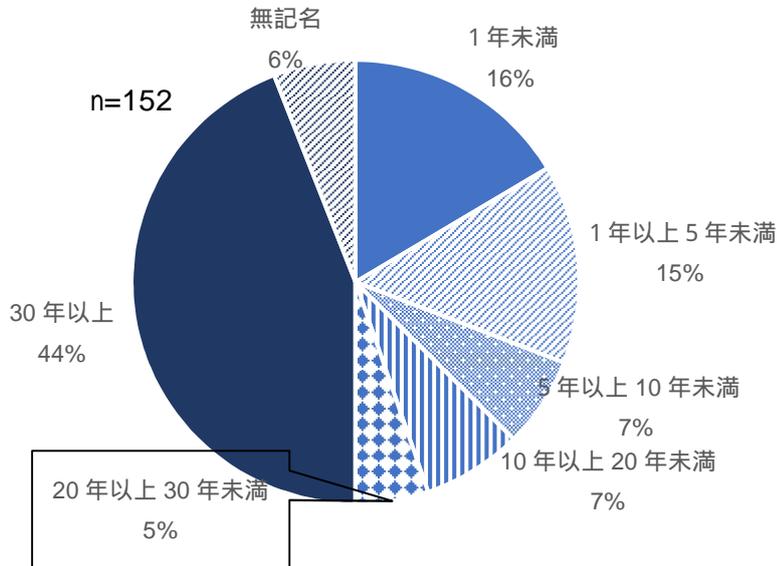
表6 回答者の居住経緯



居住経歴

「30年以上(44.1%)」が最も多く、次いで「1年未満(16.4%)」、「1年以上5年未満(14.5%)」、「10年以上20年未満(7.2%)」、「5年以上10年未満(6.6%)」、「20年以上30年未満(5.3%)」の順に続いています。

表7 回答者の居住経歴



	回答数	構成比
1年未満	25	16.4%
1年以上5年未満	22	14.5%
5年以上10年未満	10	6.6%
10年以上20年未満	11	7.2%
20年以上30年未満	8	5.3%
30年以上	67	44.1%
無記名	9	5.9%
合計	152	100.0%

2 栗島浦村全体について

①愛着心

問 あなたは、栗島浦村に対して「自分のむら」としての愛着をどの程度感じていますか。

全体でみると、「とても愛着を感じている」「どちらかという愛着を感じている」を合わせた72.4%が肯定的に回答しており、「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた11.8%に比べ、60.6ポイント高い。

1 居住経緯別でみると、「とても愛着を感じている」の回答割合は、「ずっと島内に居住している」が最も高く(66.0%)、次いで「Uターン」(56.3%)となっている。一方で、「島外生まれ」は20.3%と低くなっている。

「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた否定的な回答割合は、「島外生まれ」が最も高くなっている(23.5%)

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても愛着を感じている	31	66.0%	13	20.3%	18	56.3%	2	22.2%	64	42.1%
どちらかという愛着を感じている	12	25.5%	23	35.9%	8	25.0%	3	33.3%	46	30.3%
どちらともいえない	2	4.3%	13	20.3%	5	15.6%	2	22.2%	22	14.5%
あまり愛着を感じていない	0	0%	6	9.4%	1	3.1%	0	0%	7	4.6%
愛着を感じていない	2	4.3%	9	14.1%	0	0%	0	0%	11	7.2%
無記名	0	0%	0	0%	0	0%	2	22.2%	2	1.3%
合計	47	100%	64	100%	32	100%	9	100%	152	100%

表8 回答者の愛着心(全体)

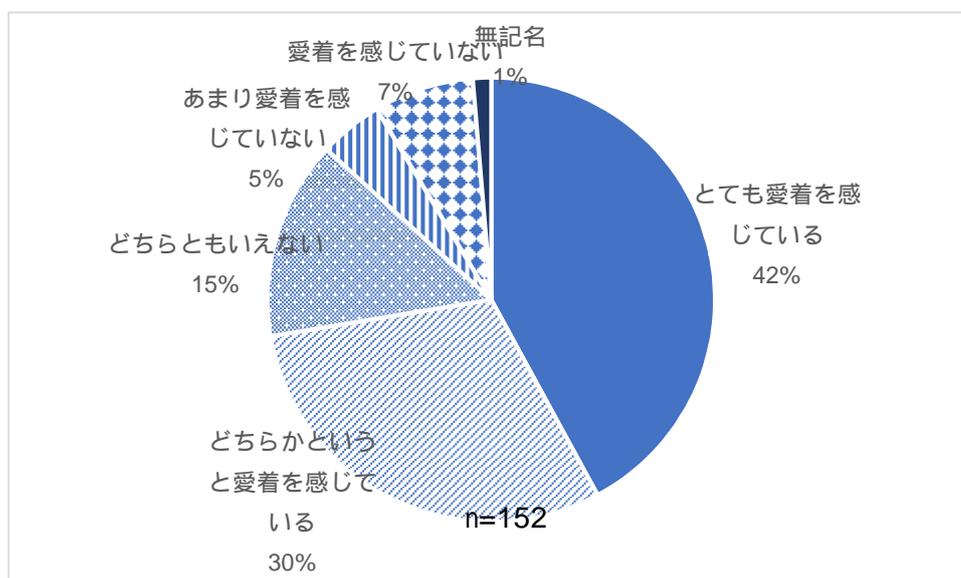
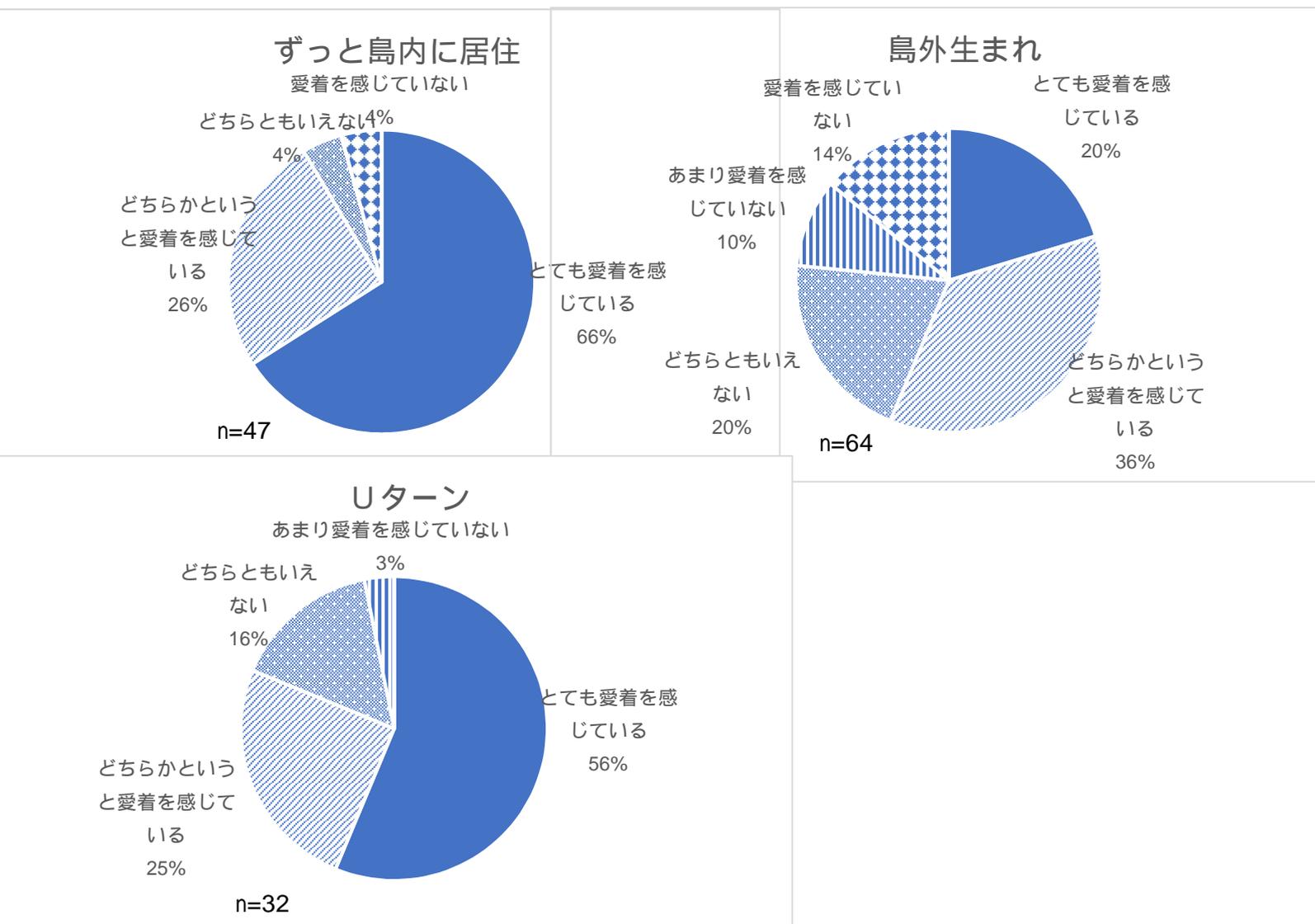


表8 回答者（居住経緯毎）の愛着心



居留意向

問 あなたは、これからも粟島浦村に住み続けたいと思いますか。

全体でみると、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた65.2%が肯定的に回答しており、「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」を合わせた14.5%に比べ、50.7ポイント高い。

1 居住経緯別でみると、「住み続けたい」の回答割合は、「ずっと島内に居住している」が最も高く(91.5%)、次いで「Uターン」(50.0%)となっている。一方で、「島外生まれ」は26.6%と低くなっている。

「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」を合わせた否定的な回答割合は、「島外生まれ」が最も高くなっている(29.7%)

調査の結果 - 2 粟島浦村全体について

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
住み続けたい	43	91.5%	17	26.6%	16	50.0%	3	33.3%	79	52.0%
どちらかといえ ば住み続け たい	1	2.1%	9	14.1%	9	28.1%	1	11.1%	20	13.2%
どちらともい えない	2	4.3%	19	29.7%	5	15.6%	4	44.4%	30	19.7%
どちらかとい えば住みた くない	1	2.1%	5	7.8%	2	6.3%	0	0%	8	5.3%
住みた くない	0	0%	14	21.9%	0	0%	0	0%	14	9.2%
無記名	0	0%	0	0%	0	0%	1	11.1%	1	0.7%
合計	47	100%	64	100%	32	100%	9	100%	152	100%

表9 回答者の居留意向（全体）

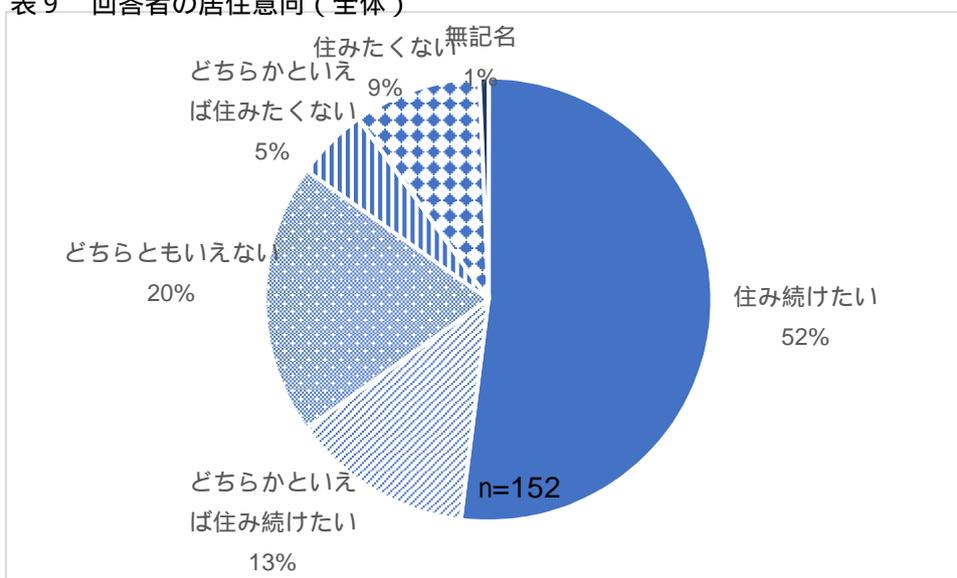
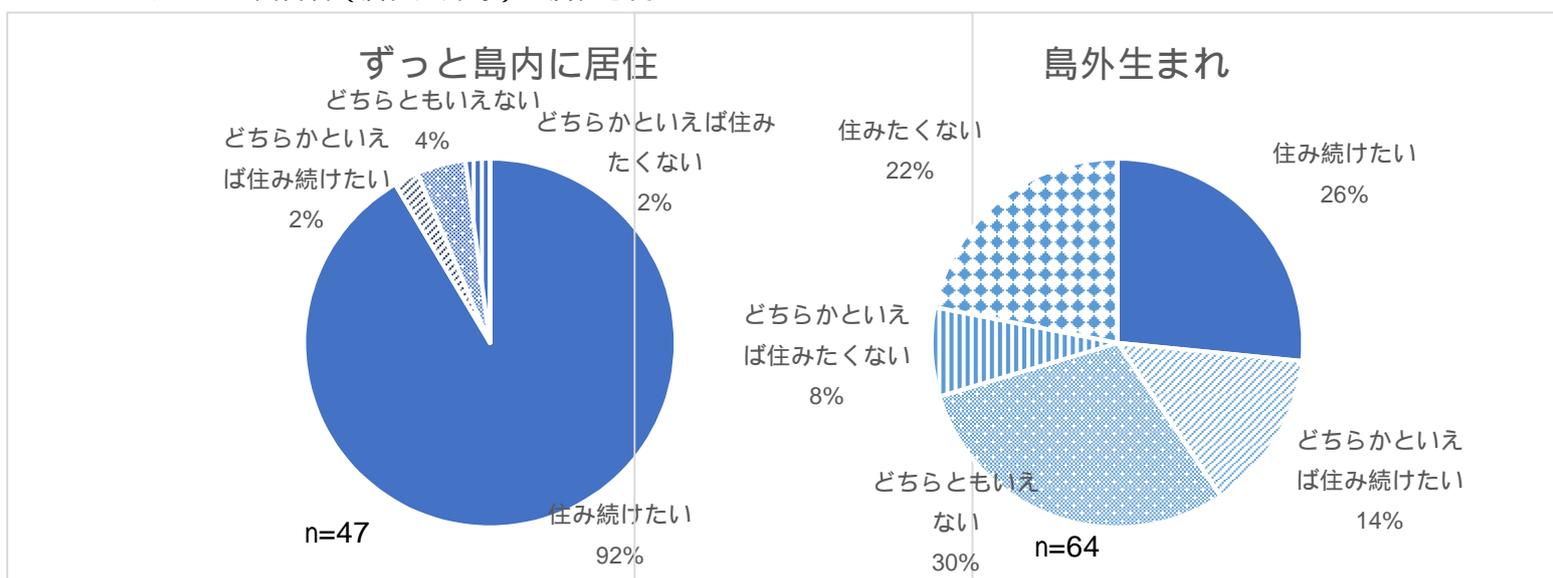
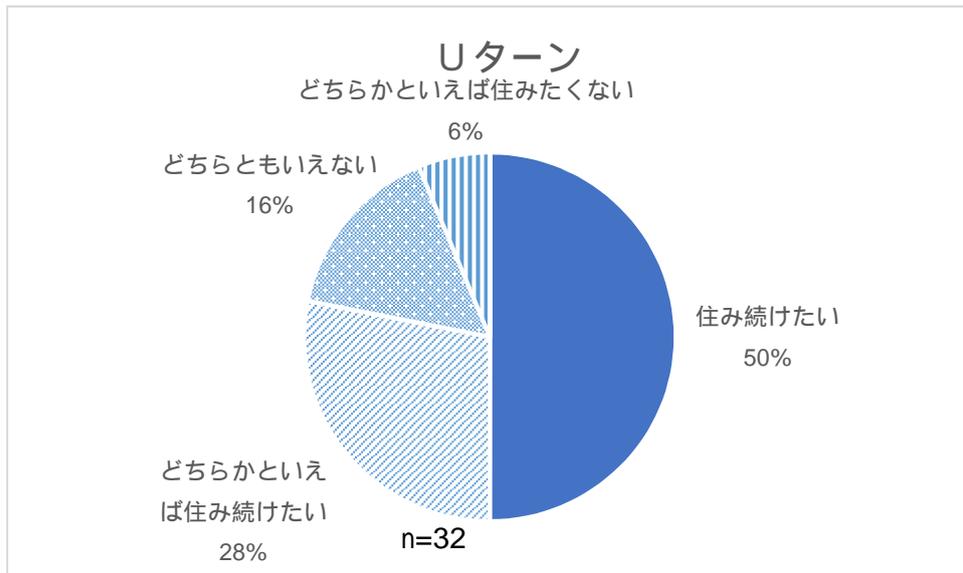


表9 回答者（居住経緯毎）の居留意向





島の魅力

問 あなたは、粟島浦村のどのようなところに魅力を感じていますか。(はひとつだけ)

全体でみると、「自然環境が豊か(43件、28.3%)」が最も多く、次いで「住み慣れた土地(41件、27.0%)」、「人情味や地域連帯感がある(28件、18.4%)」の順に続いています。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」と「Uターン」は「住み慣れた土地」の回答が最も多い(島内居住24件、Uターン12件)。一方で、「島外生まれ」は「自然環境が豊か」の回答が最も多い(26件)。

「ずっと島内に居住している」の回答割合は、「住み慣れた土地」が最も多く(24件、51.1%)、次いで「自然環境が豊か」と「人情味や地域連帯感がある」(8件、17%)の順となっています。

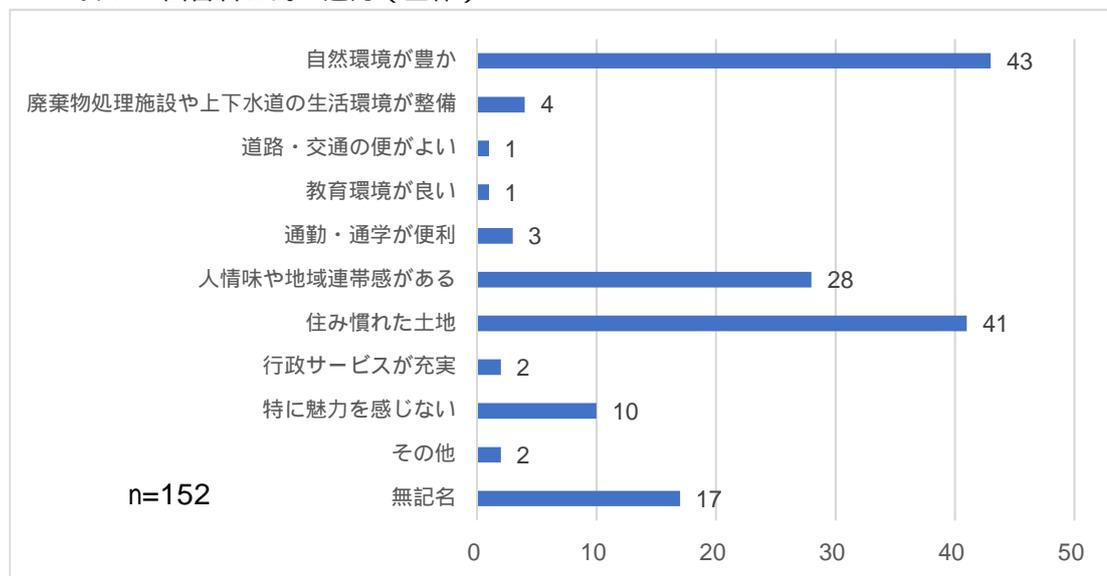
「島外生まれ」の回答割合は、「自然環境が豊か」が最も多く(26件、40.6%)、次いで「人情味や地域連帯感がある」(13件、20.3%)の順となっています。

「Uターン」の回答割合は、「住み慣れた土地」が最も多く(12件、37.5%)、次いで「自然環境が豊か」(7件、21.9%)の順となっています。

調査の結果 - 2 粟島浦村全体について

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自然環境が豊かな	8	17.0%	26	40.6%	7	21.9%	2	22.2%	43	28.3%
廃棄物処理施設や上下水道の生活環境が整備	1	2.1%	2	3.1%	1	3.1%	0	0%	4	2.6%
道路・交通の便がよい	0	0%	1	1.6%	0	0%	0	0%	1	0.7%
教育環境が良い	0	0%	1	1.6%	0	0%	0	0%	1	0.7%
通勤・通学が便利	0	0%	2	3.1%	1	3.1%	0	0%	3	2.0%
人情味や地域連帯感がある	8	17.0%	13	20.3%	5	15.6%	2	22.2%	28	18.4%
住み慣れた土地	24	51.1%	2	3.1%	12	37.5%	3	33.3%	41	27.0%
行政サービスが充実	2	4.3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1.3%
特に魅力を感じない	1	2.1%	8	12.5%	1	3.1%	0	0%	10	6.6%
その他	0	0%	1	1.6%	0	0%	1	11.1%	2	1.3%
無記名	3	6.4%	8	12.5%	5	15.6%	1	11.1%	17	11.2%
合計	47	100%	64	100%	32	100%	9	100%	152	100%

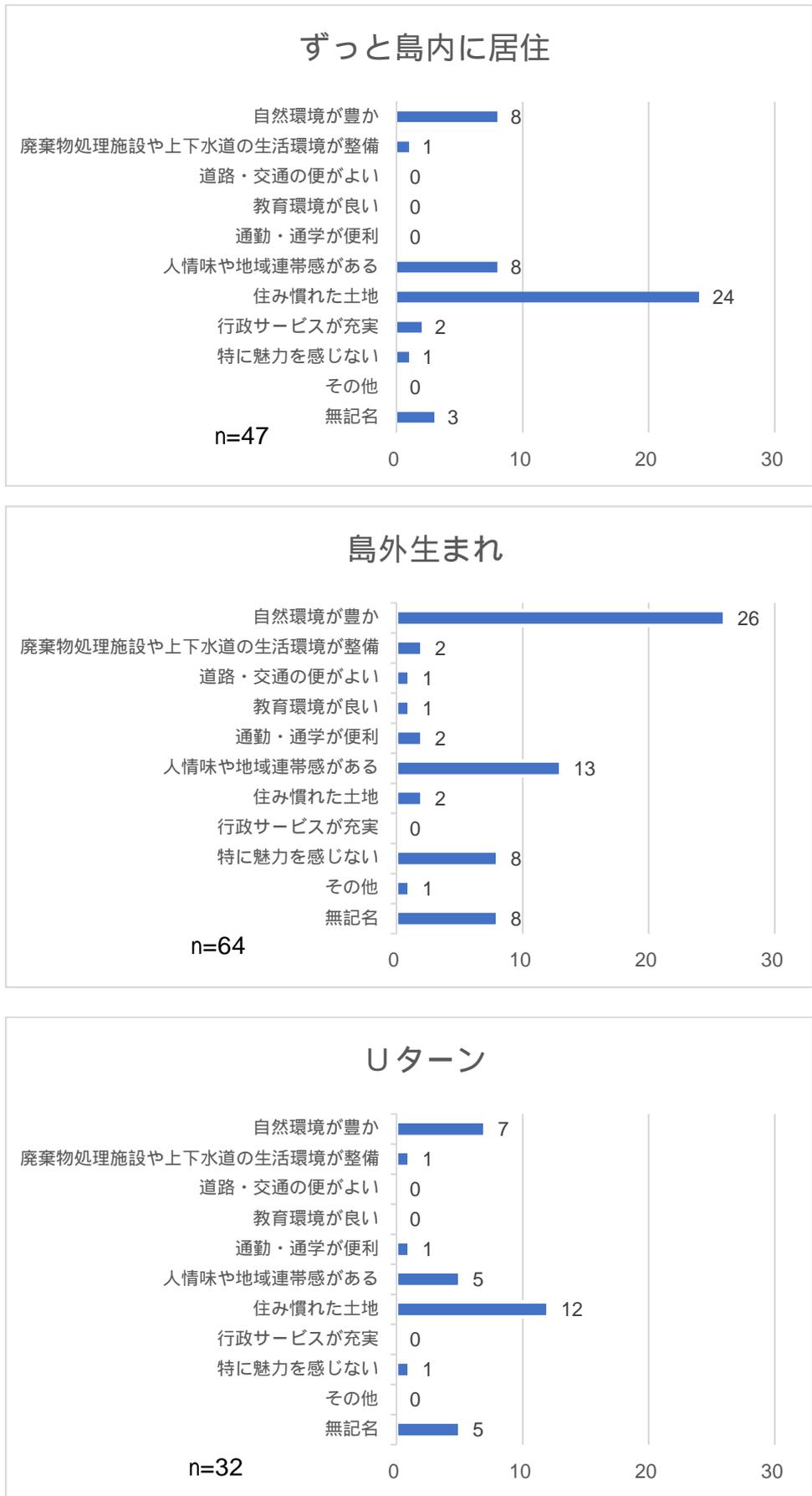
表 10 回答者の島の魅力（全体）



< その他の意見 (2件) >

- ・静か、人が居ない
- ・空気がきれい、夜空がきれい

表 10 回答者（居住経緯毎）の島の魅力



3 日常の暮らしについて

①回答者全体

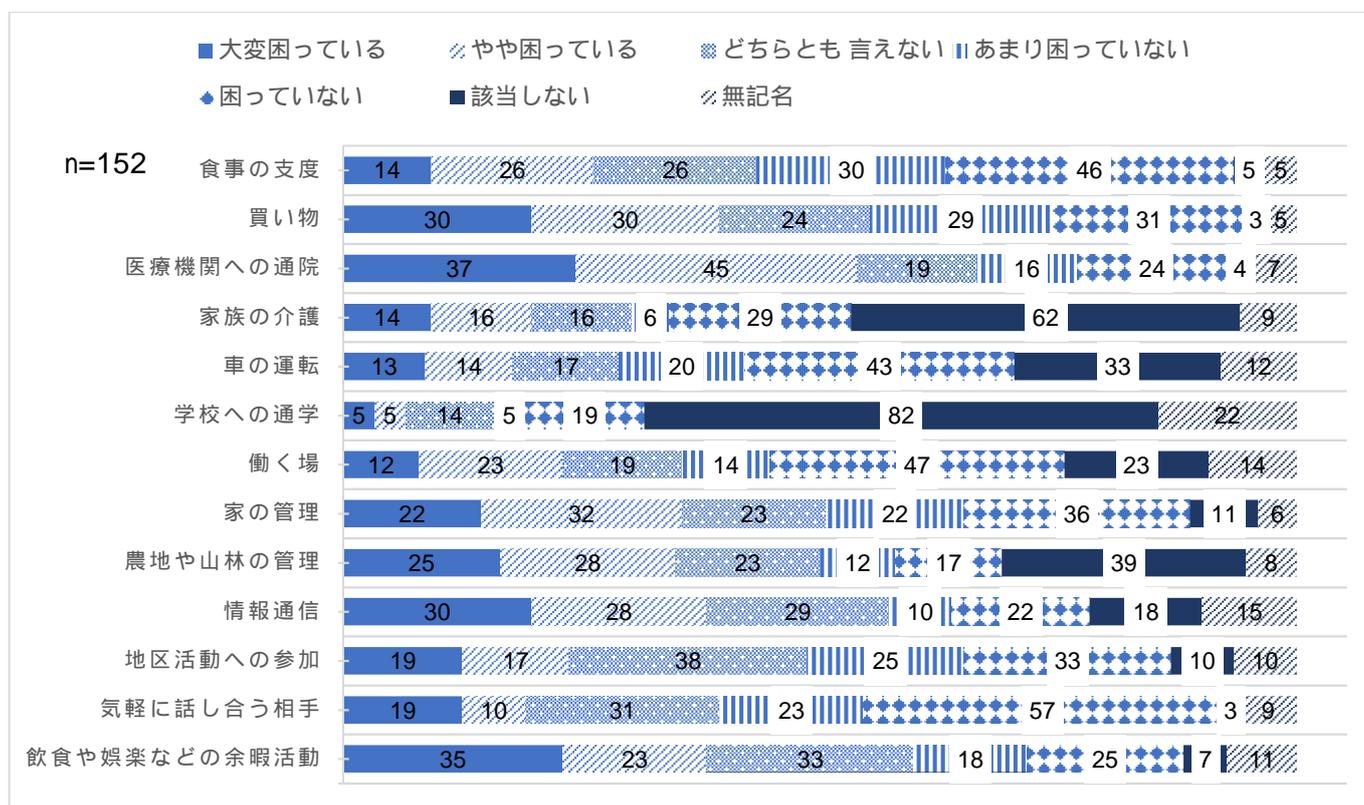
問 あなたは、日常の暮らしにおいて、困っていることはありますか。

全体でみると、「大変困っている」「やや困っている」を合わせた回答は、「医療機関への通院」が最も多く(82件、54%)、次いで「買い物」(60件、39%)、「情報通信(インターネット)」と「飲食や娯楽などの余暇活動」(58件、38%)、「家の管理(草刈り等含む)」(54件、36%)、「農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)」(53件、35%)との順に続いています。

「大変困っている」の回答割合は、「医療機関への通院」が最も高く(24%)、次いで「飲食や娯楽などの余暇活動」(23%)、「買い物」と「情報通信(インターネット)」(20%)の順となっている。

「あまり困っていない」「困っていない」を合わせた回答割合は、「気軽に話し合う相手」が最も高く(53%)、次いで「食事の支度」(50%)の順となっている。

表 11 日常の暮らしで困っていること(全体)



	大変困っている	やや困っている	どちらとも言えない	あまり困っていない	困っていない	該当しない	無記名
食事の支度	14 9%	26 17%	26 17%	30 20%	46 30%	5 3%	5 3%
買い物	30 20%	30 20%	24 16%	29 19%	31 20%	3 2%	5 3%
医療機関への通院	37 24%	45 30%	19 13%	16 11%	24 16%	4 3%	7 5%
家族の介護	14 9%	16 11%	16 11%	6 4%	29 19%	62 41%	9 6%
車の運転(バス等の移動も含む)	13 9%	14 9%	17 11%	20 13%	43 28%	33 22%	12 8%

調査の結果 - 3 日常の暮らしについて

学校への通学(学校や保育園への送迎も含む)	5 3%	5 3%	14 9%	5 3%	19 13%	82 54%	22 14%
働く場(漁業、自営業も含む)	12 8%	23 15%	19 13%	14 9%	47 31%	23 15%	14 9%
家の管理(草刈り等含む)	22 14%	32 21%	23 15%	22 14%	36 24%	11 7%	6 4%
農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)	25 16%	28 18%	23 15%	12 8%	17 11%	39 26%	8 5%
情報通信(インターネット)	30 20%	28 18%	29 19%	10 7%	22 14%	18 12%	15 10%
地区活動への参加	19 13%	17 11%	38 25%	25 16%	33 22%	10 7%	10 7%
気軽に話し合う相手	19 13%	10 7%	31 20%	23 15%	57 38%	3 2%	9 6%
飲食や娯楽などの余暇活動	35 23%	23 15%	33 22%	18 12%	25 16%	7 5%	11 7%

ずっと島内に居住

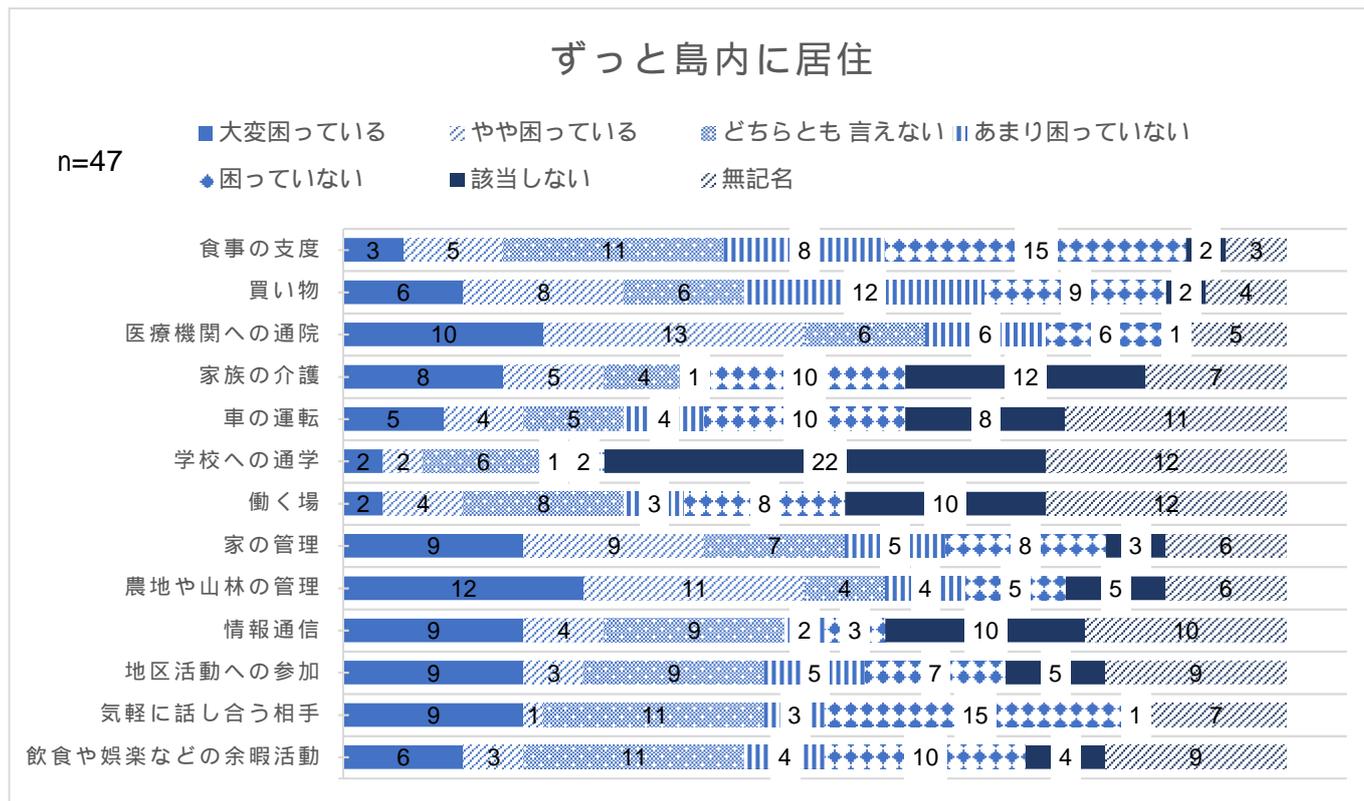
問 あなたは、日常の暮らしにおいて、困っていることはありますか。

ずっと島内に居住している方で見ると、「大変困っている」「やや困っている」を合わせた回答は、「医療機関への通院」と「農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)」(23件、49%)が最も多く、次いで「家の管理(草刈り等含む)」(18件、38%)、「買い物」(14件、30%)、「家族の介護」と「情報通信(インターネット)」(13件、28%)との順に続いています。

「大変困っている」の回答割合は、「農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)」が最も高く(26%)、次いで「医療機関への通院」(21%)の順となっている。

「あまり困っていない」「困っていない」を合わせた回答割合は、「食事の支度」が最も高く(49%)、次いで「買い物」(53%)の順となっている。

表 11 日常の暮らしで困っていること(ずっと島内に居住)



ずっと島内に居住	大変困っている	やや困っている	どちらとも言えない	あまり困っていない	困っていない	該当しない	無記名
食事の支度	3 6%	5 11%	11 23%	8 17%	15 32%	2 4%	3 6%
買い物	6 13%	8 17%	6 13%	12 26%	9 19%	2 4%	4 9%
医療機関への通院	10 21%	13 28%	6 13%	6 13%	6 13%	1 2%	5 11%
家族の介護	8 17%	5 11%	4 9%	1 2%	10 21%	12 26%	7 15%
車の運転(バス等の移動も含む)	5 11%	4 9%	5 11%	4 9%	10 21%	8 17%	11 23%
学校への通学(学校や保育園への送迎も含む)	2 4%	2 4%	6 13%	1 2%	2 4%	22 47%	12 26%
働く場(漁業、自営業も含む)	2 4%	4 9%	8 17%	3 6%	8 17%	10 21%	12 26%
家の管理(草刈り等含む)	9 19%	9 19%	7 15%	5 11%	8 17%	3 21%	6 26%
農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)	12 26%	11 23%	4 9%	4 9%	5 11%	5 11%	6 13%
情報通信(インターネット)	9 19%	4 9%	9 19%	2 4%	3 6%	10 21%	10 21%
地区活動への参加	9 19%	3 6%	9 19%	5 11%	7 15%	5 11%	9 19%
気軽に話し合う相手	9 19%	1 2%	11 23%	3 6%	15 32%	1 2%	7 15%
飲食や娯楽などの余暇活動	6 13%	3 6%	11 23%	4 9%	10 21%	4 9%	9 19%

島外生まれ

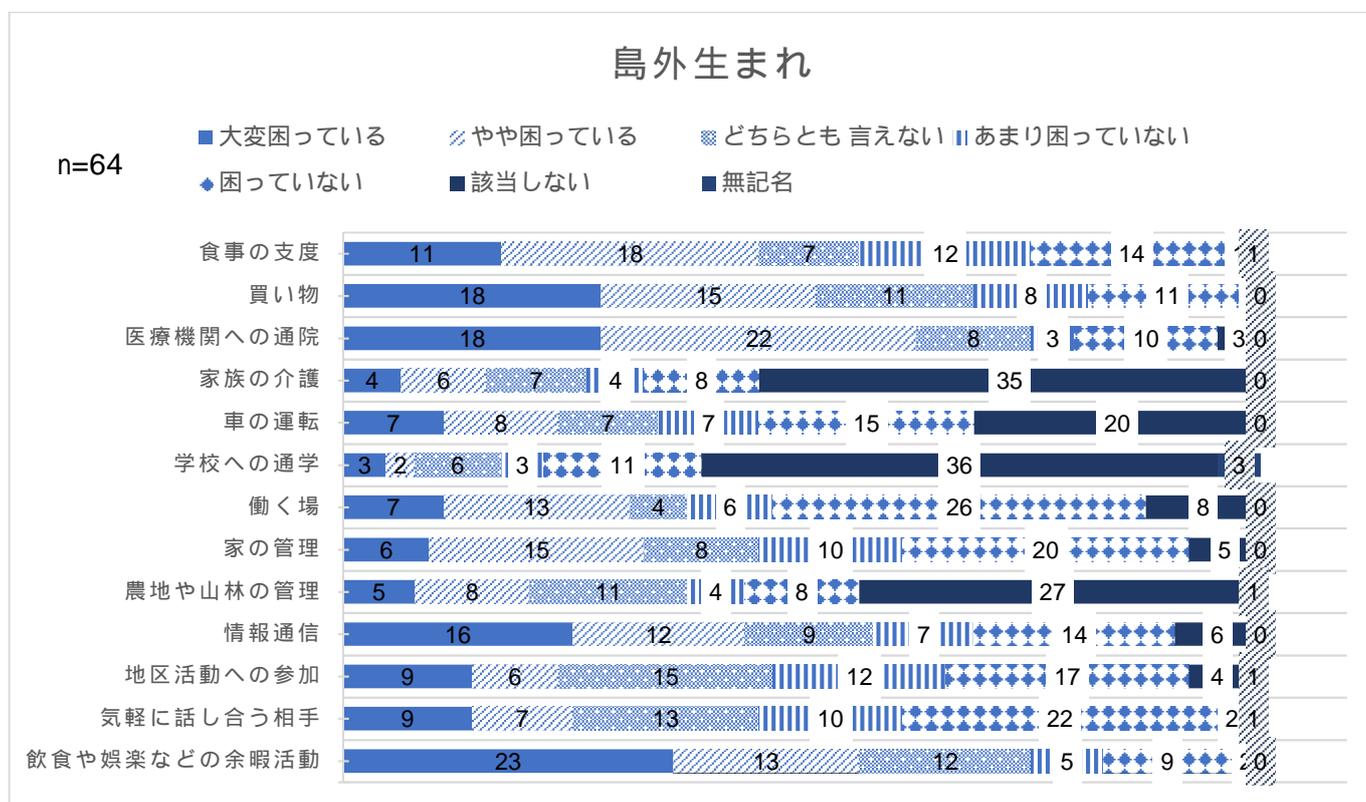
問 あなたは、日常の暮らしにおいて、困っていることはありますか。

島外生まれの方でみると、「大変困っている」「やや困っている」を合わせた回答は「医療機関への通院」が最も多く(40件、63%)、次いで「買い物」(33件、52%)、「食事の支度」(29件、45%)、「情報通信(インターネット)」(28件、44%)、「家の管理(草刈り等含む)」(20件、31%)との順に続いています。

「大変困っている」の回答割合は、「飲食や娯楽などの余暇活動」が最も高く(36%)、次いで「買い物」と「医療機関への通院」(28%)の順となっている。

「あまり困っていない」「困っていない」を合わせた回答割合は、「働く場(漁業、自営業も含む)」と「気軽に話し合う相手」が最も高く(50%)、次いで「家の管理(草刈り等含む)」(47%)の順となっている。

表 11 日常の暮らしで困っていること(島外生まれ)



島外生まれ	大変困っている	やや困っている	どちらとも言えない	あまり困っていない	困っていない	該当しない	無記名
食事の支度	11 17%	18 28%	7 11%	12 19%	14 22%	1 2%	1 2%
買い物	18 28%	15 23%	11 17%	8 13%	11 17%	1 2%	0 0%
医療機関への通院	18 28%	22 34%	8 13%	3 5%	10 16%	3 5%	0 0%
家族の介護	4 6%	6 9%	7 11%	4 6%	8 13%	35 55%	0 0%
車の運転(バス等の移動も含む)	7 11%	8 13%	7 11%	7 11%	15 23%	20 31%	0 0%

調査の結果 - 3 日常の暮らしについて

学校への通学(学校や保育園への送迎も含む)	3 5%	2 3%	6 9%	3 5%	11 17%	36 56%	3 13%
働く場(漁業、自営業も含む)	7 11%	13 20%	4 6%	6 9%	26 41%	8 13%	0 0%
家の管理(草刈り等含む)	6 9%	15 23%	8 13%	10 16%	20 31%	5 8%	0 0%
農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)	5 8%	8 13%	11 17%	4 6%	8 13%	27 42%	1 2%
情報通信(インターネット)	16 25%	12 19%	9 14%	7 11%	14 22%	6 9%	0 0%
地区活動への参加	9 14%	6 9%	15 23%	12 19%	17 27%	4 6%	1 2%
気軽に話し合う相手	9 14%	7 11%	13 20%	10 16%	22 34%	2 3%	1 2%
飲食や娯楽などの余暇活動	23 36%	13 20%	12 19%	5 8%	9 14%	2 3%	0 0%

Uターン

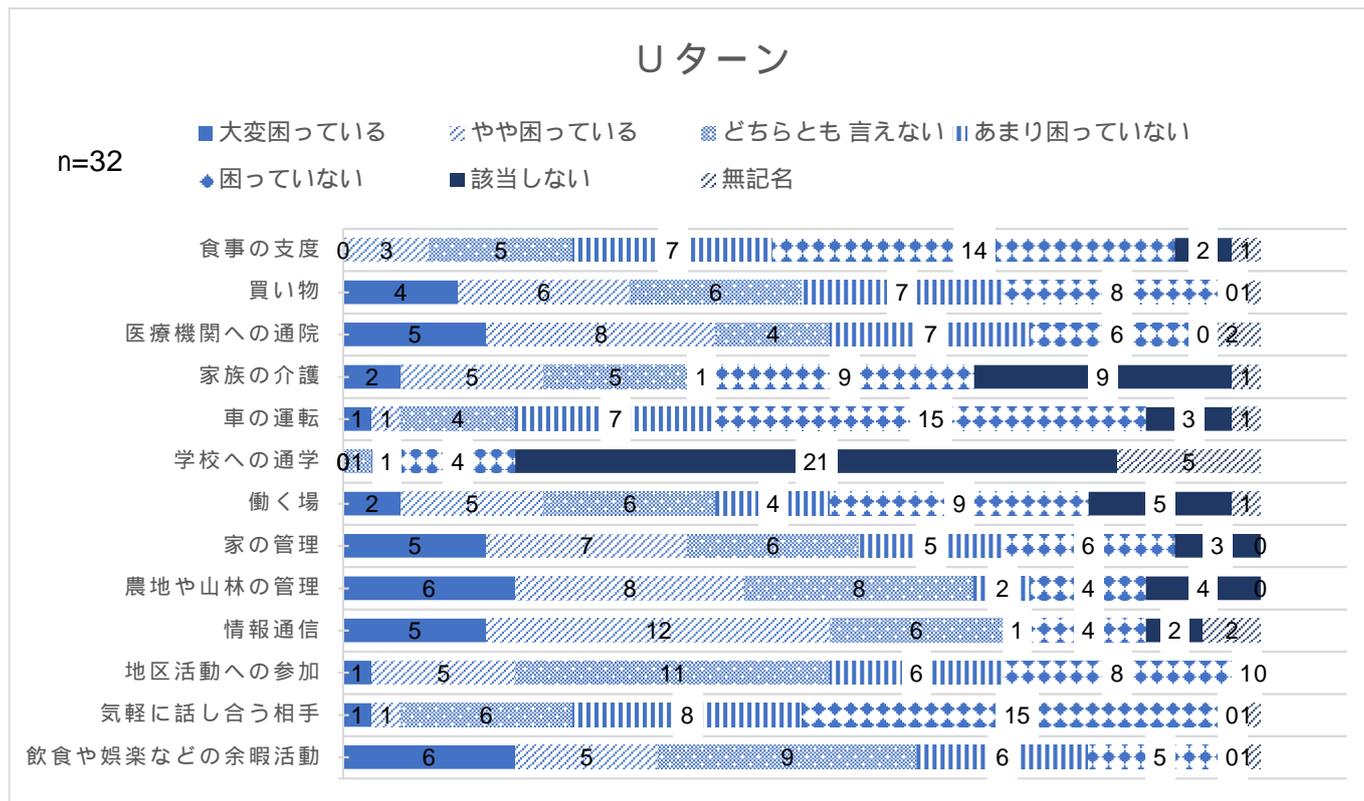
問 あなたは、日常の暮らしにおいて、困っていることはありますか。

Uターンの方でみると、「大変困っている」「やや困っている」を合わせた回答は「情報通信(インターネット)」が最も多く(17件、53%)、次いで「農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)」(14件、44%)、「医療機関への通院」(13件、41%)、「家の管理(草刈り等含む)」(12件、38%)、「飲食や娯楽などの余暇活動」(11件、34%)との順に続いています。

「大変困っている」の回答割合は、「農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)」と「飲食や娯楽などの余暇活動」が最も高く(19%)、次いで「医療機関への通院」、「家の管理(草刈り等含む)」及び「情報通信(インターネット)」(16%)の順となっている。

「あまり困っていない」「困っていない」を合わせた回答割合は、「気軽に話し合う相手」が最も高く(72%)、次いで「車の運転(バス等の移動も含む)」(69%)の順となっている。

表 11 日常の暮らしで困っていること（Uターン）



Uターン	大変困っている	やや困っている	どちらとも言えない	あまり困っていない	困っていない	該当しない	無記名
食事の支度	0 0%	3 9%	5 16%	7 22%	14 44%	2 6%	1 3%
買い物	4 13%	6 19%	6 19%	7 22%	8 25%	0 0%	1 3%
医療機関への通院	5 16%	8 25%	4 13%	7 22%	6 19%	0 0%	2 6%
家族の介護	2 6%	5 16%	5 16%	1 3%	9 28%	9 28%	1 3%
車の運転(バス等の移動も含む)	1 3%	1 3%	4 13%	7 22%	15 47%	3 9%	1 3%
学校への通学(学校や保育園への送迎も含む)	0 0%	0 0%	1 3%	1 3%	4 13%	21 6%	5 16%
働く場(漁業、自営業も含む)	2 6%	5 16%	6 19%	4 13%	9 28%	5 16%	1 3%
家の管理(草刈り等含む)	5 16%	7 22%	6 19%	5 16%	6 19%	3 9%	0 0%
農地や山林の管理(草刈り、水路清掃等も含む)	6 19%	8 25%	8 25%	2 6%	4 13%	4 13%	0 0%
情報通信(インターネット)	5 16%	12 38%	6 19%	1 3%	4 13%	2 6%	2 6%
地区活動への参加	1 3%	5 16%	11 34%	6 19%	8 25%	1 3%	0 0%
気軽に話し合う相手	1 3%	1 3%	6 19%	8 25%	15 47%	0 0%	1 3%
飲食や娯楽などの余暇活動	6 19%	5 16%	9 28%	6 19%	5 16%	0 0%	1 3%

4 第4次栗島浦村総合計画に掲げた行政施策の「満足度」と「重要度」

満足度

①回答者全体

問 あなたは、総合計画で掲げた行政施策について、現在の取り組み状況として、どの程度満足していますか。

全体でみると、「満足」「やや満足」を合わせた回答(満足度が高い行政施策)は、「医療・救急体制の拡充」が最も多く(46件、30%)、次いで「学校教育の内容の充実」(45件、30%)、「健康増進の支援」(44件、29%)、「生活交通手段の維持」(43件、28%)との順に続いています。

一方で、「やや不満」「不満」を合わせた回答(満足度が低い行政施策)は、「漁協との協働の促進」、「住環境の整備・確保」と「観光の受入体制と人材確保の支援」、「漁業就業環境の維持・改善」などが挙げられている。

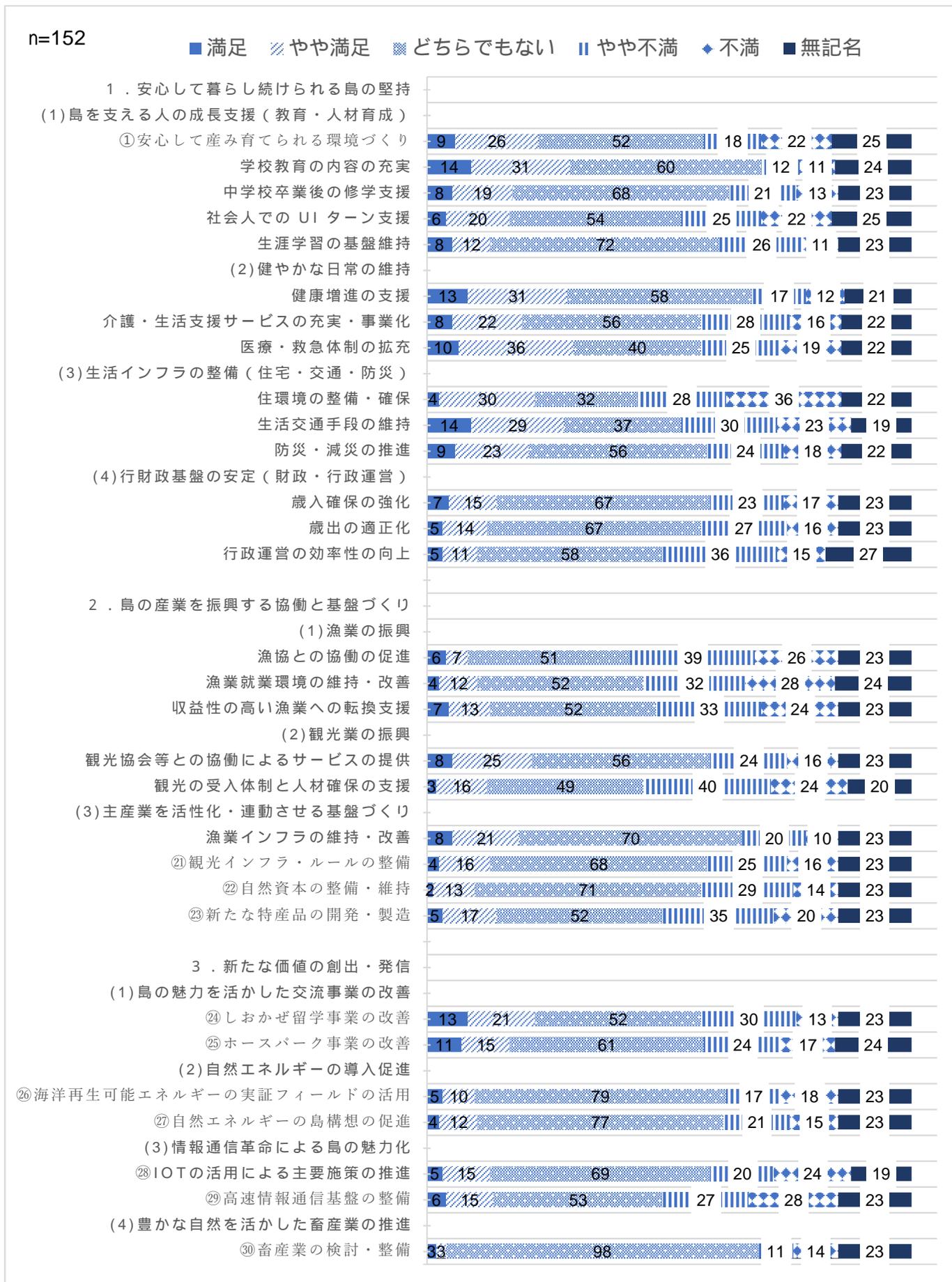
【満足度(全体)】

施策の柱		施策名	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無記名
1・安心して暮らし続けられる島の堅持	①島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	9 6%	26 17%	52 34%	18 12%	22 14%	25 16%
		学校教育の内容の充実	14 9%	31 20%	60 39%	12 8%	11 7%	24 16%
		中学校卒業後の修学支援	8 5%	19 13%	68 45%	21 14%	13 9%	23 15%
		社会人でのUIターン支援	6 4%	20 13%	54 36%	25 16%	22 14%	25 16%
		生涯学習の基盤維持	8 5%	12 8%	72 47%	26 17%	11 7%	23 15%
	②健やかな日常の維持	健康増進の支援	13 9%	31 20%	58 38%	17 11%	12 8%	21 14%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	8 5%	22 14%	56 37%	28 18%	16 11%	22 14%
		医療・救急体制の拡充	10 7%	36 24%	40 26%	25 16%	19 13%	22 14%
	③生活インフラの整備	住環境の整備・確保	4 3%	30 20%	32 21%	28 18%	36 24%	22 14%
		生活交通手段の維持	14 9%	29 19%	37 24%	30 20%	23 15%	19 13%
		防災・減災の推進	9 6%	23 15%	56 37%	24 16%	18 12%	22 14%
	④行財政の基盤の安定	歳入確保の強化	7 5%	15 10%	67 44%	23 15%	17 11%	23 15%
		歳出の適正化	5 3%	14 9%	67 44%	27 18%	16 11%	23 15%

調査の結果 - 4 第4次栗島浦村総合計画に掲げた行政施策の「満足度」と「重要度」

		行政運営の効率性の向上	5 3%	11 7%	58 38%	36 24%	15 10%	27 18%
2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	6 4%	7 5%	51 34%	39 26%	26 17%	23 15%
		漁業就業環境の維持・改善	4 3%	12 8%	52 34%	32 21%	28 18%	24 16%
		収益性の高い漁業への転換支援	7 5%	13 9%	52 34%	33 22%	24 16%	23 15%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	8 5%	25 16%	56 37%	24 16%	16 11%	23 15%
		観光の受入体制と人材確保の支援	3 2%	16 11%	49 32%	40 26%	24 16%	20 13%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	8 5%	21 14%	70 46%	20 13%	10 7%	23 15%
		①観光インフラ・ルールの整備	4 3%	16 11%	68 45%	25 16%	16 11%	23 15%
		②自然資本の整備・維持	2 1%	13 9%	71 47%	29 19%	14 9%	23 15%
		③新たな特産品の開発・製造	5 3%	17 11%	52 34%	35 23%	20 13%	23 15%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	④しおかぜ留学事業の改善	13 9%	21 14%	52 34%	30 20%	13 9%
⑤ホースパーク事業の改善			11 7%	15 10%	61 40%	24 16%	17 11%	24 16%
②自然エネルギーの導入促進		⑥海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	5 3%	10 7%	79 52%	17 11%	18 12%	23 15%
		⑦自然エネルギーの島構想の促進	4 3%	12 8%	77 51%	21 14%	15 10%	23 15%
③情報通信革命による島の魅力化		⑧IoTの活用による主要施策の推進	5 3%	15 10%	69 45%	20 13%	24 16%	19 13%
		⑨高速情報通信基盤の整備	6 4%	15 10%	53 35%	27 18%	28 18%	23 15%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		⑩畜産業の検討・整備	3 2%	3 2%	98 64%	11 7%	14 9%	23 15%

表 12 行政施策の満足度（全体）



ずっと島内に居住

問 あなたは、総合計画で掲げた行政施策について、現在の取り組み状況として、どの程度満足していますか。

島内に居住の方で、「満足」「やや満足」を合わせた回答(満足度が高い行政施策)は、「医療・救急体制の拡充」が最も多く(17件、36%)、次いで「^④しおかぜ留学事業の改善」(15件、32%)、「社会人でのUIターン支援」と「住環境の整備・確保」(14件、30%)との順に続いています。

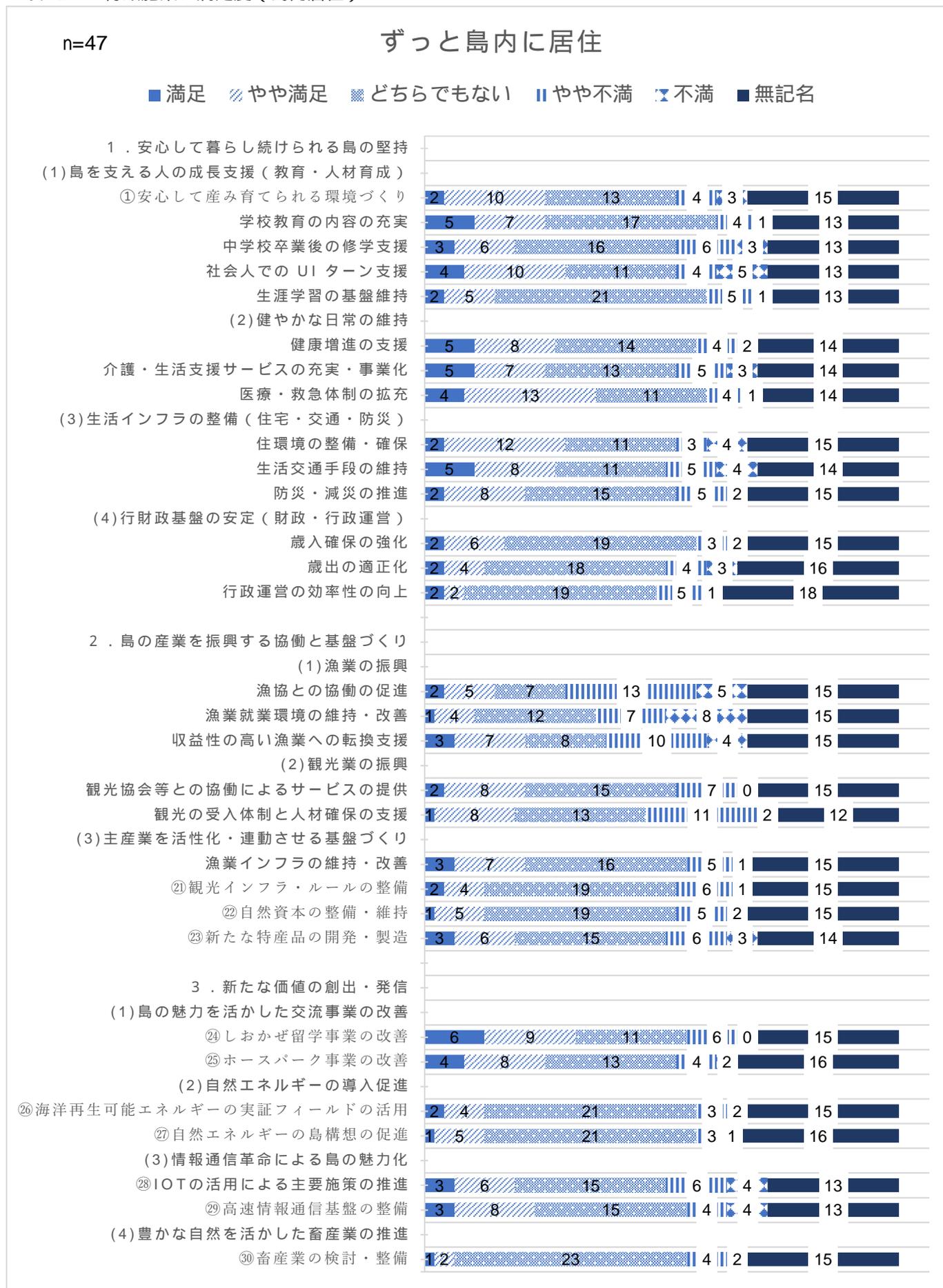
島内に居住の方で、「やや不満」「不満」を合わせた回答(満足度が低い行政施策)は、「漁協との協働の促進」、「漁業就業環境の維持・改善」、「収益性の高い漁業への転換支援」などが挙げられている。

【満足度(島内居住)】

施策の柱		施策名	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無記名
1・安心して暮らし続けられる島の堅持	①島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	2 4%	10 21%	13 28%	4 9%	3 6%	15 32%
		学校教育の内容の充実	5 11%	7 15%	17 36%	4 9%	1 2%	13 28%
		中学校卒業後の修学支援	3 6%	6 13%	16 34%	6 13%	3 6%	13 28%
		社会人でのUIターン支援	4 9%	10 21%	11 23%	4 9%	5 11%	13 28%
		生涯学習の基盤維持	2 4%	5 11%	21 45%	5 11%	1 2%	13 28%
	②健やかな日常の維持	健康増進の支援	5 11%	8 17%	14 30%	4 9%	2 4%	14 30%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	5 11%	7 15%	13 28%	5 11%	3 6%	14 30%
		医療・救急体制の拡充	4 9%	13 28%	11 23%	4 9%	1 2%	14 30%
	③生活インフラの整備	住環境の整備・確保	2 4%	12 26%	11 23%	3 6%	4 9%	15 32%
		生活交通手段の維持	5 11%	8 17%	11 23%	5 11%	4 9%	14 30%
		防災・減災の推進	2 4%	8 17%	15 32%	5 11%	2 4%	15 32%
	④行財政基盤の安定	歳入確保の強化	2 4%	6 13%	19 40%	3 6%	2 4%	15 32%
		歳出の適正化	2 4%	4 9%	18 38%	4 9%	3 6%	16 34%
行政運営の効率性の向上		2 4%	2 4%	19 40%	5 11%	1 2%	18 38%	

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	2 4%	5 11%	7 15%	13 28%	5 11%	15 32%
		漁業就業環境の維持・改善	1 2%	4 9%	12 26%	7 15%	8 17%	15 32%
		収益性の高い漁業への転換支援	3 6%	7 15%	8 17%	10 21%	4 9%	15 32%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	2 4%	8 17%	15 32%	7 15%	0 0%	15 32%
		観光の受入体制と人材確保の支援	1 2%	8 17%	13 28%	11 23%	2 4%	12 26%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	3 6%	7 15%	16 34%	5 11%	1 2%	15 32%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	2 4%	4 9%	19 40%	6 13%	1 2%	15 32%
		㉑自然資本の整備・維持	1 2%	5 11%	19 40%	5 11%	2 4%	15 32%
		㉒新たな特産品の開発・製造	3 6%	6 13%	15 32%	6 13%	3 6%	14 30%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	6 13%	9 19%	11 23%	6 13%	0 0%
㉕ホースパーク事業の改善			4 9%	8 17%	13 28%	4 9%	2 4%	16 34%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	2 4%	4 9%	21 45%	3 6%	2 4%	15 32%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	1 2%	5 11%	21 45%	3 6%	1 2%	16 34%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	3 6%	6 13%	15 32%	6 13%	4 9%	13 28%
		㉙高速情報通信基盤の整備	3 6%	8 17%	15 32%	4 9%	4 9%	13 28%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	1 2%	2 4%	23 49%	4 9%	2 4%	15 32%

表 12 行政施策の満足度（島内居住）



島外生まれ

問 あなたは、総合計画で掲げた行政施策について、現在の取り組み状況として、どの程度満足していますか。

島外生まれの方で、「満足」「やや満足」を合わせた回答(満足度が高い行政施策)は、「学校教育の内容の充実」が最も多く(23件、36%)、次いで「健康増進の支援」(22件、34%)、「生活交通手段の維持」(20件、31%)との順に続いています。

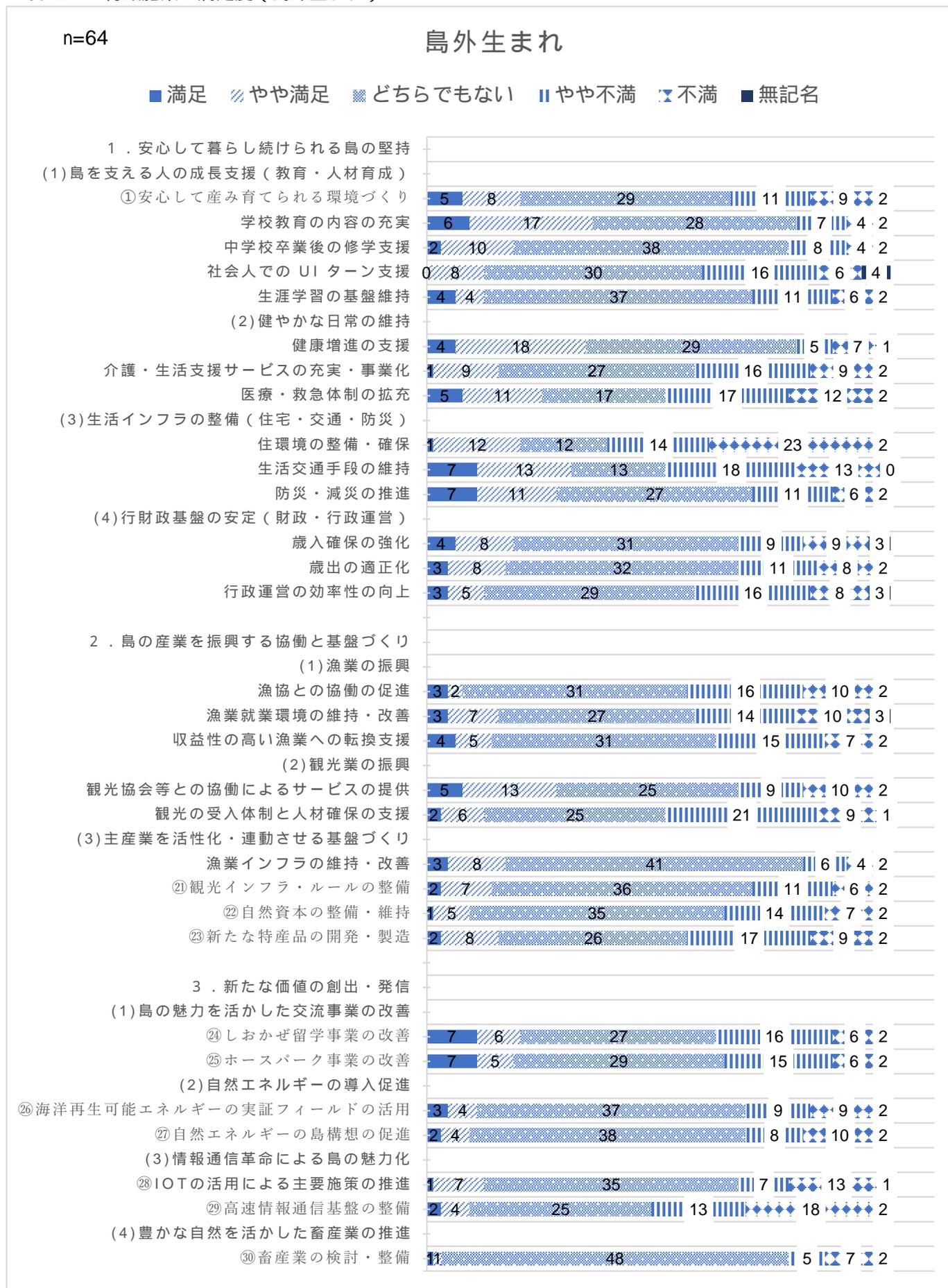
島外生まれの方で、「やや不満」「不満」を合わせた回答(満足度が低い行政施策)は、「住環境の整備・確保」、「生活交通手段の維持」、「²⁹高速情報通信基盤の整備」などが挙げられている。

【満足度(島外生まれ)】

施策の柱		施策名	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無記名	
1. 安心して暮らし続けられる島の堅持	(1) 島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	5 8%	8 13%	29 45%	11 17%	9 14%	2 3%	
		学校教育の内容の充実	6 9%	17 27%	28 44%	7 11%	4 6%	2 3%	
		中学校卒業後の修学支援	2 3%	10 16%	38 59%	8 13%	4 6%	2 3%	
		社会人での UI ターン支援	0 0%	8 13%	30 47%	16 25%	6 9%	4 6%	
		生涯学習の基盤維持	4 6%	4 6%	37 58%	11 17%	6 9%	2 3%	
	維持	(2) 健康やかな日常の	健康増進の支援	4 6%	18 28%	29 45%	5 8%	7 11%	1 2%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	1 2%	9 14%	27 42%	16 25%	9 14%	2 3%	
		医療・救急体制の拡充	5 8%	11 17%	17 27%	17 27%	12 19%	2 3%	
	整備	(3) 生活インフラの	住環境の整備・確保	1 2%	12 19%	12 19%	14 22%	23 36%	2 3%
		生活交通手段の維持	7 11%	13 20%	13 20%	18 28%	13 20%	0 0%	
		防災・減災の推進	7 11%	11 17%	27 42%	11 17%	6 9%	2 3%	
	(4) 行財政基盤の安定	歳入確保の強化	4 6%	8 13%	31 50%	9 17%	9 13%	3 30%	
		歳出の適正化	3 5%	8 13%	32 50%	11 17%	8 13%	2 3%	
行政運営の効率性の向上		3 5%	5 8%	29 45%	16 25%	8 13%	3 5%		

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	3 5%	2 3%	31 48%	16 25%	10 16%	2 3%
		漁業就業環境の維持・改善	3 5%	7 11%	27 42%	14 22%	10 16%	3 5%
		収益性の高い漁業への転換支援	4 6%	5 8%	31 48%	15 23%	7 11%	2 3%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	5 8%	13 20%	25 39%	9 14%	10 16%	2 3%
		観光の受入体制と人材確保の支援	2 3%	6 9%	25 39%	21 33%	9 14%	1 2%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	3 5%	8 13%	41 64%	6 9%	4 6%	2 3%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	2 3%	7 11%	36 56%	11 17%	6 9%	2 3%
		㉑自然資本の整備・維持	1 2%	5 8%	35 55%	14 22%	7 11%	2 3%
		㉒新たな特産品の開発・製造	2 3%	8 13%	26 41%	17 27%	9 14%	2 3%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	7 11%	6 9%	27 42%	16 25%	6 9%
㉕ホースパーク事業の改善			7 11%	5 8%	29 45%	15 23%	6 9%	2 3%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	3 5%	4 6%	37 58%	9 14%	9 14%	2 3%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	2 3%	4 6%	38 59%	8 13%	10 16%	2 3%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	1 2%	7 11%	35 55%	7 11%	13 20%	1 2%
		㉙高速情報通信基盤の整備	2 3%	4 6%	25 39%	13 20%	18 28%	2 3%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	1 2%	1 2%	48 75%	5 8%	7 11%	2 3%

表 12 行政施策の満足度（島外生まれ）



Uターン

問 あなたは、総合計画で掲げた行政施策について、現在の取り組み状況として、どの程度満足していますか。

Uターンの方で、「満足」「やや満足」を合わせた回答(満足度が高い行政施策)は、「医療・救急体制の拡充」が最も多く(10件、31%)、次いで「①安心して産み育てられる環境づくり」と「学校教育の内容の充実」と「健康増進の支援」(8件、25%)との順に続いています。

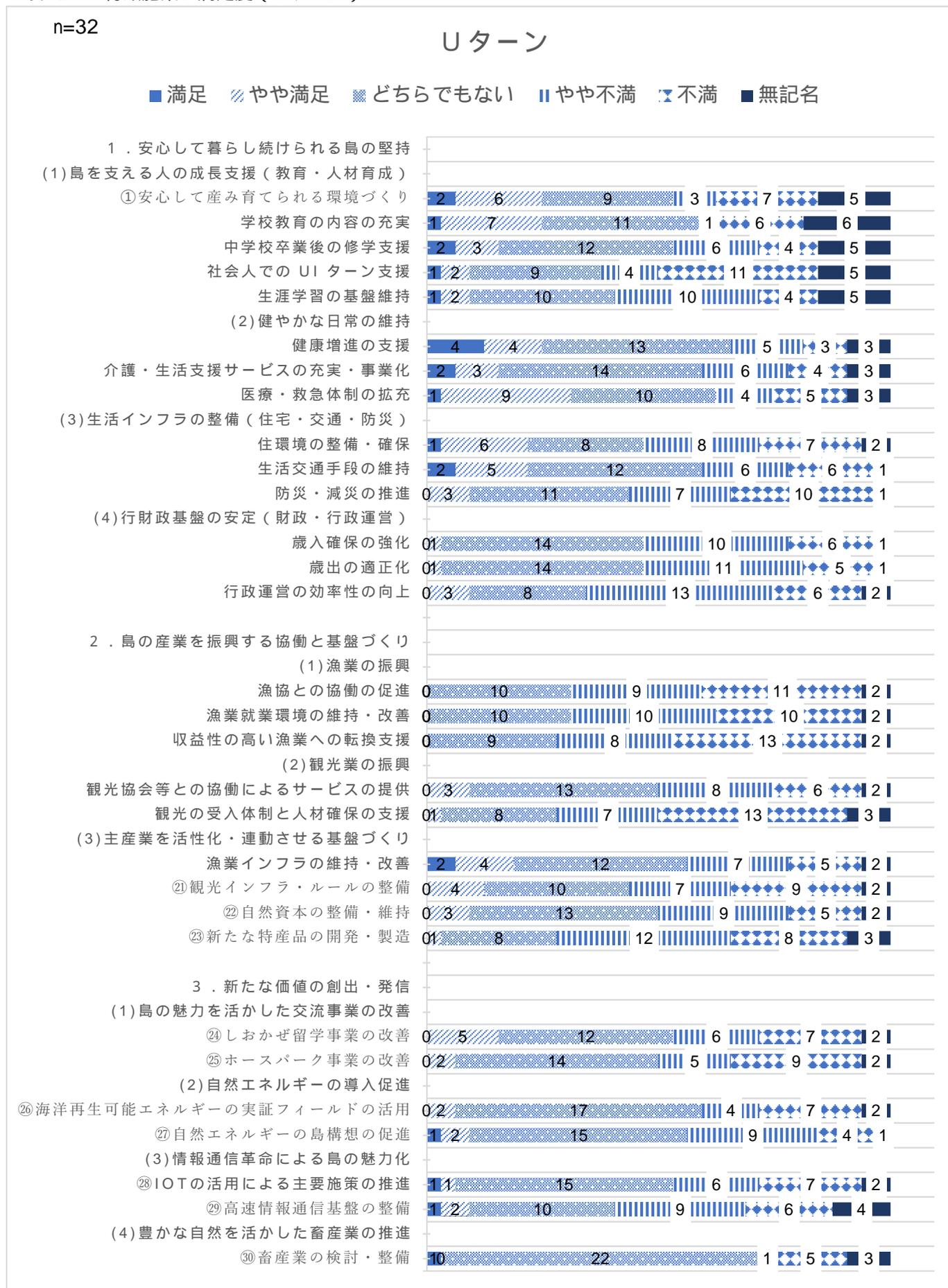
Uターンの方で、「やや不満」「不満」を合わせた回答(満足度が低い行政施策)は、「収益性の高い漁業への転換支援」、「漁協との協働の促進」、「漁業就業環境の維持・改善」、「観光の受入体制と人材確保の支援」、「②新たな特産品の開発・製造」などが挙げられている。

【満足度(Uターン)】

施策の柱		施策名	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無記名
1 安心して暮らし続けられる島の堅持	①島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	2 6%	6 19%	9 28%	3 9%	7 22%	5 16%
		学校教育の内容の充実	1 3%	7 22%	11 34%	1 3%	6 19%	6 19%
		中学校卒業後の修学支援	2 6%	3 9%	12 38%	6 19%	4 13%	5 16%
		社会人でのUターン支援	1 3%	2 6%	9 28%	4 13%	11 34%	5 16%
		生涯学習の基盤維持	1 3%	2 6%	10 31%	10 31%	4 13%	5 16%
	②健康やかな日常の維持	健康増進の支援	4 13%	4 13%	13 41%	5 16%	3 9%	3 9%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	2 6%	3 9%	14 44%	6 19%	4 13%	3 9%
		医療・救急体制の拡充	1 3%	9 28%	10 31%	4 13%	5 16%	3 9%
	③生活インフラの整備	住環境の整備・確保	1 3%	6 19%	8 25%	8 25%	7 22%	2 6%
		生活交通手段の維持	2 6%	5 16%	12 38%	6 19%	6 19%	1 3%
		防災・減災の推進	0 0%	3 9%	11 34%	7 22%	10 31%	1 3%
	④行政財政基盤の安定	歳入確保の強化	0 0%	1 3%	14 44%	10 31%	6 19%	1 3%
		歳出の適正化	0 0%	1 3%	14 44%	11 34%	5 34%	1 16%
行政運営の効率性の向上		0 0%	3 9%	8 25%	13 41%	6 19%	2 6%	

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	0 0%	0 0%	10 31%	9 28%	11 34%	2 6%
		漁業就業環境の維持・改善	0 0%	0 0%	10 31%	10 31%	10 31%	2 6%
		収益性の高い漁業への転換支援	0 0%	0 0%	9 28%	8 25%	13 41%	2 6%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	0 0%	3 9%	13 41%	8 25%	6 19%	2 6%
		観光の受入体制と人材確保の支援	0 0%	1 3%	8 25%	7 22%	13 41%	3 9%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	2 6%	4 13%	12 38%	7 22%	5 16%	2 6%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	0 0%	4 13%	10 31%	7 22%	9 28%	2 6%
		㉑自然資本の整備・維持	0 0%	3 9%	13 41%	9 28%	5 16%	2 6%
		㉒新たな特産品の開発・製造	0 0%	1 3%	8 25%	12 38%	8 25%	3 9%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	0 0%	5 16%	12 38%	6 19%	7 22%
㉕ホースパーク事業の改善			0 0%	2 6%	14 44%	5 16%	9 28%	2 6%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	0 0%	2 6%	17 53%	4 13%	7 22%	2 6%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	1 3%	2 6%	15 47%	9 28%	4 13%	1 3%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	1 3%	1 3%	15 47%	6 19%	7 22%	2 6%
		㉙高速情報通信基盤の整備	1 3%	2 6%	10 31%	9 28%	6 19%	4 9%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	1 3%	0 0%	22 69%	1 3%	5 16%	3 9%

表 12 行政施策の満足度（Uターン）



重要度

①回答者全体

問 また、(総合計画で掲げた行政施策について、) 今後は村にとってどの程度重要であるとお考えですか。

全体でみると、「重要」「やや重要」を合わせた回答は、「医療・救急体制の拡充」が最も多く(113件、74%)、次いで「①安心して産み育てられる環境づくり」(112件、74%)、「生活交通手段の維持」(109件、71%)、「住環境の整備・確保」(108件、71%)との順に続いています。

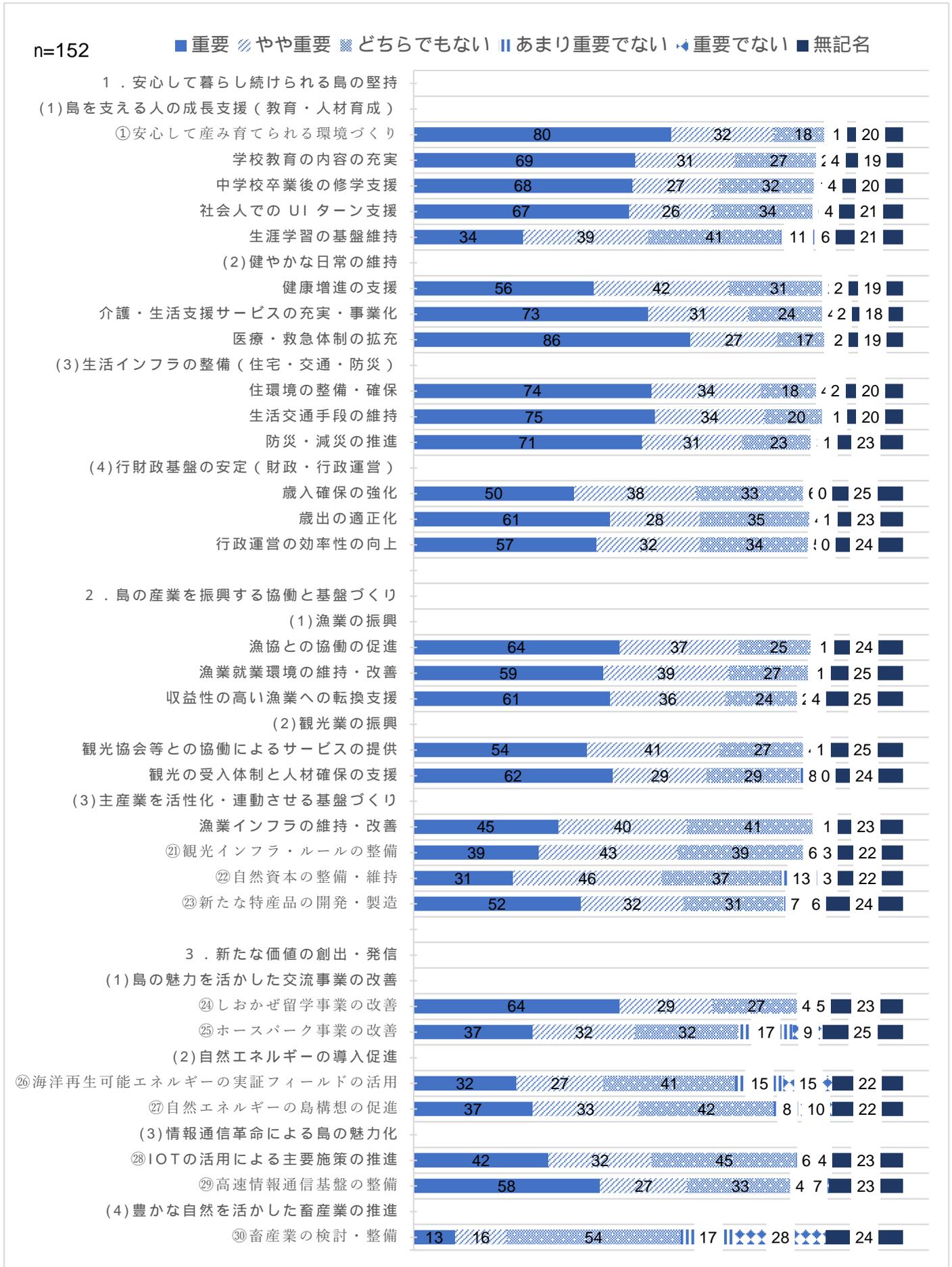
一方で、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた回答は、「③⑩畜産業の検討・整備」、「②⑥海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用」、「②⑤ホースパーク事業の改善」、「②⑦自然エネルギーの島構想の促進」などが挙げられている。

【重要度(全体)】

施策の柱		施策名	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無記名
1・安心して暮らし続けられる島の堅持	①島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	80 53%	32 21%	18 12%	1 1%	1 1%	20 13%
		学校教育の内容の充実	69 45%	31 20%	27 18%	2 1%	4 3%	19 13%
		中学校卒業後の修学支援	68 45%	27 18%	32 21%	1 1%	4 3%	20 13%
		社会人での UI ターン支援	67 44%	26 17%	34 22%	0 0%	4 3%	21 14%
		生涯学習の基盤維持	34 22%	39 26%	41 27%	11 7%	6 4%	21 14%
	②健やかな日常の維持	健康増進の支援	56 37%	42 28%	31 20%	2 1%	2 1%	19 13%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	73 48%	31 20%	24 16%	4 3%	2 1%	18 12%
		医療・救急体制の拡充	86 57%	27 18%	17 11%	1 1%	2 1%	19 13%
	③生活インフラの整備	住環境の整備・確保	74 49%	34 22%	18 12%	4 3%	2 1%	20 13%
		生活交通手段の維持	75 49%	34 22%	20 13%	2 1%	1 1%	20 13%
		防災・減災の推進	71 47%	31 20%	23 15%	3 2%	1 1%	23 15%
	④行財政基盤の安定	歳入確保の強化	50 33%	38 25%	33 22%	6 4%	0 0%	25 16%
歳出の適正化		61 40%	28 18%	35 23%	4 3%	1 1%	23 15%	
行政運営の効率性の向上		57 38%	32 21%	34 22%	5 3%	0 0%	24 16%	

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	64 42%	37 24%	25 16%	1 1%	1 1%	24 16%
		漁業就業環境の維持・改善	59 39%	39 26%	27 18%	1 1%	1 1%	25 16%
		収益性の高い漁業への転換支援	61 40%	36 24%	24 16%	2 1%	4 3%	25 16%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	54 36%	41 27%	27 18%	4 3%	1 1%	25 16%
		観光の受入体制と人材確保の支援	62 41%	29 19%	29 19%	8 5%	0 0%	24 16%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	45 30%	40 26%	41 27%	2 1%	1 1%	23 15%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	39 26%	43 28%	39 26%	6 4%	3 2%	22 14%
		㉑自然資本の整備・維持	31 20%	46 30%	37 24%	13 9%	3 2%	22 14%
		㉒新たな特産品の開発・製造	52 34%	32 21%	31 20%	7 5%	6 4%	24 16%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	64 42%	29 19%	27 18%	4 3%	5 3%
㉕ホースパーク事業の改善			37 24%	32 21%	32 21%	17 11%	9 6%	25 16%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	32 21%	27 18%	41 27%	15 10%	15 10%	22 14%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	37 24%	33 22%	42 28%	8 5%	10 7%	22 14%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	42 28%	32 21%	45 30%	6 4%	4 3%	23 15%
		㉙高速情報通信基盤の整備	58 38%	27 18%	33 22%	4 3%	7 5%	23 15%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	13 9%	16 11%	54 36%	17 11%	28 18%	24 16%

表 13 今後の重要度（全体）



ずっと島内に居住

問 また、(総合計画で掲げた行政施策について、) 今後は村にとってどの程度重要であるとお考えですか。

島内に居住の方で、「重要」「やや重要」を合わせた回答は、「①安心して産み育てられる環境づくり」が最も多く(29件、62%)、次いで「医療・救急体制の拡充」(28件、60%)、「学校教育の内容の充実」と「漁協との協働の促進」(27件、57%)との順に続いています。

特に、「重要」とした回答は、「①安心して産み育てられる環境づくり」が最も多く(40%)、次いで「医療・救急体制の拡充」と「生活交通手段の維持」(36%)との順に続いています。

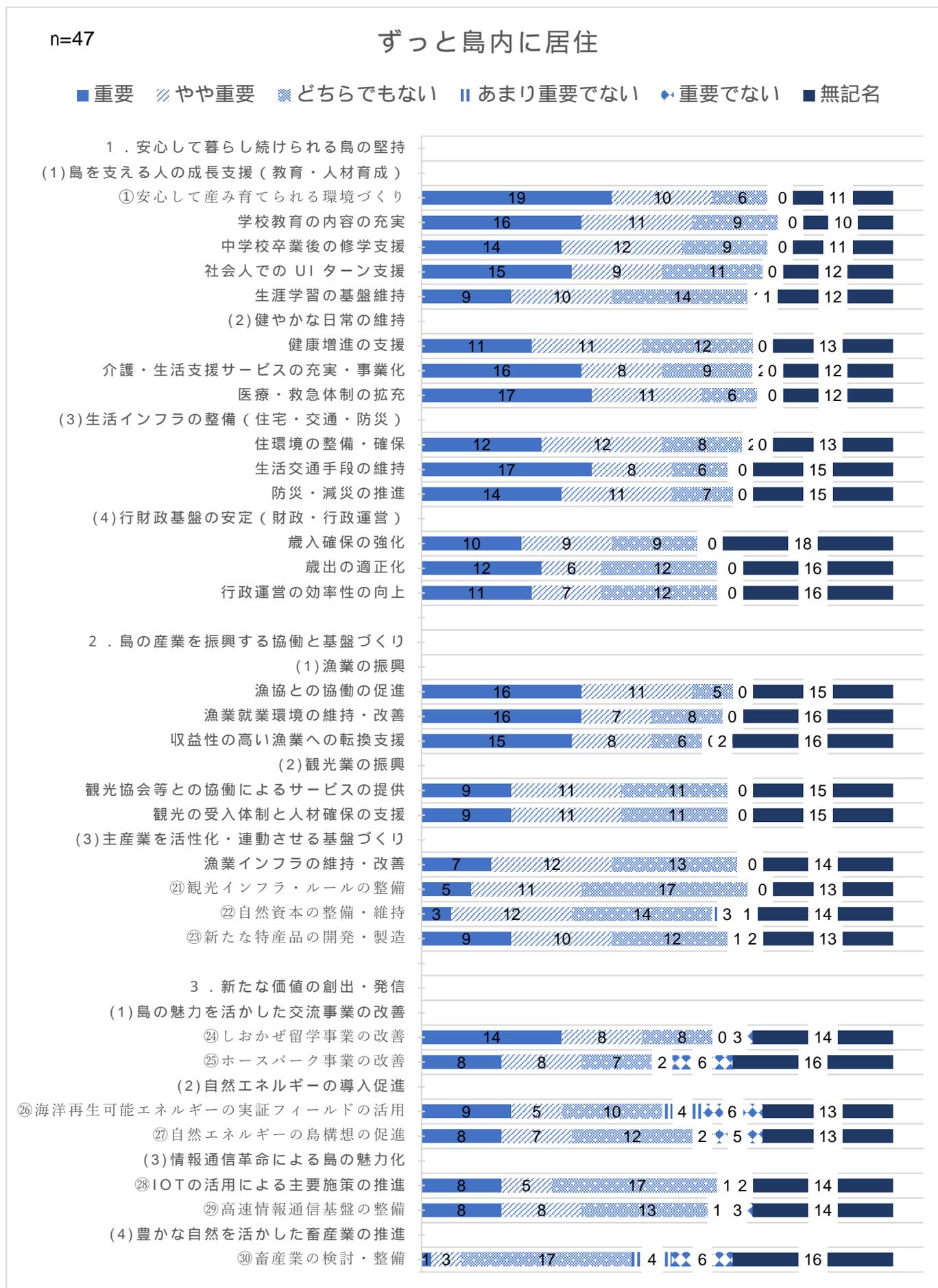
一方で、島内に居住の方で、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた回答は、「⑩畜産業の検討・整備」、「⑫海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用」、「⑮ホースパーク事業の改善」、「⑰自然エネルギーの島構想の促進」などが挙げられている。

【重要度(島内に居住)】

施策の柱		施策名	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無記名
1 安心して暮らし続けられる島の堅持	①(島を支える人の成長支援)	①安心して産み育てられる環境づくり	19 40%	10 21%	6 13%	1 2%	0 0%	11 23%
		学校教育の内容の充実	16 34%	11 23%	9 19%	1 2%	0 0%	10 23%
		中学校卒業後の修学支援	14 30%	12 26%	9 19%	1 2%	0 0%	11 23%
		社会人でのUIターン支援	15 32%	9 19%	11 23%	0 0%	0 0%	12 26%
		生涯学習の基盤維持	9 19%	10 21%	14 30%	1 2%	1 2%	12 26%
	②(健やかな日常の維持)	健康増進の支援	11 23%	11 23%	12 26%	0 0%	0 0%	13 28%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	16 34%	8 17%	9 19%	2 4%	0 0%	12 26%
		医療・救急体制の拡充	17 36%	11 23%	6 13%	1 2%	0 0%	12 26%
	③(生活インフラの整備)	住環境の整備・確保	12 26%	12 26%	8 17%	2 4%	0 0%	13 28%
		生活交通手段の維持	17 36%	8 17%	6 13%	1 2%	0 0%	15 32%
		防災・減災の推進	14 30%	11 23%	7 15%	0 0%	0 0%	15 32%
	④(行財政基盤の安定)	歳入確保の強化	10 21%	9 19%	9 19%	1 2%	0 0%	18 38%
歳出の適正化		12 26%	6 13%	12 26%	1 2%	0 0%	16 34%	
行政運営の効率性の向上		11 23%	7 15%	12 26%	1 2%	0 0%	16 34%	

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	16 34%	11 23%	5 11%	0 0%	0 0%	15 32%
		漁業就業環境の維持・改善	16 34%	7 15%	8 17%	0 0%	0 0%	16 34%
		収益性の高い漁業への転換支援	15 32%	8 17%	6 13%	0 0%	2 4%	16 34%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	9 19%	11 23%	11 23%	1 2%	0 0%	15 32%
		観光の受入体制と人材確保の支援	9 19%	11 23%	11 23%	1 2%	0 0%	15 32%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	7 15%	12 26%	13 28%	1 2%	0 0%	14 30%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	5 11%	11 23%	17 36%	1 2%	0 0%	13 28%
		㉑自然資本の整備・維持	3 6%	12 26%	14 30%	3 6%	1 2%	14 30%
		㉒新たな特産品の開発・製造	9 19%	10 21%	12 26%	1 2%	2 4%	13 28%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	14 30%	8 17%	8 17%	0 0%	3 6%
㉕ホースパーク事業の改善			8 17%	8 17%	7 15%	2 4%	6 13%	16 34%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	9 19%	5 11%	10 21%	4 9%	6 13%	13 28%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	8 17%	7 15%	14 26%	2 4%	5 11%	13 28%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	8 17%	5 11%	17 36%	1 2%	2 4%	14 30%
		㉙高速情報通信基盤の整備	8 17%	8 17%	13 28%	1 2%	3 6%	14 30%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	1 2%	3 6%	17 36%	4 9%	6 13%	16 34%

表 13 今後の重要度（島内に居住）



島外生まれ

問 また、(総合計画で掲げた行政施策について、) 今後は村にとってどの程度重要であるとお考えですか。

島外生まれの方で、「重要」「やや重要」を合わせた回答は、「①安心して産み育てられる環境づくり」が最も多く(55件、86%)、次いで「住環境の整備・確保」(53件、83%)、「医療・救急体制の拡充」と「生活交通手段の維持」(52件、81%)との順に続いています。

特に、「重要」とした回答は、「医療・救急体制の拡充」が最も多く(67%)、次いで「住環境の整備・確保」(36%)、「①安心して産み育てられる環境づくり」(61%)との順に続いています。

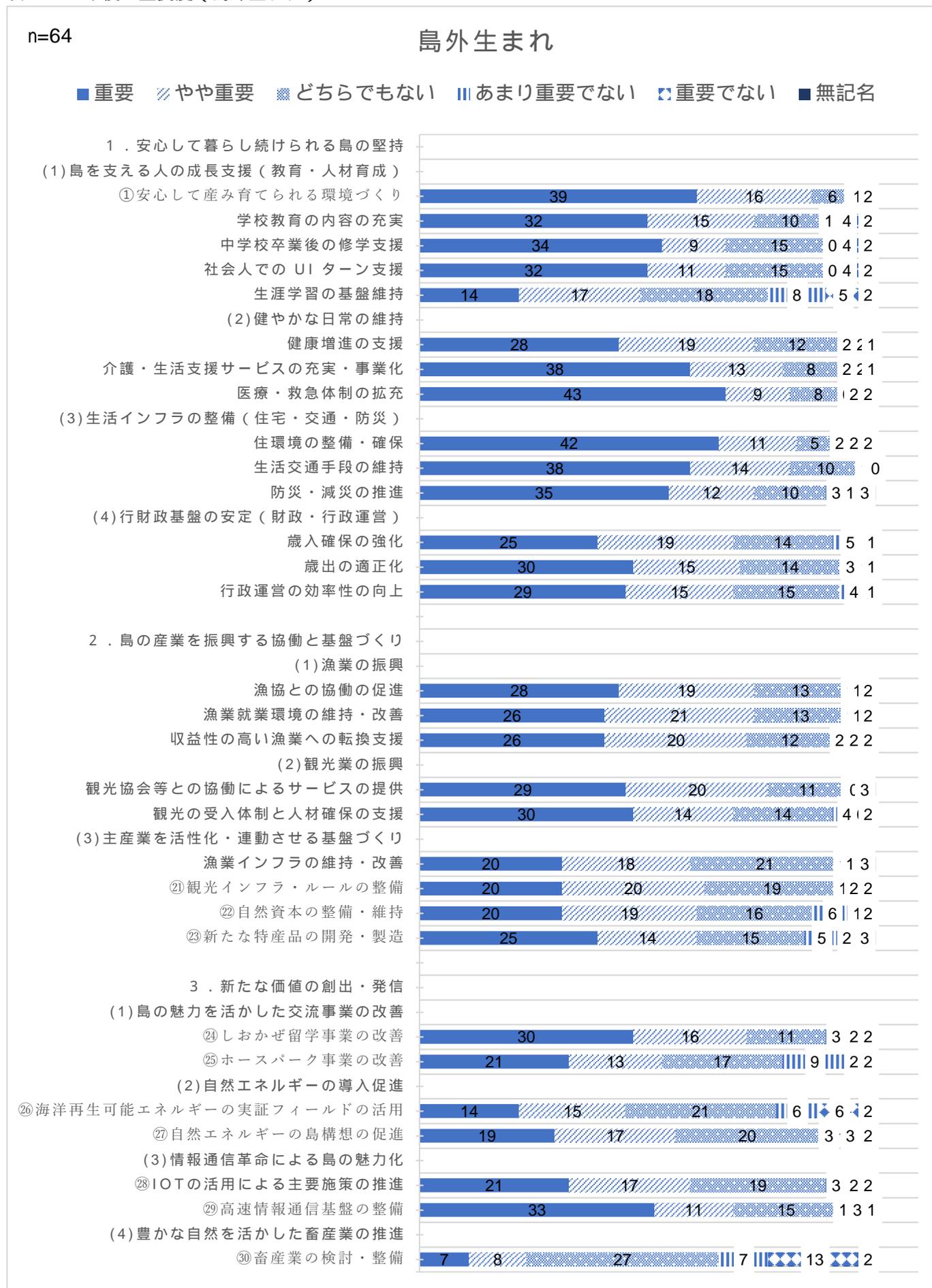
一方で、島外生まれの方で、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた回答は、「⑩畜産業の検討・整備」、「生涯学習の基盤維持」、「⑳海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用」、「㉕ホースパーク事業の改善」などが挙げられている。

【重要度(島外生まれ)】

施策の柱		施策名	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無記名	
1 安心して暮らし続けられる島の堅持	①(島を支える人の成長支援)	①安心して産み育てられる環境づくり	39 61%	16 25%	6 9%	0 0%	1 2%	2 3%	
		学校教育の内容の充実	32 50%	15 23%	10 16%	1 2%	4 6%	2 3%	
		中学校卒業後の修学支援	34 53%	9 14%	15 23%	0 0%	4 6%	2 3%	
		社会人でのUIターン支援	32 50%	11 17%	15 23%	0 0%	4 6%	2 3%	
		生涯学習の基盤維持	14 22%	17 27%	18 28%	8 13%	5 8%	2 3%	
	維持	②(健やかな日常の維持)	健康増進の支援	28 44%	19 30%	12 19%	2 3%	2 3%	1 2%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	38 59%	13 20%	8 13%	2 3%	2 3%	1 2%	
		医療・救急体制の拡充	43 67%	9 14%	8 13%	0 0%	2 3%	2 3%	
	整備	③(生活インフラの整備)	住環境の整備・確保	42 66%	11 17%	5 8%	2 3%	2 3%	2 3%
		生活交通手段の維持	38 59%	14 22%	10 16%	1 2%	1 2%	0 0%	
		防災・減災の推進	35 55%	12 19%	10 16%	3 5%	1 2%	3 5%	
	定	④(行財政基盤の安定)	歳入確保の強化	25 39%	19 30%	14 22%	5 8%	0 0%	1 2%
歳出の適正化		30 47%	15 23%	14 22%	3 5%	1 2%	1 2%		
行政運営の効率性の向上		29 45%	15 23%	15 23%	4 6%	0 0%	1 2%		

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	28 44%	19 30%	13 20%	1 2%	1 2%	2 3%
		漁業就業環境の維持・改善	26 41%	21 33%	13 20%	1 2%	1 2%	2 3%
		収益性の高い漁業への転換支援	26 41%	20 31%	12 19%	2 3%	2 3%	2 3%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	29 45%	20 31%	11 17%	1 2%	0 0%	3 5%
		観光の受入体制と人材確保の支援	30 47%	14 22%	14 22%	4 6%	0 0%	2 3%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	20 31%	18 28%	21 33%	1 2%	1 2%	3 5%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	20 31%	20 31%	19 30%	1 2%	2 3%	2 3%
		㉑自然資本の整備・維持	20 31%	19 30%	16 25%	6 9%	1 2%	2 3%
		㉒新たな特産品の開発・製造	25 39%	14 22%	15 23%	5 8%	2 3%	3 5%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	30 47%	16 25%	11 17%	3 5%	2 3%
㉕ホースパーク事業の改善			21 33%	13 20%	17 27%	9 14%	2 3%	2 3%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	14 22%	15 23%	21 33%	6 9%	6 9%	2 3%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	19 30%	17 27%	20 31%	3 5%	3 5%	2 3%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	21 33%	17 27%	19 30%	3 5%	2 3%	2 3%
		㉙高速情報通信基盤の整備	33 52%	11 17%	15 23%	1 2%	3 5%	1 2%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	7 11%	8 13%	27 42%	7 11%	13 20%	2 3%

表 13 今後の重要度（島外生まれ）



Uターン

問 また、(総合計画で掲げた行政施策について、) 今後は村にとってどの程度重要であるとお考えですか。

Uターンの方で、「重要」「やや重要」を合わせた回答は、「医療・救急体制の拡充」と「生活交通手段の維持」が最も多く(27件、84%)、次いで「防災・減災の推進」(26件、81%)、「収益性の高い漁業への転換支援」(25件、78%)との順に続いています。

特に、「重要」とした回答は、「医療・救急体制の拡充」と「観光の受入体制と人材確保の支援」が最も多く(66%)、次いで「防災・減災の推進」(63%)との順に続いています。

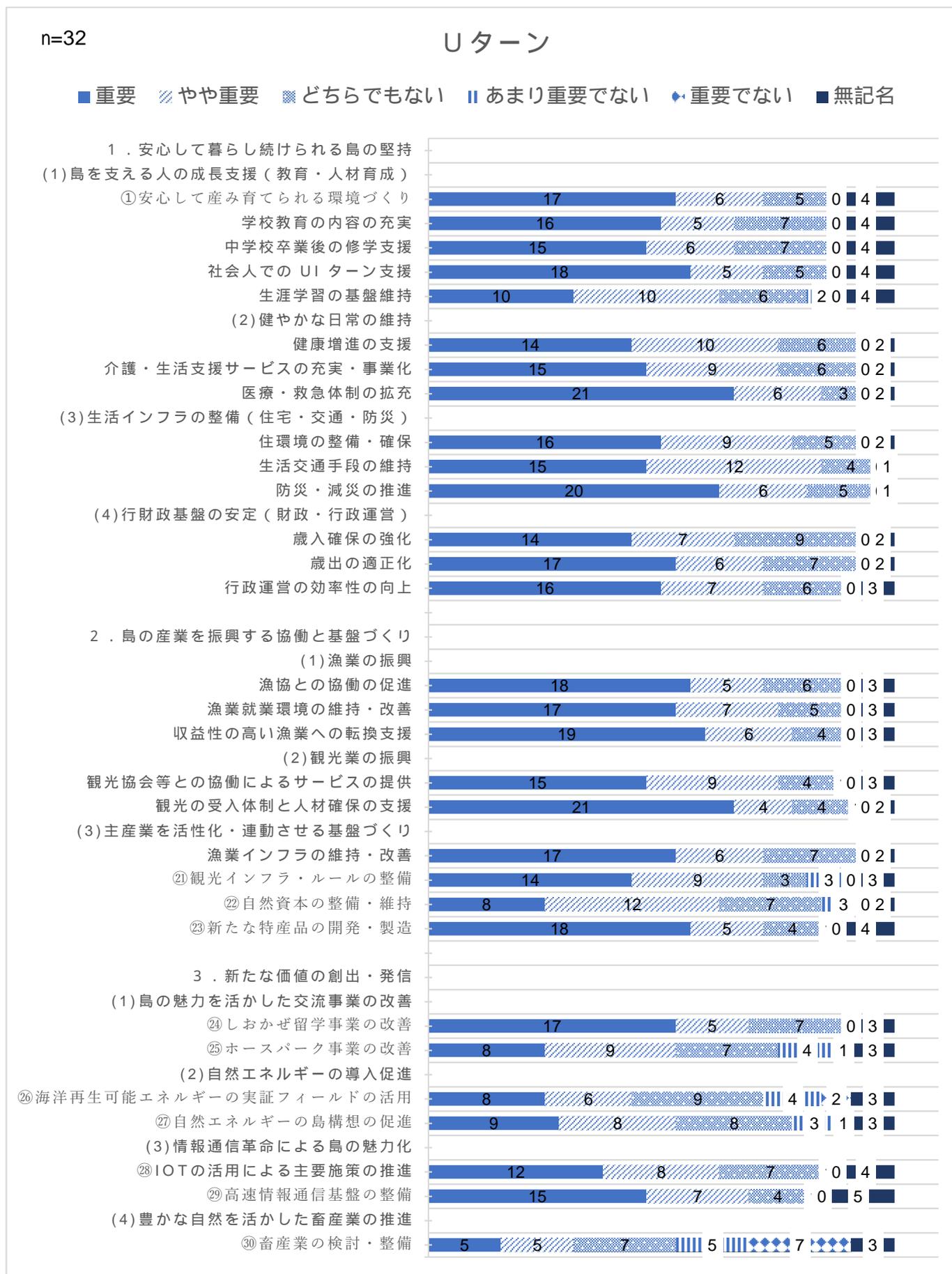
一方で、Uターンの方で、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた回答は、「^⑩畜産業の検討・整備」、「^⑫海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用」、「^⑮ホースパーク事業の改善」、「^⑰自然エネルギーの島構想の促進」などが挙げられている。

【重要度(Uターン)】

施策の柱		施策名	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無記名
1 安心して暮らし続けられる島の堅持	① 島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	17 53%	6 19%	5 16%	0 0%	0 0%	4 13%
		学校教育の内容の充実	16 50%	5 16%	7 22%	0 0%	0 0%	4 13%
		中学校卒業後の修学支援	15 47%	6 19%	7 22%	0 0%	0 0%	4 13%
		社会人でのUターン支援	18 59%	5 16%	5 16%	0 0%	0 0%	4 13%
		生涯学習の基盤維持	10 31%	10 31%	6 19%	2 6%	0 0%	4 13%
	② 健やかな日常の維持	健康増進の支援	14 44%	10 31%	6 19%	0 0%	0 0%	2 6%
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	15 47%	9 28%	6 19%	0 0%	0 0%	2 6%
		医療・救急体制の拡充	21 66%	6 19%	3 9%	0 0%	0 0%	2 6%
	③ 生活インフラの整備	住環境の整備・確保	16 50%	9 28%	5 16%	0 0%	0 0%	2 6%
		生活交通手段の維持	15 47%	12 38%	4 13%	0 0%	0 0%	1 3%
		防災・減災の推進	20 63%	6 19%	5 16%	0 0%	0 0%	1 3%
	④ 行財政基盤の安定	歳入確保の強化	14 44%	7 22%	9 28%	0 0%	0 0%	2 6%
歳出の適正化		17 53%	6 19%	7 22%	0 0%	0 0%	2 6%	
行政運営の効率性の向上		16 50%	7 22%	6 19%	0 0%	0 0%	3 9%	

2・島の産業を振興する協働と基盤づくり	①漁業の振興	漁協との協働の促進	18 56%	5 16%	6 19%	0 0%	0 0%	3 9%
		漁業就業環境の維持・改善	17 53%	7 22%	5 16%	0 0%	0 0%	3 9%
		収益性の高い漁業への転換支援	19 59%	6 19%	4 13%	0 0%	0 0%	3 9%
	②観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	15 47%	9 28%	4 13%	1 3%	0 0%	3 9%
		観光の受入体制と人材確保の支援	21 66%	4 13%	4 13%	1 3%	0 0%	2 6%
	③主産業を活性化させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	17 53%	6 19%	7 22%	0 0%	0 0%	2 6%
		⑳観光インフラ・ルールの整備	14 44%	9 28%	3 9%	3 9%	0 0%	3 9%
		㉑自然資本の整備・維持	8 25%	12 38%	7 22%	3 9%	0 0%	2 6%
		㉒新たな特産品の開発・製造	18 56%	5 16%	4 13%	1 3%	0 0%	4 13%
	3・新たな価値の創出・発信	①島の魅力を活かした交流事業の改善	㉔しおかぜ留学事業の改善	17 53%	5 16%	7 22%	0 0%	0 0%
㉕ホースパーク事業の改善			8 25%	9 28%	7 22%	4 13%	1 3%	3 9%
②自然エネルギーの導入促進		㉖海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	8 25%	6 19%	9 28%	4 13%	2 6%	3 9%
		㉗自然エネルギーの島構想の促進	9 28%	8 25%	8 25%	3 9%	1 3%	3 9%
③情報通信革命による島の魅力化		㉘IoTの活用による主要施策の推進	12 38%	8 25%	7 22%	1 3%	0 0%	4 13%
		㉙高速情報通信基盤の整備	15 47%	7 22%	4 13%	1 3%	0 0%	5 16%
④豊かな自然を活かした畜産業の推進		㉚畜産業の検討・整備	5 16%	5 16%	7 22%	5 16%	7 22%	3 9%

表 13 今後の重要度（Uターン）



今後の優先度が高い行政施策の分析

「満足度」と「重要度」の散布図を用いた分析について。

散布図の作成方法

総合計画で掲げた行政施策ごとに以下のとおりポイントの重み付けを行い、この結果に基づき30の施策ごとに「満足度」と「重要度」それぞれについて回答者の平均を算出し、散布図を作成した。

「満足度」	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無記名
「重要度」	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無記名
ポイント	5点	4点	3点	2点	1点	0点

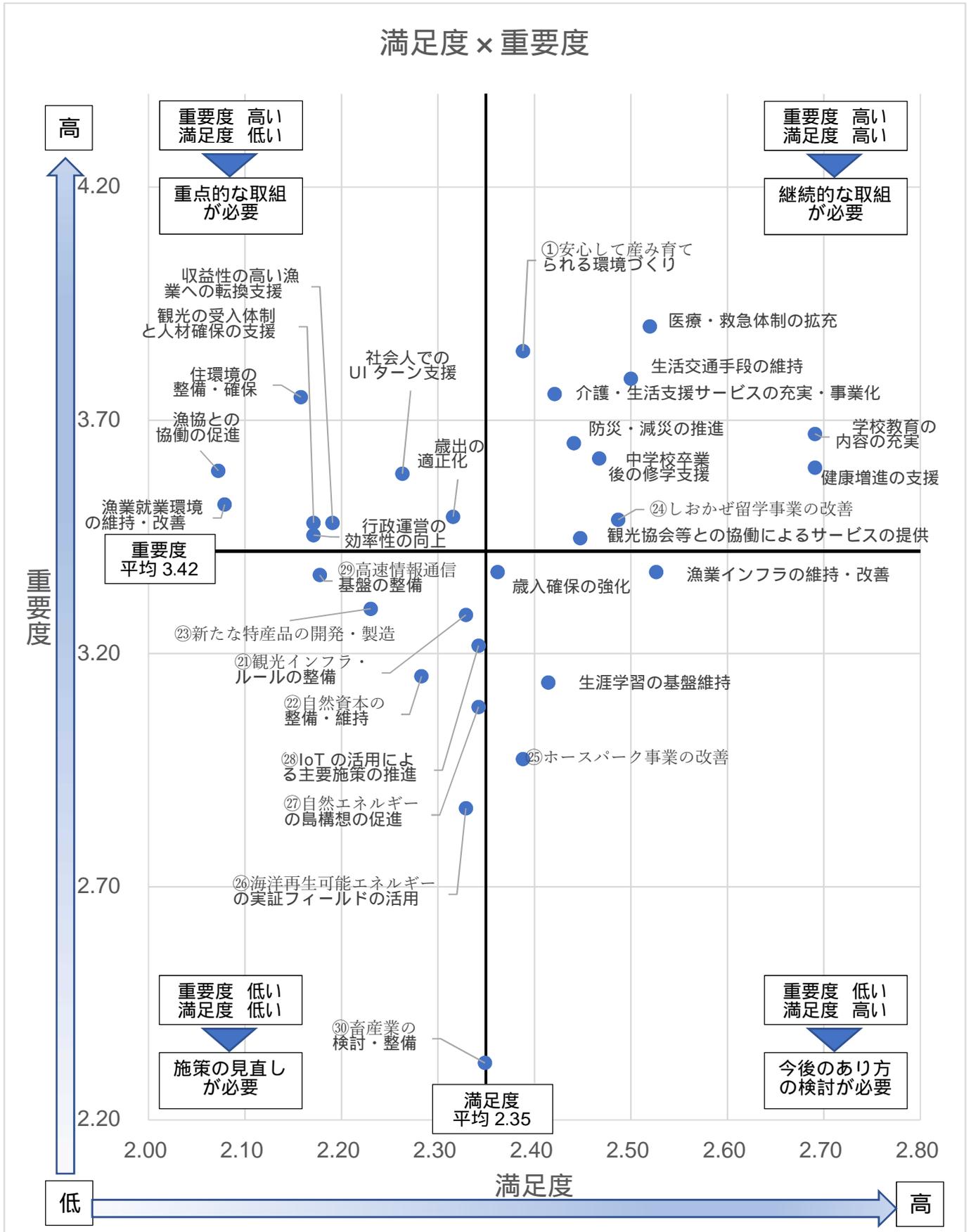
散布図の読み方

- ・横方向【満足度】：各施策に対する、住民の満足度を表わします。点数が高いほど、住民からの評価が高いことを表わします。
- ・縦方向【重要度】：住民が考える各施策の重要度を表します。点数が高いほど、住民からの必要度が高いことを表わします。

「満足度」と「重要度」それぞれの項目の平均値を4象限を画する区切り線として示してあります。



表 14 満足度と重要度の散布図（全体）



【満足度と重要度(全体)】

施策の柱		施策名	満足度	重要度
1 ・安心して暮らし続けられる島の堅持	(1)島を支える人の成長支援	①安心して産み育てられる環境づくり	2.39	3.85
		学校教育の内容の充実	2.69	3.67
		中学校卒業後の修学支援	2.47	3.62
		社会人での UI ターン支援	2.26	3.59
		生涯学習の基盤維持	2.41	3.14
	(2)健やかな日常の維持	健康増進の支援	2.69	3.60
		介護・生活支援サービスの充実・事業化	2.42	3.76
		医療・救急体制の拡充	2.52	3.90
	(3)生活インフラの整備	住環境の整備・確保	2.16	3.75
		生活交通手段の維持	2.50	3.79
		防災・減災の推進	2.44	3.65
	(4)行財政基盤の安定	歳入確保の強化	2.36	3.38
		歳出の適正化	2.32	3.49
行政運営の効率性の向上		2.17	3.45	
2 ・島の産業を振興する協働と基盤づくり	(1)漁業の振興	漁協との協働の促進	2.07	3.59
		漁業就業環境の維持・改善	2.08	3.52
		収益性の高い漁業への転換支援	2.19	3.48
	(2)観光業の振興	観光協会等との協働によるサービスの提供	2.45	3.45
		観光の受入体制と人材確保の支援	2.17	3.48
	(3)主産業を活性化・連動させる基盤づくり	漁業インフラの維持・改善	2.53	3.38
		⑳観光インフラ・ルールの整備	2.33	3.28
		㉑自然資本の整備・維持	2.28	3.15
		㉒新たな特産品の開発・製造	2.23	3.30
3 ・新たな価値の創出・発信	(1)島の魅力を活かした交流事業の改善	㉓しおかぜ留学事業の改善	2.49	3.49
		㉔ホースパーク事業の改善	2.39	2.97
	(2)自然エネルギーの導入促進	㉕海洋再生可能エネルギーの実証フィールドの活用	2.33	2.87
		㉖自然エネルギーの島構想の促進	2.34	3.09
	(3)情報通信革命による島の魅力化	㉗IoT の活用による主要施策の推進	2.34	3.22
		㉘高速情報通信基盤の整備	2.18	3.37
	(4)豊かな自然を活かした畜産業の推進	㉙畜産業の検討・整備	2.35	2.32
平均値			2.35	3.42

5 村の将来について

問 あなたは、今後、栗島浦村がどのような村を目指すべきだと思いますか。2つまで選択可能

全体でみると、「漁業・観光業等が発展し、人材育成や事業継承の確保された村」が最も多く(47件)、次いで「小規模離島における日常生活に必要な環境の維持が図られている村」(32件)、「自然環境や歴史的資源などをいかした個性のある村」(29件)の順に続いています。

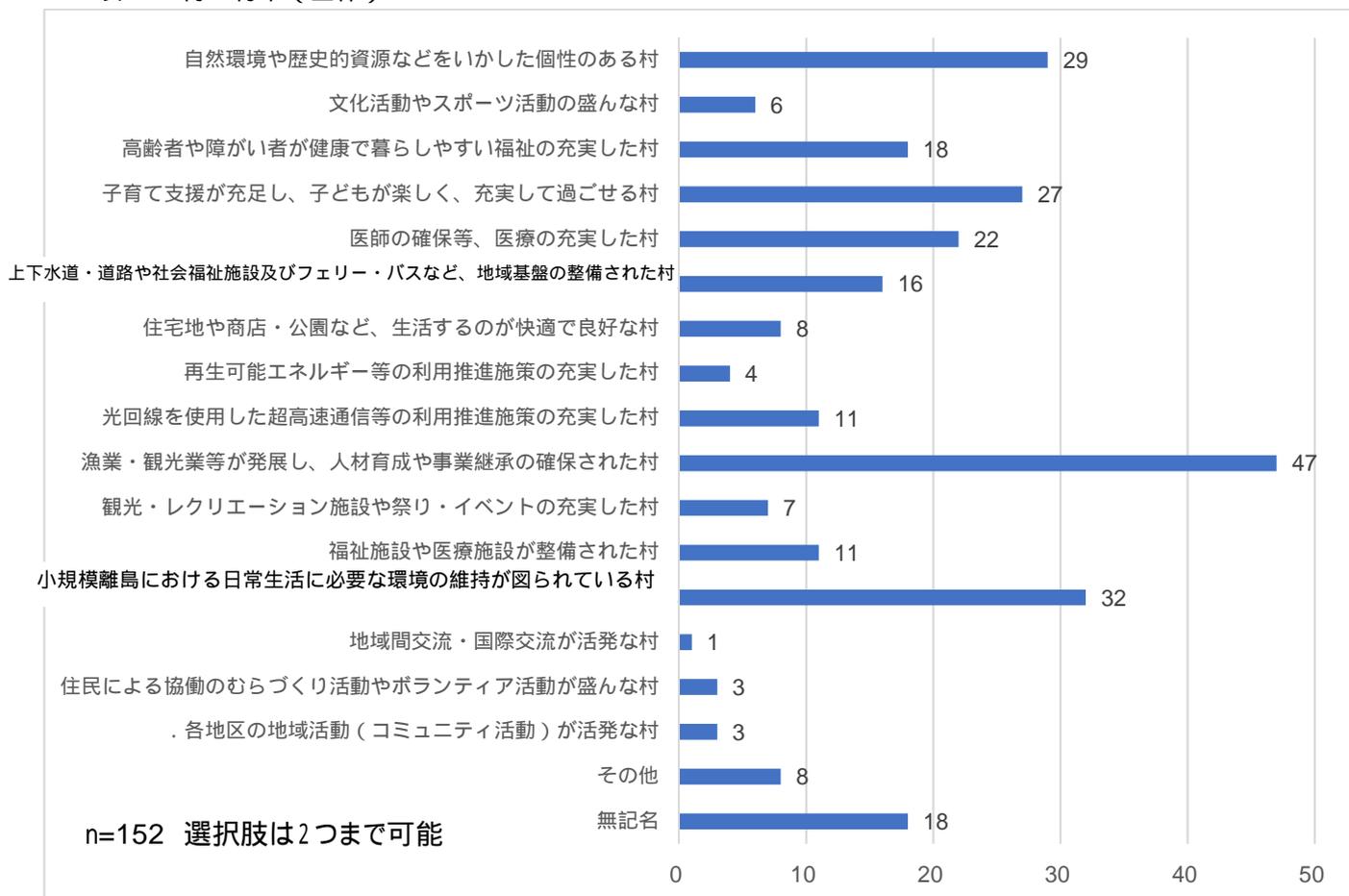
1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」と「Uターン」は「漁業・観光業等が発展し、人材育成や事業継承の確保された村」が最も多い(13件。島内居住は「自然環境や歴史的資源などをいかした個性のある村」も13件)。一方で、「島外生まれ」は「小規模離島における日常生活に必要な環境の維持が図られている村」の回答が最も多い(16件)。

「ずっと島内に居住している」の回答割合は、「漁業・観光業等が発展し、人材育成や事業継承の確保された村」と「自然環境や歴史的資源などをいかした個性のある村」が最も多い(13件)。

「島外生まれ」の回答割合は、「小規模離島における日常生活に必要な環境の維持が図られている村」が最も多く(16件)、次いで「自然環境や歴史的資源などをいかした個性のある村」(14件)の順となっています。

「Uターン」の回答割合は、「漁業・観光業等が発展し、人材育成や事業継承の確保された村」が最も多く(18件)、次いで「小規模離島における日常生活に必要な環境の維持が図られている村」(9件)の順となっています。

表 15 村の将来(全体)



調査の結果 - 5 村の将来について

< その他の意見 (8件) >

村上市や近隣地区との合併

持続可能な島づくり。なるべく本土へ依存しない環境や仕組みを目指す ex、農業：邪魔な海藻は燃やして草木灰に。間伐した竹等はチップに

どのみち独立を目指すことは、人材面や人口数を鑑みても不可能に近い。粟島は観光資源が皆無のため年間来島人数がイベントを行っても1万人前後。とある離島は、何もなくても年間来島者が10万人です。近隣市町と合併を再検討した方が良い独立継続は無理

かわいい自動運転バスや配達ロボットがいる島

安定した収入が得られ、安心して暮らせる村

交通(フェリー・高速船) 基盤が整備されていることは、もちろんであるが高速通信網の整備がすすめば、1・U ターンも移住者の増加にもつながるし、教育環境をはじめ、福祉や医療の環境整備も必要である。総合的にバランスのとれた村作りが必要

必要な人、必要な場所に適正に税金が使われる島

家族(子供がいる家庭)の移住できる環境作りと支援。粟島の子供が少なくなっているため同級生がいると、子育てには重要だと思います。高校生になって島をはなれる時も1人より、同級生がいた方が親も子も安心。働き盛りの年齢がけて多くないので、もっと若い世代が住みやすく、移住もしやすく、活気のある島作りが大切。

(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 4件

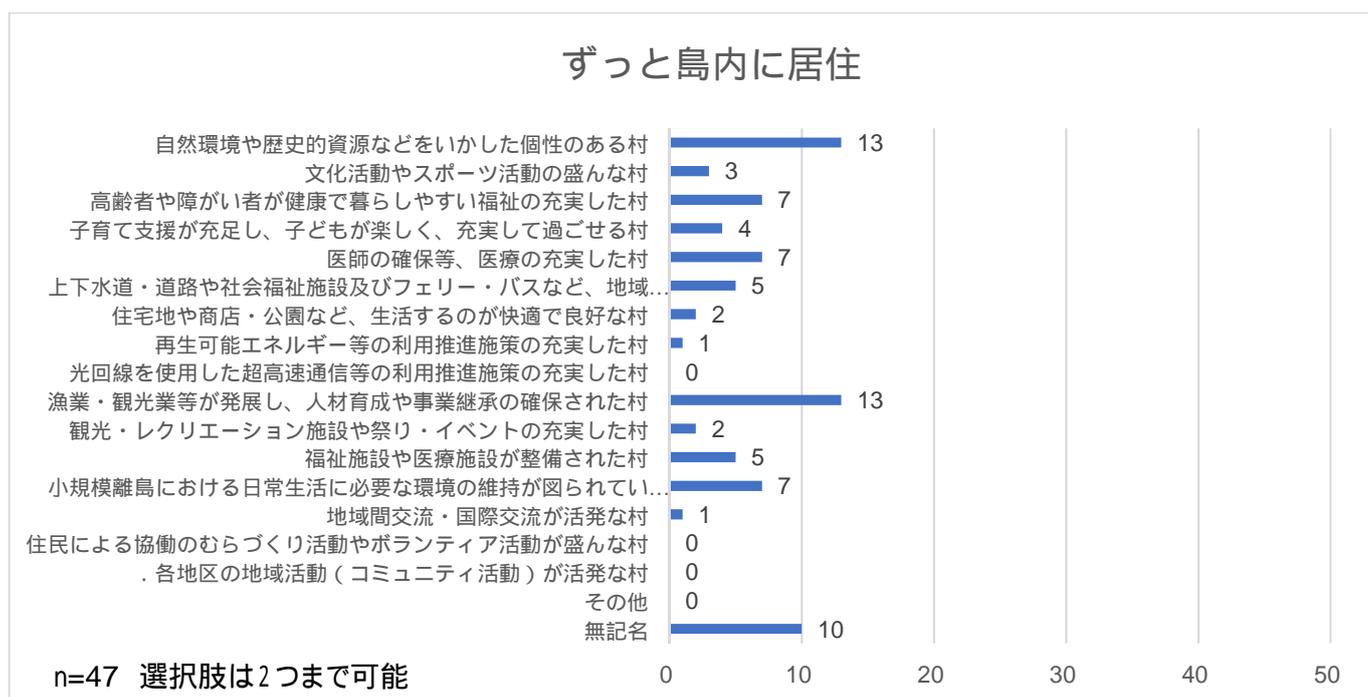
✓ 小路の雪かきをかいてほしい

✓ 島を維持していく為、子育て支援の安定。上下水道は重要なライフライン。水の大切を重んじて点検を十分に行い、過去にあった水が濁ったり、パイプの劣化など重要事だと思います。人口の維持と安定したライフライン。冬の雪かき、石油入れ、あと、この島に暮らす人すべて悪いことしない。国からの補助金が駄目にするなど悪いことしない事

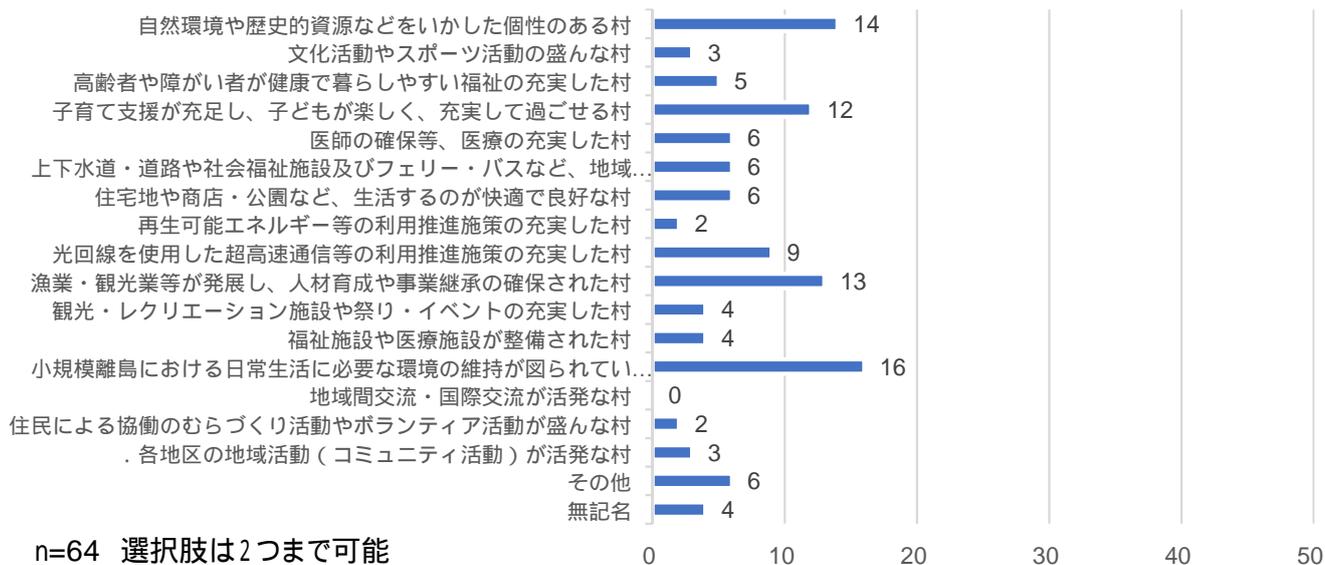
✓ 働く先の選択肢がある村

✓ 水道・管の将来にかけての管理、運営をしっかり、1番大事と思う。留学生 + 協力隊など、家族での島に住んでもらう。人口増とはいわないが、現状維持を保ち、島内経済の流れをはかる。金が回るようにする。冬、雪が、降り、つもった時に年寄なもんで、大変、何か、いい協力体制できないものか。石油、入れ、ストーブに油を入れる時、ふきごぼしたりすることがあるし、重すぎて、年寄には、つらい時が、多々あり、ガンバッテ生きるためガンバルが、家の中のこまったことに関して、電話1本で、お伝いしてもらえると助かることもあるのだが、何か体策していただけるならいいのだが。粟島の1年間の行事や、イベント、村全体で、やるような事が、年間、プログラムのような、予定表が、あればもっといいと思う。例1月、何日小正月とか、6月クランアップ、9月防災訓練とか、役場職員始めの人でも、すぐわかる。

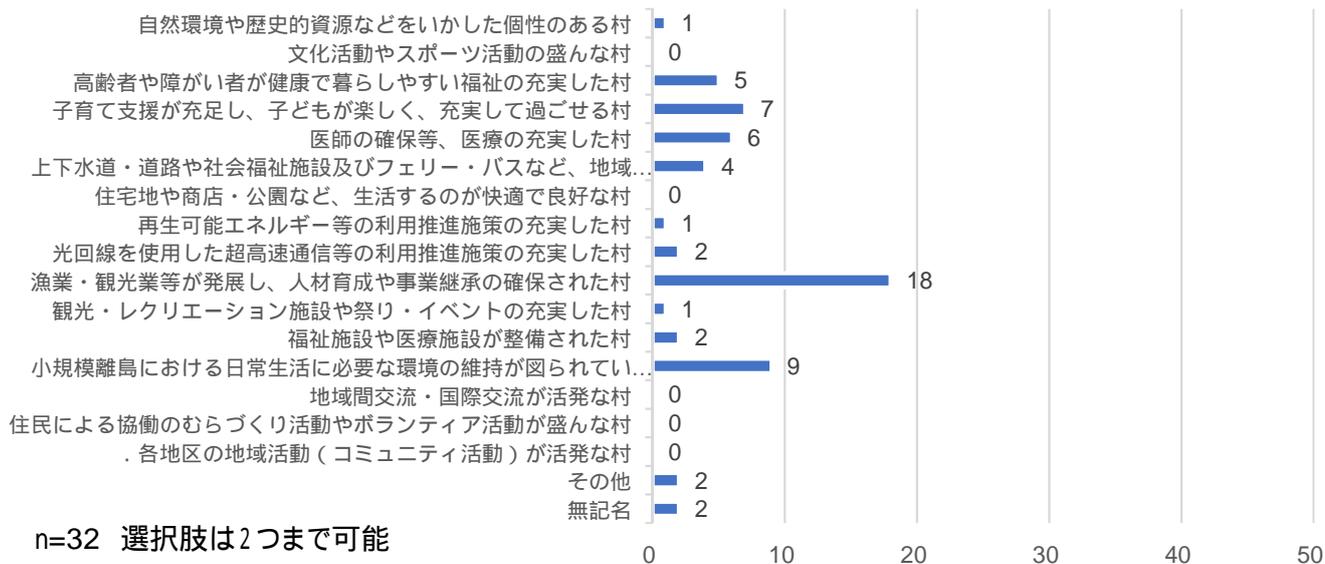
表 15 回答者(居住経緯毎)の村の将来



島外生まれ



Uターン



調査の結果 - 5 村の将来について

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自然環境や歴史的資源などをいかした個性のある村	13	16.3%	14	12.2%	1	1.7%	1	6.7%	29	10.7%
文化活動やスポーツ活動の盛んな村	3	3.8%	3	2.6%	0	0%	0	0%	6	2.2%
高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	7	8.8%	5	4.3%	5	8.3%	1	6.7%	18	6.6%
子育て支援が充足し、子どもが楽しく、充実して過ごせる村	4	5.0%	12	10.4%	7	11.7%	4	26.7%	27	10.0%
医師の確保等、医療の充実した村	7	8.8%	6	5.2%	6	10.0%	3	20.0%	22	8.1%
上下水道・道路や社会福祉施設及びフェリー・バスなど、地域基盤の整備された村	5	6.3%	6	5.2%	4	6.7%	1	6.7%	16	5.9%
住宅地や商店・公園など、生活するのが快適で良好な村	2	2.5%	6	5.2%	0	0%	0	0%	8	3.0%
再生可能エネルギー等の利用推進施策の充実した村	1	1.3%	2	1.7%	1	1.7%	0	0%	4	1.5%
光回線を使用した超高速通信等の利用推進施策の充実した村	0	0%	9	11.3%	2	3.3%	0	0%	11	4.1%
漁業・観光業等が発展し、人材育成や事業継承の確保された村	13	16.3%	13	3.5%	18	30.0%	3	20.0%	47	17.3%
観光・レクリエーション施設や祭り・イベントの充実した村	2	2.5%	4	3.5%	1	1.7%	0	0%	7	2.6%
福祉施設や医療施設が整備された村	5	6.3%	4	3.5%	2	3.3%	0	0%	11	4.1%
小規模離島における日常生活に必要な環境の維持が図られている村	7	8.8%	16	13.9%	9	15.0%	0	0%	32	11.8%
地域間交流・国際交流が活発な村	1	1.3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.4%
住民による協働のむらづくり活動やボランティア活動が盛んな村	0	0%	2	1.7%	0	0%	1	6.7%	3	1.1%
各地区の地域活動(コミュニティ活動)が活発な村	0	0%	3	2.6%	0	0%	0	0%	3	1.1%
その他	0	0%	6	5.2%	2	3.3%	0	0%	8	3.0%
無記名	10	12.5%	4	3.5%	2	3.3%	1	6.7%	18	6.6%
合計	80 47人	100%	115 64人	100%	60 32人	100%	15 9人	100%	271 152人	100%

6 今後のむらづくりについて

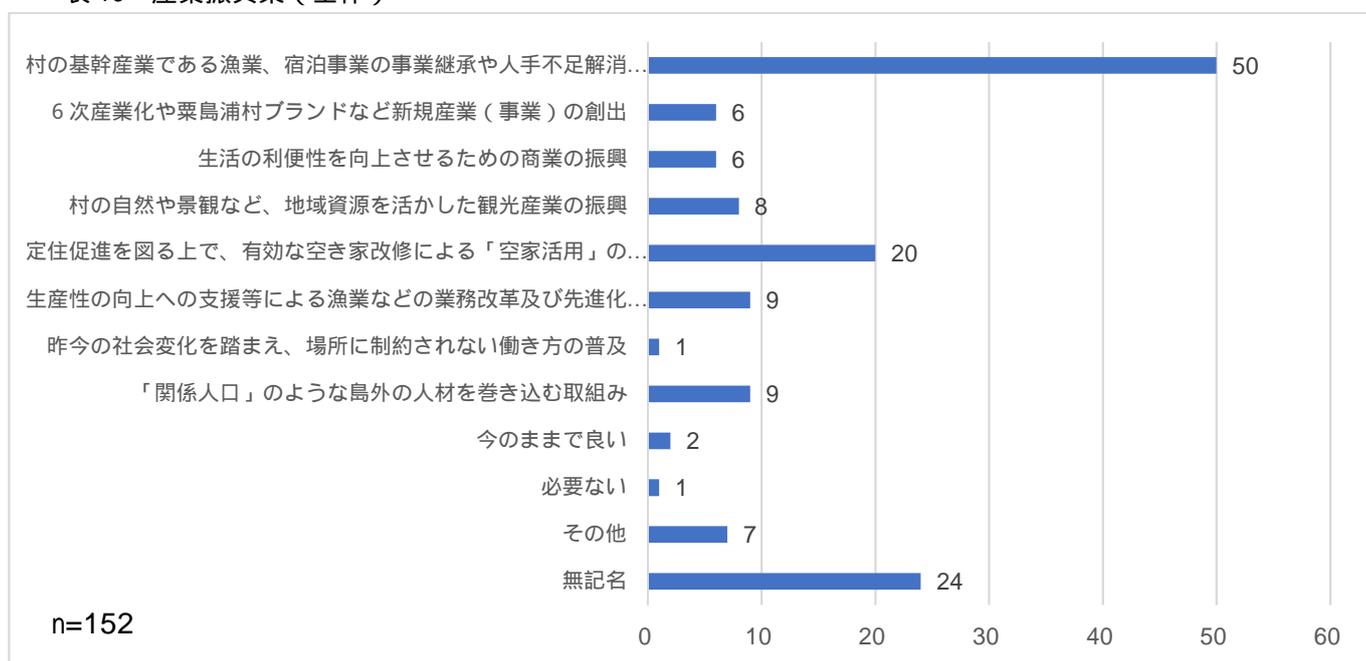
①産業振興策

問 あなたは、粟島浦村の産業振興に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。

全体でみると、「村の基幹産業である漁業、宿泊事業の事業継承や人手不足解消の取組み」が最も多く(50件)、次いで「定住促進を図る上で、有効な空き家改修による「空家活用」の促進」(20件)、「生産性の向上への支援等による漁業などの業務改革及び先進化対策」と「関係人口」のような島外の人材を巻き込む取組み」(9件)の順に続いています。

1 居住経緯別でも、「ずっと島内に居住している」、「島外生まれ」、「Uターン」のいずれも「村の基幹産業である漁業、宿泊事業の事業継承や人手不足解消の取組み」の回答が最も多い。

表 16 産業振興策（全体）



<その他の意見(7件)>

近隣地区との連携強化

とりわけ宿泊業に関してはこれ以上家業として子や孫、親せきなどへ引きつげる状況にはない。旅館組合のような大きな枠組で宿を借り上げて従業員をつのり、運営していくような形でひとまずつないで行くしかない。現況では他人への継承は難しい。

何をやっても無駄。首都圏の血税でもある地方交付税の無駄遣いは止めて欲しい。

島のIT化を進め、ワーケーションやノマドワーカーが住める島自然×ITの島にする。島に仕事がなくとも働ける人を呼び込む定住でなくても拠点を置いてもらう

持続可能な資源管理を基本とした産業の再構築(漁業、観光)

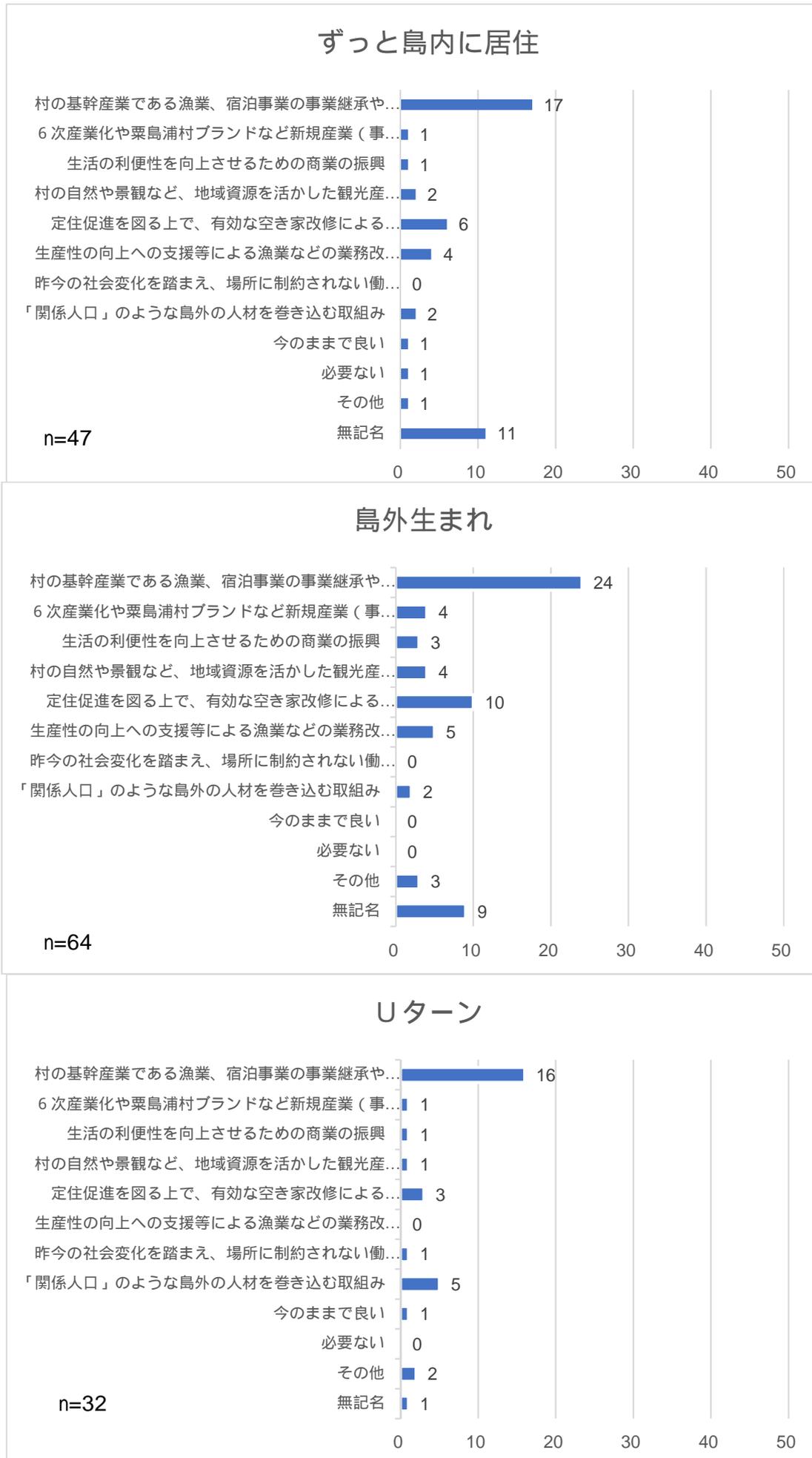
1~10すべてどれも重要。

よくわからない

(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 1件

✓人材もないし、あまり、背伸びは必要ない。

表 16 回答者（居住経緯毎）の産業振興策



調査の結果 - 6 今後のむらづくりについて

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
村の基幹産業である漁業、宿泊事業の事業継承や人手不足解消の取組み	17	36.2%	24	37.5%	16	50.0%	2	22.2%	59	38.8%
6次産業化や粟島浦村ブランドなど新規産業(事業)の創出	1	2.1%	4	6.3%	1	3.1%	0	0%	6	3.9%
生活の利便性を向上させるための商業の振興	1	2.1%	3	4.7%	1	3.1%	1	11.1%	6	3.9%
村の自然や景観など、地域資源を活かした観光産業の振興	2	4.3%	4	6.3%	1	3.1%	1	11.1%	8	5.3%
定住促進を図る上で、有効な空き家改修による「空家活用」の促進	6	12.8%	10	15.6%	3	9.4%	1	11.1%	20	13.2%
生産性の向上への支援等による漁業などの業務改革及び先進化対策	4	8.5%	5	7.8%	0	0%	0	0%	9	5.9%
昨今の社会変化を踏まえ、場所に制約されない働き方の普及	0	0%	0	0%	1	3.1%	0	0%	1	0.7%
「関係人口」のような島外の人材を巻き込む取組み	2	4.3%	2	3.1%	5	15.6%	0	0%	9	5.9%
今のままで良い	1	2.1%	0	0%	1	3.1%	0	0%	2	1.3%
必要ない	1	2.1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.7%
その他	1	2.1%	3	4.7%	2	6.3%	1	11.1%	7	4.6%
無記名	11	23.4%	9	14.1%	1	3.1%	3	33.3%	24	15.8%
合計	47	100%	64	100%	32	100%	9	100%	152	100%

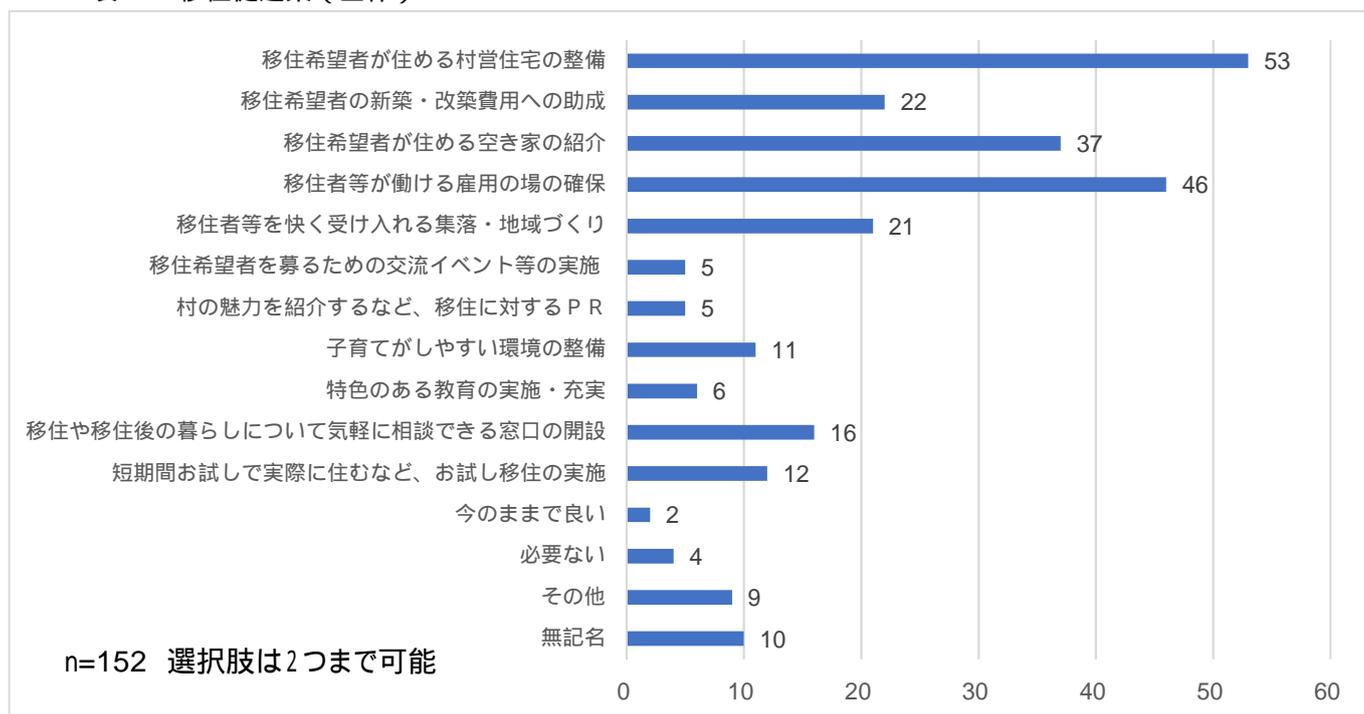
移住促進策

問 あなたは、移住促進のために、どのようなことが必要だと思いますか。2つまで選択可能

全体でみると、「移住希望者が住める村営住宅の整備」が最も多く(53件)、次いで「移住者等が働ける雇用の場の確保」(46件)、「移住希望者が住める空き家の紹介」(37件)の順です。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」と「島外生まれ」は「移住希望者が住める村営住宅の整備」が最も多い。一方で、「Uターン」は「移住者等が働ける雇用の場の確保」の回答が最も多い。

表 17 移住促進策(全体)



<その他の意見(9件)>

移住して最後まで住み続けられる環境作り
仕事

ただ単に移住者を入れれば良いのではなく、家庭を持ち家族を持ち、定住していくためのビジョンが必要。現状では土地を手放すことに抵抗がある。独居世帯への加算税導入と下宿の推奨。別荘のように使っている空家への増税。医療体制のさらなる充実

島ルールは移住者にとって邪魔でしかない。まずは、島民の考え方を変えるべき。島民は早急に、本土の人間と同じ感覚に変えさせなければ潰れる。

医者や常駐、食環境の整備(店、飲食店、スーパー)

役場の人自身が村人との交流をさけている様にみえるそれで、移住者に協力出来るのかギモンです

移住促進に向けた移住者への行政のマジメなバックアップ体制。行政は本気で移住者を増やそうとしてないので、本当にマジメに考えてほしい。国の補助金のUターン支援金など使えないのは、島の行政が仕事してないから。

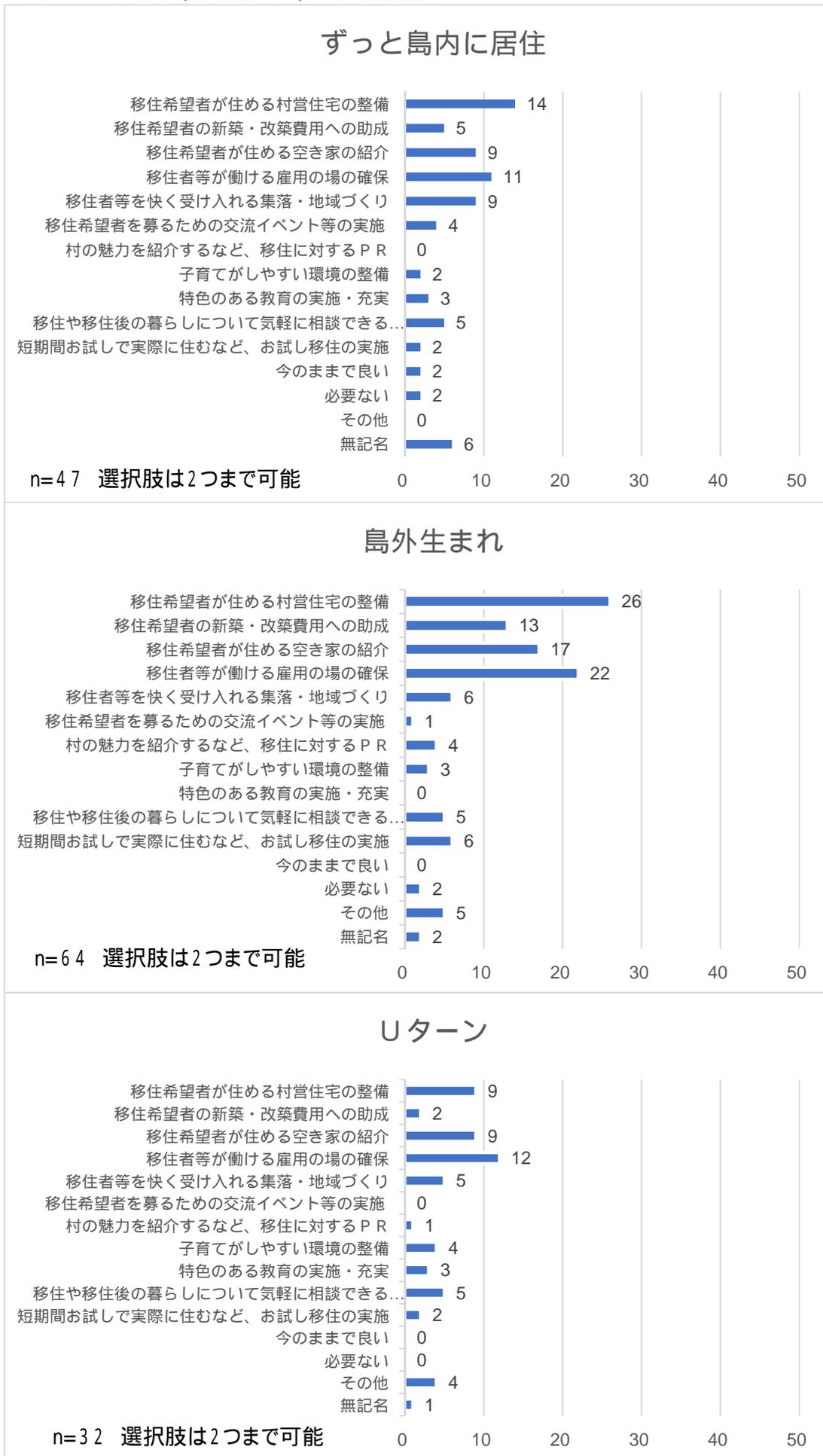
移住者の声が聞ける・届く場作り

(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 2件

✓よそから島に来て迎えて暮らしやすかったりすれば必ず人口は増える方に行くのでは?その為何が必要かを考えた方が良いのでは?

✓働ける、人の島への誘致を、進めてもらいたい。

表 17 回答者（居住経緯毎）の移住促進策



調査の結果 - 6 今後のむらづくりについて

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
移住希望者が住める村営住宅の整備	14	18.9%	26	23.2%	9	15.8%	4	25.0%	53	20.5%
移住希望者の新築・改築費用への助成	5	6.8%	13	11.6%	2	3.5%	2	12.5%	22	8.5%
移住希望者が住める空き家の紹介	9	12.2%	17	15.2%	9	15.8%	2	12.5%	37	14.3%
移住者等が働ける雇用の場の確保	11	14.9%	22	19.6%	12	21.1%	1	6.3%	46	17.8%
移住者等を快く受け入れる集落・地域づくり	9	12.2%	6	5.4%	5	8.8%	1	6.3%	21	8.1%
移住希望者を募るための交流イベント等の実施	4	5.4%	1	0.9%	0	0%	0	0%	5	1.9%
村の魅力を紹介するなど、移住に対するPR	0	0%	4	3.6%	1	1.8%	0	0%	5	1.9%
子育てがしやすい環境の整備	2	2.7%	3	2.7%	4	7.0%	2	12.5%	11	4.2%
特色のある教育の実施・充実	3	4.1%	0	0%	3	5.3%	0	0%	6	2.3%
移住や移住後の暮らしについて気軽に相談できる窓口の開設	5	6.8%	5	4.5%	5	8.8%	1	6.3%	16	6.2%
短期間お試しで実際に住むなど、お試し移住の実施	2	2.7%	6	5.4%	2	3.5%	2	12.5%	12	4.6%
今のままで良い	2	2.7%	0	0%	0	0%	0	0%	2	0.8%
必要ない	2	2.7%	2	1.8%	0	0%	0	0%	4	1.5%
その他	0	0%	5	4.5%	4	7.0%	0	0%	9	3.5%
無記名	6	8.1%	2	1.8%	1	1.8%	1	6.3%	10	3.9%
合計	74 47人	100%	112 64人	100%	57 32人	100%	16 9人	100%	259 152人	100%

将来を支える次世代づくり

問 あなたは、将来を支える次世代を育成するため、どのようなことが必要だと思いますか。

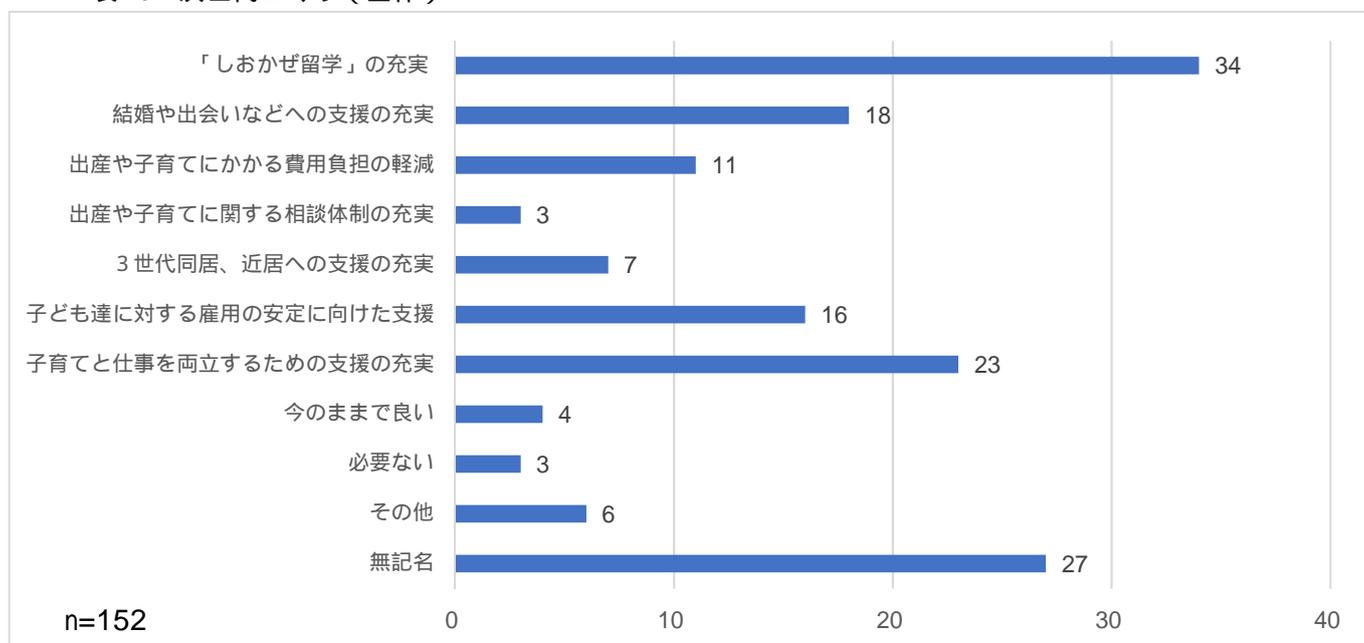
全体でみると、「しおかぜ留学」の充実が最も多く(34件)、次いで「子育てと仕事を両立するための支援の充実」(23件)、「結婚や出会いなどへの支援の充実」(18件)の順です。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」、「島外生まれ」、「Uターン」のいずれも「しおかぜ留学」の充実が最も多い。

「ずっと島内に居住している」の2番目に多い回答は、「子育てと仕事を両立するための支援の充実」となっている。

一方、「島外生まれ」と「Uターン」の2番目に多い回答は、「結婚や出会いなどへの支援の充実」となっている。「島外生まれ」は、「結婚や出会いなどへの支援の充実」と同様に、「子育てと仕事を両立するための支援の充実」も2番目に多い回答となっている。

表 18 次世代づくり(全体)



<その他の意見(6件)>

生活できる環境造り(上記2~7と医療に係る費用の軽減)

教育(便利さや物の豊かさを求める生き方だけでなくいろいろな価値観を養うことのできる教育を)

現状のままでは、次世代は育たず島は無くなる。早急に近隣市町と合併した方が良い。

魅力的な仕事の創出による島へ対する価値観の向上

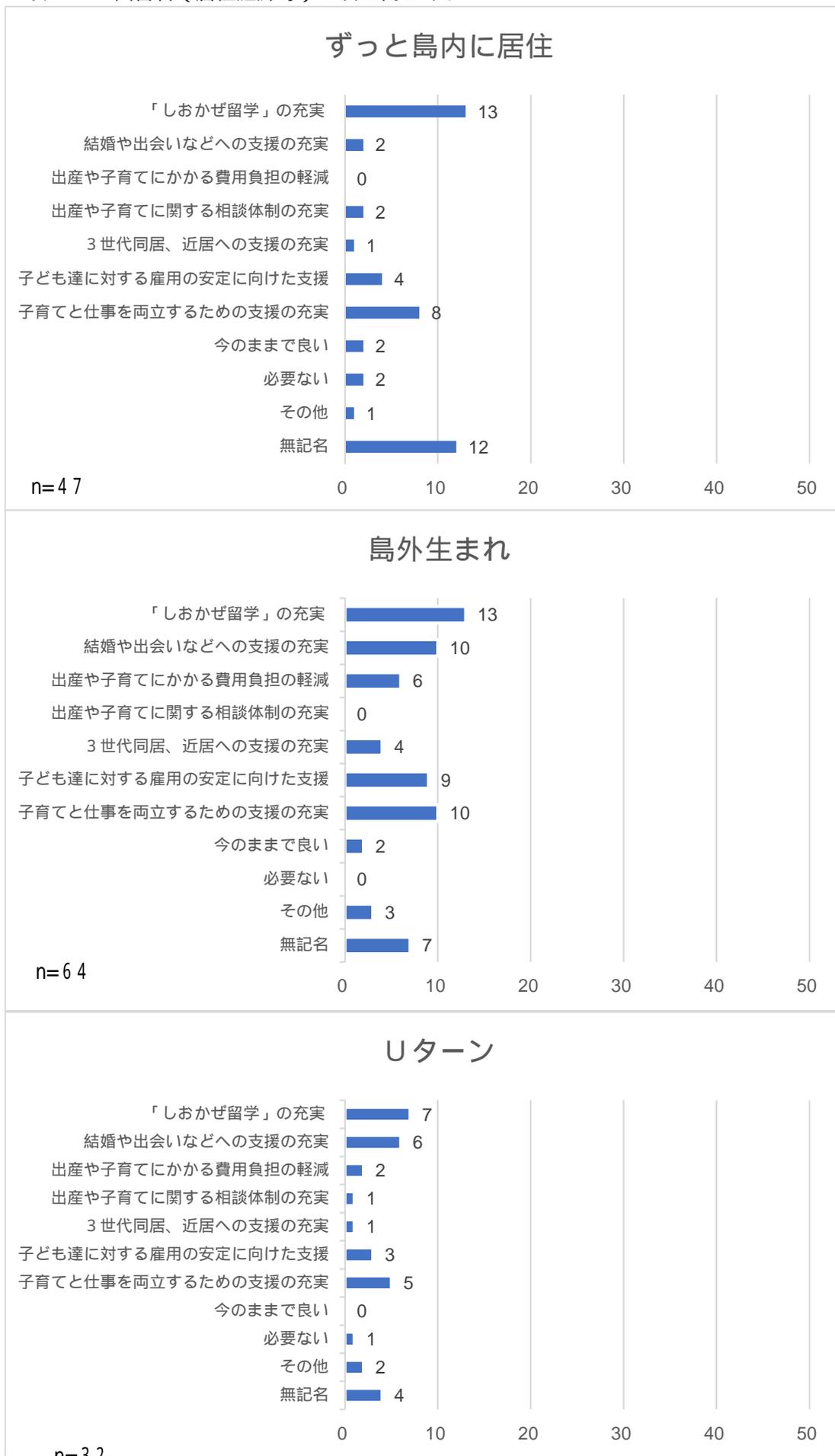
島外からの移住者、若者(20~40代)に道をゆずり、高齢者は、よそ者・若者の行動を支援すること。出るくいを伸ばすこと。島のおじ・おばあだけでやっても島の未来はない。

子供のいる家族を多く受け入れ、住みやすい環境。しおかぜ留学は、高校生になると一緒に生活を共にする事はないので、粟島の子供は今、粟島をはなれると同級生がいる学年は少ないです。特に高校生になると、地元から通ってくる子供が多く、積極的な子供は、問題はないと思いますが、少人数で育ってきて、自分から輪の中に入って行くのも難しい子供もいます。親元をはなれ、一緒に行動できる同級生がいてくれると粟島の子供にとって大きな存在だと思います。

(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 1件

✓将来家を継ぐこと意識させる世論形成

表 18 回答者（居住経緯毎）の次世代づくり



調査の結果 - 6 今後のむらづくりについて

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
子ども達が粟島浦村の良さを体感し、郷土愛を高められる「しおかぜ留学」の充実	13	27.7%	7	20.3%	7	21.9%	1	11.1%	34	22.4%
結婚や出会いなどへの支援の充実	2	4.3%	3	15.6%	6	18.8%	0	0%	18	11.8%
出産や子育てにかかる費用負担の軽減	0	0%	0	9.4%	2	6.3%	3	33.3%	11	7.2%
出産や子育てに関する相談体制の充実	2	4.3%	2	0%	1	3.1%	0	0%	3	2.0%
3世代同居、近居への支援の充実	1	2.1%	10	6.3%	1	3.1%	1	11.1%	7	4.6%
子ども達に対する雇用の安定に向けた支援	4	8.5%	9	14.1%	3	9.4%	0	0%	16	10.5%
子育てと仕事を両立するための支援の充実	8	17.0%	4	15.6%	5	15.6%	0	0%	23	15.1%
今のままで良い	2	4.3%	0	3.1%	0	0%	0	0%	4	2.6%
必要ない	2	4.3%	6	0%	1	3.1%	0	0%	3	2.0%
その他	1	2.1%	10	4.7%	2	6.3%	0	0%	6	3.9%
無記名	12	25.5%	13	10.9%	4	12.5%	4	44.4%	27	17.8%
合計	47 47人	100%	64 64人	100%	32 32人	100%	9 9人	100%	152 152人	100%

暮らしやすい「むらづくり」

問 粟島浦村を暮らしやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

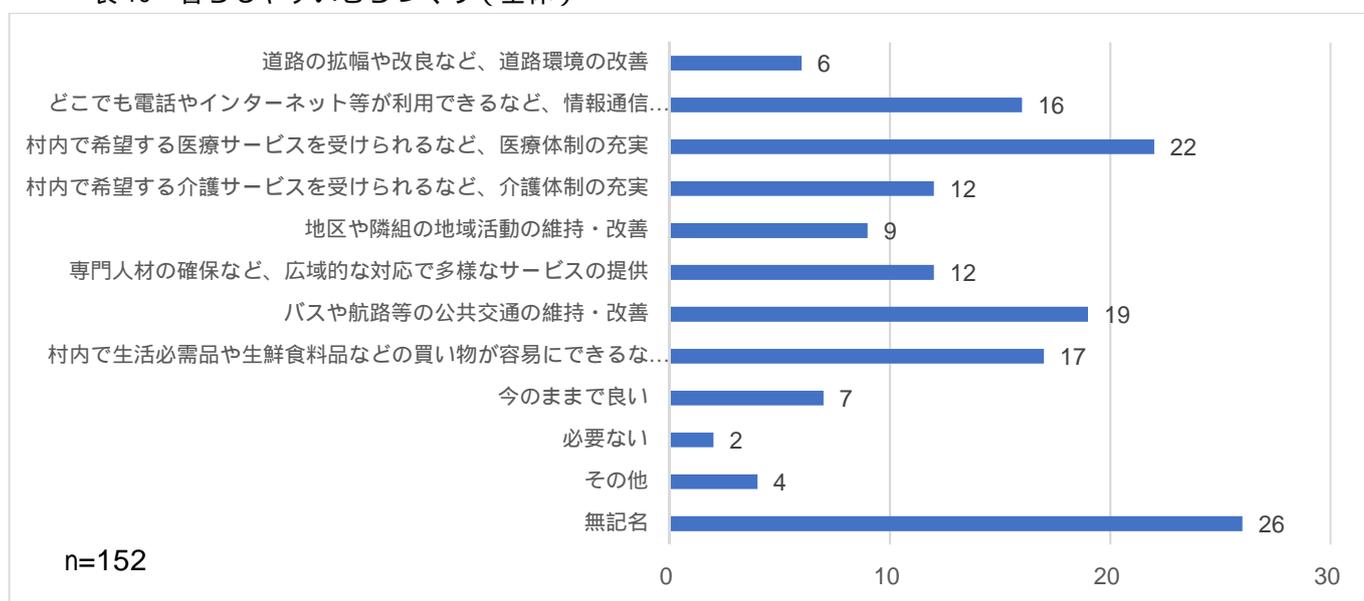
全体でみると、「村内で希望する医療サービスを受けられるなど、医療体制の充実」が最も多く(22件)、次いで「バスや航路等の公共交通の維持・改善」(19件)、「村内で生活必需品や生鮮食料品などの買い物が容易にできるなど、サービスの充実」(17件)の順となっている。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」の回答割合は、「村内で希望する医療サービスを受けられるなど、医療体制の充実」が最も多く、次いで「村内で希望する介護サービスを受けられるなど、介護体制の充実」の順となっている。

「島外生まれ」の回答割合は、「どこでも電話やインターネット等が利用できるなど、情報通信環境の充実」と「バスや航路等の公共交通の維持・改善」が最も多くなっている。

「Uターン」の回答割合は、「どこでも電話やインターネット等が利用できるなど、情報通信環境の充実」が最も多くなっている。

表 19 暮らしやすいむらづくり(全体)



< その他の意見(4件) >

島民の考え方の根本でもある、おんぶに抱っこのような考え方は無くすことが必要。粟島浦村を暮らしやすくするためには、本土と同じ考え方、生き方が必要。ルールを守らない島民が多く犯罪も発生しているので警察を常駐させるべき。社会を舐めすぎな島民が多い。

生活の基本となる食の部分、船を使うため、物価が高くなる為、島で食品など買わない様な気がします。(特に役場の人)

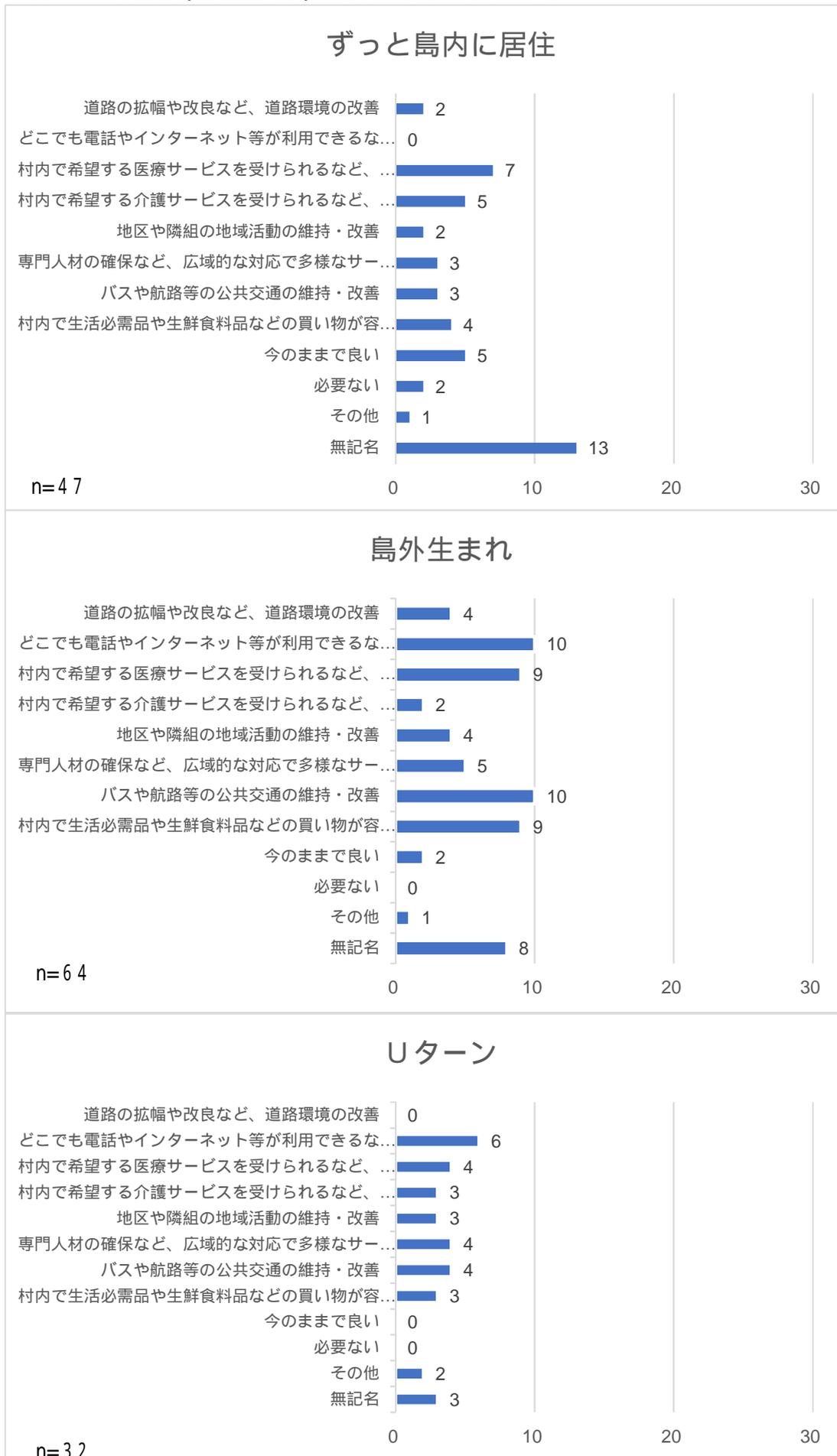
まず、島内出身者は移住者の意見を受け入れること。産業に関しては新しいことにチャレンジすること。(行政はIT推進をしっかりとすすめてデジタルに強い行政をすること。手続きを簡業化する。行政職員の負担を減らすこと。離島留学生をもっと受け入れること。島が注力すべきは、産振・教育・IT。そのためにも行政はもっとスリム化効率化してください。

Uターンできる環境であってほしい。そうすれば空家もへる

(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 3件

- ✓ 役場の感じが悪いのでそこを改善すればもっと良くなる。
- ✓ 午前中に温泉を開いておき有料のサービスを増やす。居酒屋等の増加島民が島にお金を落とす物を増やす。サービスにはしっかり黒字になるよう割高でいい。ボイラー給油のサービスは助かる。
- ✓ 今まで通り、続けられれば、それでよい。

表 19 回答者（居住経緯毎）の暮らしやすいむらづくり



調査の結果 - 6 今後のむらづくりについて

	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
道路の拡幅や改良など、道路環境の改善	2	4.3%	4	6.3%	0	0%	0	0%	6	3.9%
どこでも電話やインターネット等が利用できるなど、情報通信環境の充実	0	0%	10	15.6%	6	18.8%	0	0%	16	10.5%
村内で希望する医療サービスを受けられるなど、医療体制の充実	7	14.9%	9	14.1%	4	12.5%	2	22.2%	22	14.5%
村内で希望する介護サービスを受けられるなど、介護体制の充実	5	10.6%	2	3.1%	3	9.4%	2	22.2%	12	7.9%
地区や隣組の地域活動の維持・改善	2	4.3%	4	6.3%	3	9.4%	0	0%	9	5.9%
専門人材の確保など、広域的な対応で多様なサービスの提供	3	6.4%	5	7.8%	4	12.5%	0	0%	12	7.9%
バスや航路等の公共交通の維持・改善	3	6.4%	10	15.6%	4	12.5%	2	22.2%	19	12.5%
村内で生活必需品や生鮮食料品などの買い物が容易にできるなど、サービスの充実	4	8.5%	9	14.1%	3	9.4%	1	11.1%	17	11.2%
今のままで良い	5	10.6%	2	3.1%	0	0%	0	0%	7	4.6%
必要ない	2	4.3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1.3%
その他	1	2.1%	1	1.6%	2	6.3%	0	0%	4	2.6%
無記名	13	27.7%	8	12.5%	3	9.4%	2	22.2%	26	17.1%
合計	47 47人	100%	64 64人	100%	32 32人	100%	9 9人	100%	152 152人	100%

7 持続可能な役場体制について

① サービスと負担

問 将来、栗島浦村を取り巻く状況は、少子高齢化の進行などの社会構造の変化を受けて、今までのようなサービスを維持することが困難になることが見込まれます。あなたの考えに最も近い番号に 印をつけてください。

全体でみると、「負担がかなり増えても、多様なサービスを受けたい」「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」を合わせた回答が 49.3 であり、「負担は現在のままで、ある程度サービスが低下してもやむを得ない」「負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい」を合わせた 39.5% に比べ、9.8 ポイント高い。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」、「島外生まれ」、「Uターン」のいずれも、「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」の回答が最も高くなっている(30% ~ 38%)。

表 20 サービスと負担（全体）

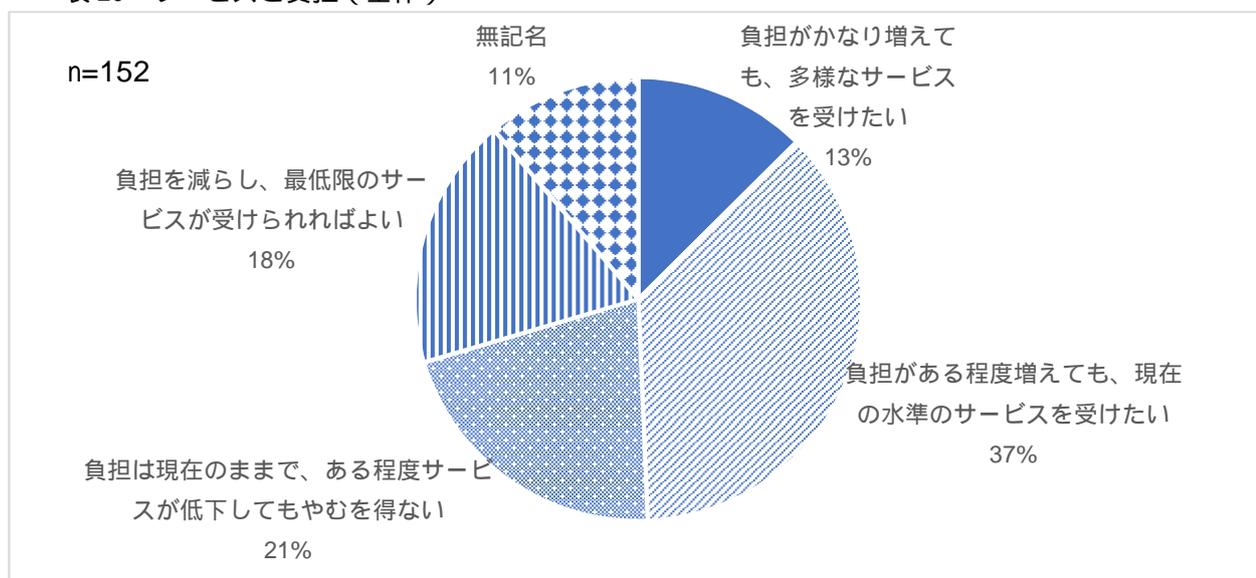
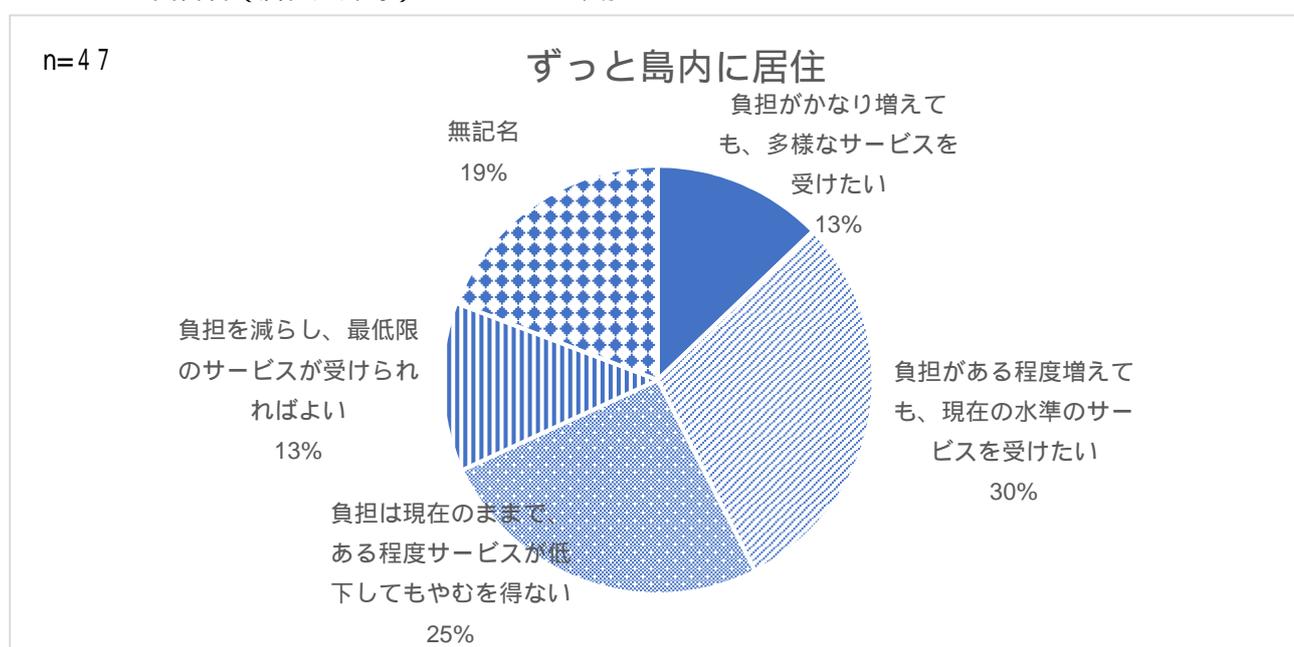
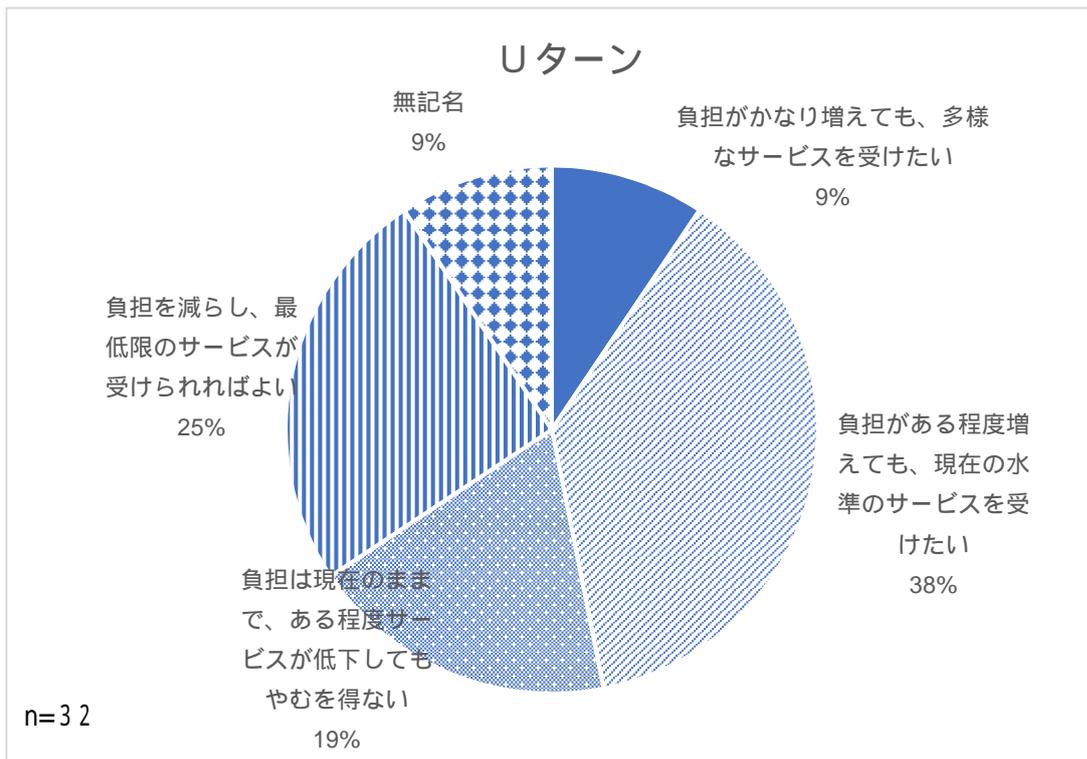
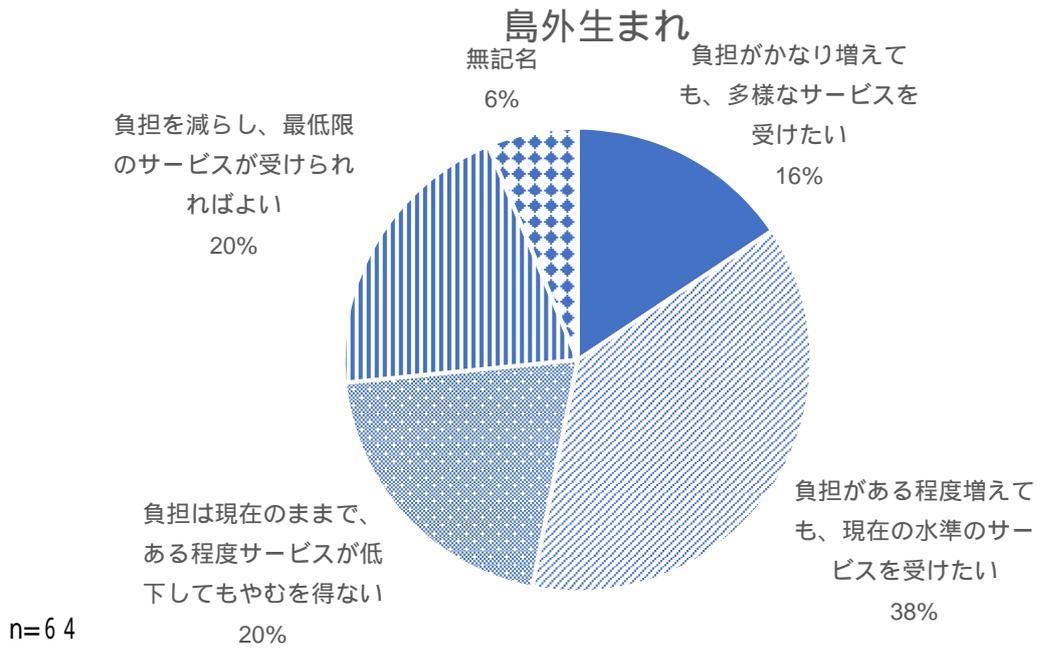


表 20 回答者（居住経緯毎）のサービスと負担



調査の結果 - 7 持続可能な役場体制について



	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
負担がかなり増えても、多様なサービスを受けたい	6	12.8%	10	15.6%	3	9.4%	0	0%	19	12.5%
負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい	14	29.8%	24	37.5%	12	37.5%	6	66.7%	56	36.8%
負担は現在のままで、ある程度サービスが低下してもやむを得ない	12	25.5%	13	20.3%	6	18.8%	1	11.1%	32	21.1%
負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい	6	12.8%	13	20.3%	8	25.0%	1	11.1%	28	18.4%
無記名	9	19.1%	4	6.3%	3	9.4%	1	11.1%	17	11.2%
合計	47 47人	100%	64 64人	100%	32 32人	100%	9 9人	100%	152 152人	100%

見直しのサービス

問 将来にわたり持続可能な村づくり（行財政運営）を進めるために、大胆な見直しも必要です。役場業務のうち、施設や事業など、あるいは村民向けのサービスなど今後、縮小又は廃止してもやむを得ないと思うものは何だと思いませんか。 2つまで選択可能

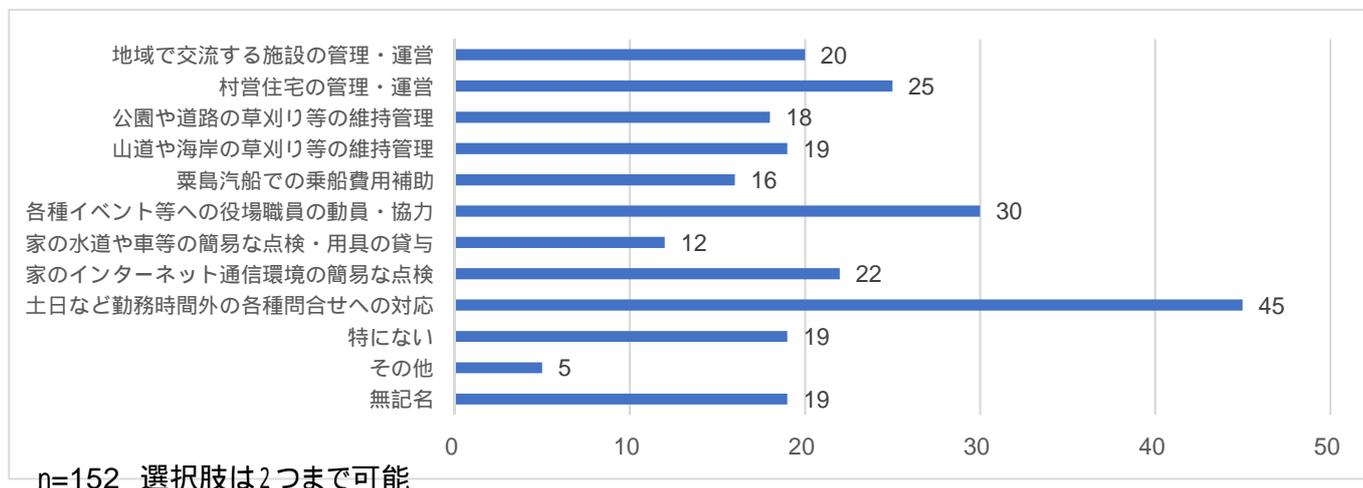
全体でみると、「土日など勤務時間外の各種問合せへの対応」が最も多く(45件)、次いで「各種イベント等への役場職員の動員・協力」(30件)、「村営住宅の管理・運営」(25件)の順となっている。

1 居住経緯別でみると、「ずっと島内に居住している」の回答割合は、「土日など勤務時間外の各種問合せへの対応」が最も多く、次いで「山道や海岸の草刈り等の維持管理」、「粟島汽船での乗船費用補助」の順となっている。

「島外生まれ」の回答割合は、「土日など勤務時間外の各種問合せへの対応」が最も多く、次いで「各種イベント等への役場職員の動員・協力」、「家のインターネット通信環境の簡易な点検」の順となっている。

「Uターン」の回答割合は、「土日など勤務時間外の各種問合せへの対応」が最も多く、次いで「地域で交流する施設の管理・運営」の順となっている。

表 21 見直しのサービス（全体）



調査の結果 - 7 持続可能な役場体制について

< その他の意見 (5件) >

校内への委嘱

島民は何でもかんでも役場に頼りすぎ。村内清掃は、本土では各区長が仕切り、区長が中心になって行うため、役所の職員が仕事に手伝うことはありえない。

本当に持続可能な村と考えるならば、上記で減せるものは一つもない。不便になることを前提に村づくりをしていくのならば、人は住まなくなる。本気で持続可能を考えていますか？

有りすぎて書けません

全部必要だと思うけど、

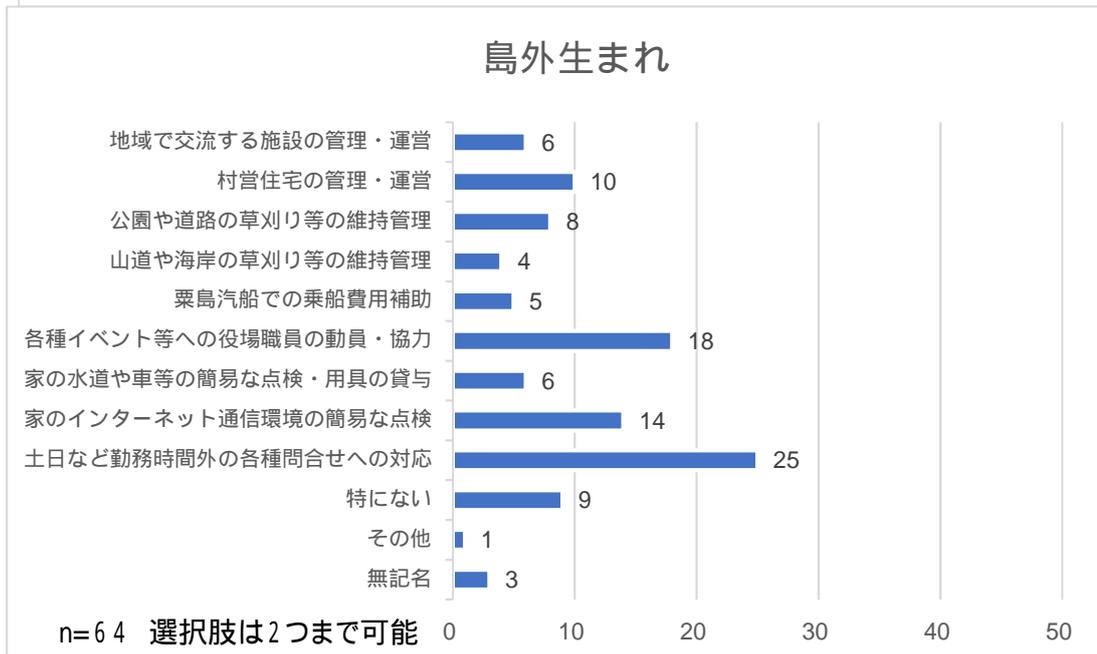
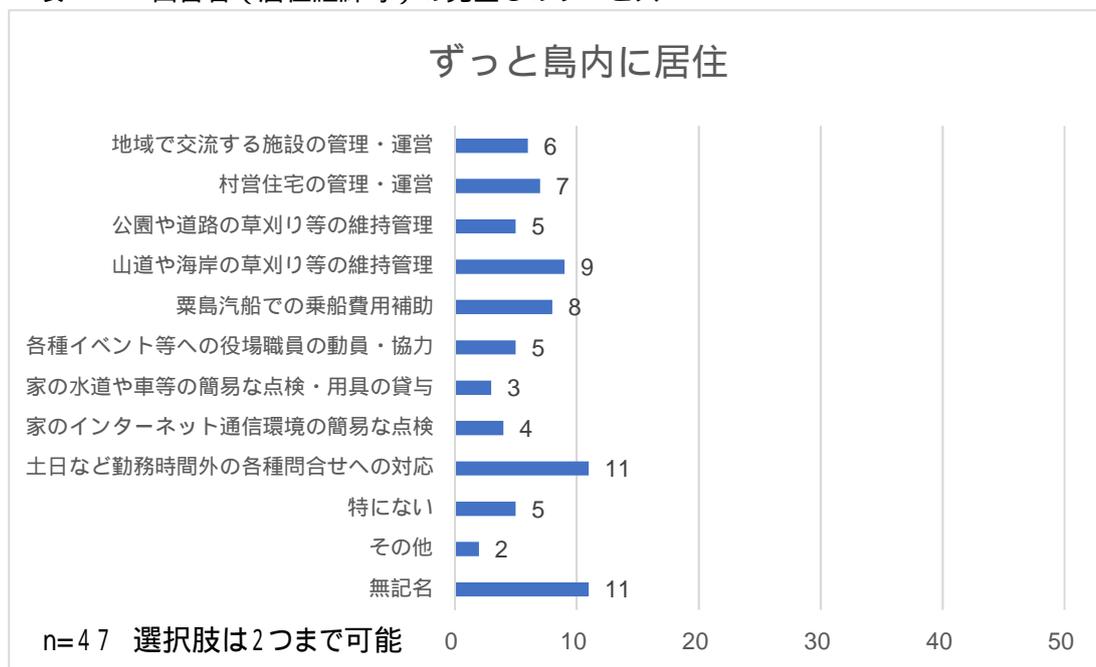
(参考) 選択肢は「その他」を選んでいないが、記述があったもの 3件

✓どこか変わって問い合わせ先あれば。

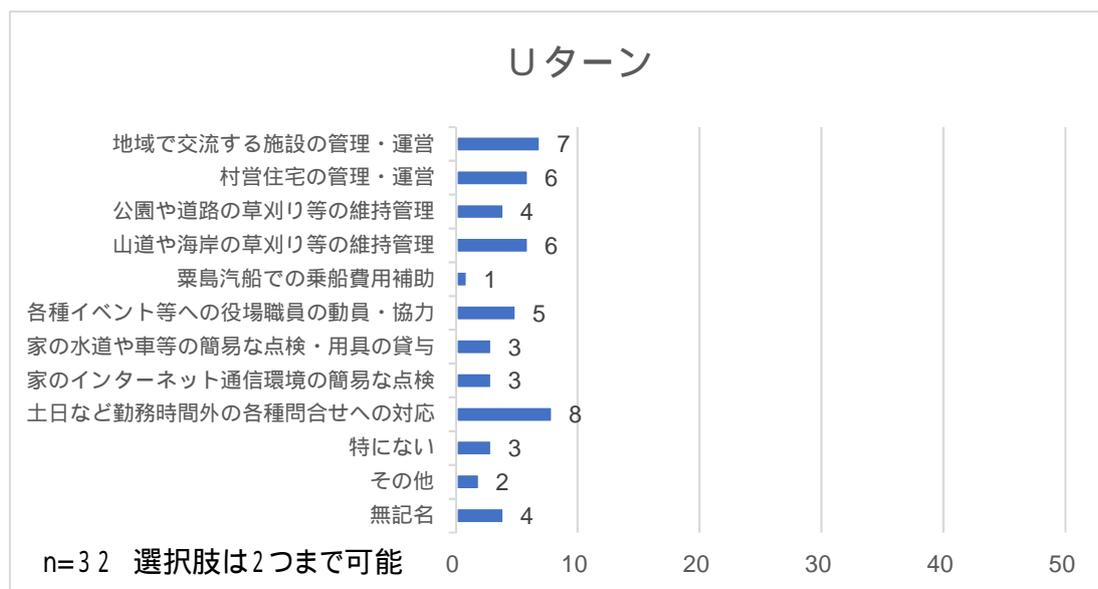
✓3、4 共に全部廃止ではなく縮小・最小限必要なところはやる。

✓船はフェリーだけで良い。9 はセコムではなく当番でケイタイにつながるようにする。不審者予防には良い

表 21 回答者（居住経緯毎）の見直しのサービス



調査の結果 - 7 持続可能な役場体制について



	島内居住		島外生まれ		Uターン		無記名者		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
地域で交流する施設の管理・運営	6	7.9%	6	5.5%	7	13.5%	1	7.7%	20	8.0%
村営住宅の管理・運営	7	9.2%	10	9.2%	6	11.5%	2	15.4%	25	10.0%
公園や道路の草刈り等の維持管理	5	6.6%	8	7.3%	4	7.7%	1	7.7%	18	7.2%
山道や海岸の草刈り等の維持管理	9	11.8%	4	3.7%	6	11.5%	0	0%	19	7.6%
粟島汽船での乗船費用補助	8	10.5%	5	4.6%	1	1.9%	2	15.4%	16	6.4%
各種イベント等への役場職員の動員・協力	5	6.6%	18	16.5%	5	9.6%	2	15.4%	30	12.0%
家の水道や車等の簡易な点検・用具の貸与	3	3.9%	6	5.5%	3	5.8%	0	0%	12	4.8%
家のインターネット通信環境の簡易な点検	4	5.3%	14	12.8%	3	5.8%	1	7.7%	22	8.8%
土日など勤務時間外の各種問合せへの対応	11	14.5%	25	22.9%	8	15.4%	1	7.7%	45	18.0%
特にない	5	6.6%	9	8.3%	3	5.8%	2	15.4%	19	7.6%
その他	2	2.6%	1	0.9%	2	3.8%	0	0%	5	2.0%
無記名	11	14.5%	3	2.8%	4	7.7%	1	7.7%	19	7.6%
合計	76 47人	100%	109 64人	100%	52 32人	100%	15 9人	100%	250 152人	100%

8 自由意見

問 その他 村づくりに関してご意見がございましたらご自由にお書きください。

記述があったもの 42件

- ✓もう少しかんたんなアンケートが良いです。
- ✓プロジェクトマネージャーがいると聞いているが、何をしているか不明とよく言われているので仕事ぶりを知らせてほしい。
- ✓村民からアンケートをとったら、必ず広報で集計・発表してほしい。観光とは、「光」を「観る」と書きます。今年は「壁画」という魅力が加わりました。しかし、数年前から粟島一周の観光船廃業、定期船の減便があり、来年からは南回りの村道26号線工事のため粟島一周のサイクリングができなくなる等の、「魅力」が年々減ってきています。「光」を増やすこと、他の地域にない粟島独自の「光」を輝かせていくことが、これからの5年間に必要であり、村の存続のカギになると思います。
- ✓地域で交流する施設の管理運営についてさっこい交流館、老人いこいの家は区に管理運営をまかせた方が良くと思う。その他集落内道路薬園の草刈りなど区にまかせられるものは、委託をだし少しでも共助意識をもたせるべきと思う。
- ✓役場職員人材確保、小中学校、保育園・給食の確保、家屋の対策、砂防ダムの泥撤去予算、漁業者の人材確保、粟島(離島航路汽船の人材確保)、粟島汽船経営再建
- ✓この回答の集計は全て、住民に開示されることを希望します。
- ✓限界集落 消滅 といういろいろなフレーズが頭に浮かんできます。粟島だけではなく、日本全国の小さな村が変えている大きな問題です。生き残りをかけた、大胆な取り組みが必要不可欠定住人口を維持確保のための施策を早急に
- ✓空屋対策・災害避難所等の対策、また「海苔」とかその他の魚とかの養殖をやる事です。すべての人たち(協力隊を含む)にまず行政で仕事をさせるのではなく、自立した仕事を教えさせてそれに対するフォローをしてやるとか職員の採用を島の人たちではなく、長く住める人(島民)を採用した方が良く、という事は退職した後の「国保」に繋がってくるから、島外の人には必ずと言っていいほど自分の地元に戻ります。島民は島が地元ですので、「国保」にも役に立つはずで、協力隊とか移住者には栽培とか農業系の菜園とかで自活できるような支援するシステムを作る。それにはそれに対する知識人の採用とかを考えるようにする。キクラゲ、(ミニトマトと野菜)を出荷するようにする。
- ✓役場の皆様、日々粟島のために御尽力くださりありがとうございます。私はよく、夜に散歩をします。役場の脇を通ります。明るいです。ただただ頭が下がる思いです。どうかお体に気を付けてがんばってください。いつもありがとうございます。
- ✓このようなアンケートについても、紙ではなく、Formなどを利用することで、経費削減につながるのではないのでしょうか。
- ✓役場に頼らなければ行えないイベント等は、全て廃止で良い。何のための観光協会なのか理解に苦しむ。島民ひとりひとりが変わらなければならないとすれば役場は潰れる。とにかく現状のままでは役場存続は難しいので、近隣市町と合併して支所になった方が良く。
- ✓学校現場ではICTの活用が進み、他地域とオンラインでつながることができています。またタブレットの活用により児童生徒がいつでも自分の学びたいことにふれることができます。しかし、機器の関係で「光(WAN)が100%の力を発揮できていない」という話です。今後も学びを進めるため、早急な対応をお願いしたいです。

- ✓とにかく字が小さくて読めない所があるのでこれからはもう少し見えやすい字でお願い致します。
- ✓島のIT化が進むだけで多くの若者の目にとまると思います。
- ✓このアンケート調査の結果を正しく、公表してもらいたい。(回収率や回答率等)。アンケート項目が多く、また小さい文字のため、高齢者には回答が難しすぎたのではないかと？議会の公開制が大切。(当日現場で傍聴ができない人のためにも、ライブ配信や音声だけでもオフトークで流すなど、改善ができるはず。
- ✓現代のやり方に合っていないものや、実施しなくてもいいもの等やり方を変えれば状況が変化するものが、たくさん埋まっていると思うので、これからの世代に合わせて変えていってほしい。
- ✓役場のみなさん、いつもありがとうございます。誰もがオーバーワークせず、楽しくらせるように改善していけたらと思います。
- ✓役場はいつも遅くまで仕事をしていて大変だと思います。が、ブラック企業と同じような働き方です。そんな子どもが戻ってきて働こうと思いません。改革が必要なことは多くあると思いますが、早く改めた方が良くと思います。
- ✓教育委員会の内情は個人的によくわかりませんがしおかせ保護者の方から困っているとの声が多々聞かれ返答に何を言っているかわからない事がありこちらも困る事があります。男子寮だけ話を知らされず後日やっと練絡が来るとか、教育委員会内部の関係性の問題をしおかせ保護者に教育委員会の人から言われて悪いイメージしかもてないなどです。島外の方から言われ大人として大変恥しい話だと思えます。内情の事は早めに解消していただきたいです。
- ✓①島の基幹産業定置網人手不足で水あげ望めない定置継続～観光と民宿、粟島汽船の運営を望む 迎学生継続～ボク場等)小中学校維持人口問題 現在の島民高齢者で実行力がない。若い力移住者を望む。
- ✓大切なのは、行政が「決めたことをやり切る」こと。決めたこともやらないようでは、どんなに素晴らしいアイデアや政策も意味がない。できるできないの前に、まずは決めたことをやってほしい。
- ✓役場でpaypay登録しているのであれば、おと姫の湯、バスなどで利用できるようになってほしい
- ✓自動運転のかわいいバスで内浦と釜谷を気軽に行ききたい。島の風景を見に行きたい。かわいい自動配達ロボットに郵便配達(いつ見ても大変そうなのが気になる)や役場の配り物をまかせる。
- ✓島内には、いろいろな資格、スキルを持った方がたくさんいらっしゃいます。その方々の力をおかりして、役場の仕事で、島内の方に発注できるものはして、職員の方の負担を減らすことも、考えてはいかがでしょうか(資格のみでなく魚を捌くのが得意料理、清掃 etc…。自分の得意なことで島を助けたいと思っている人の人材バンクの登録活用はいかがでしょうか、年寄りにこのアンケートは、むずかしいと思います。聞きとり調査をするか、年寄りには、もっと簡単なアンケートが良いと思います。
- ✓老人ホーム的な物があるといい、それで、老人パワーをつかい荒れ耕作をつかい生産の楽しみを作れば良いと思う。
- ✓もっと観光振興に力を入れてほしい。留学制度の充実と発展。
- ✓高齢者が安心して楽しく生活ができる、サポートがある環境をつくってほしい。例、「いきいき体操会」など、集ってお互いに話し合い、ストレス解消出来る場所。

- ✓村は財源が乏しいから金が村に集まるよう積極的に活動してもらいたい、たとえばふるさと納税にもっと力を入れてほしい
- ✓人口減少をくい止めるための政策が必要。特に来年は国勢調査を控えているのだから。留学生の増加、地域おこし隊員の増員など、人口増加を図る施策が必要。
- ✓栗島にこられる大企業に宣伝をしてこれる会社があったら栗島浦村と会社で協力をして、発展に向けてやっていければと思う。大企業に宣伝をする。
- ✓若い人達に嫁さんが来る様になるといいですね(村づくりになると思います、)どうでしょうか？
- ✓村長と議会の見直し・開かれた議会にしてほしい。・一般質問などライブ配信の実施。
- ✓民宿が少なくなって、泊まるのが困難になっていると思います。素泊りでもいいのでまず宿泊出来るスペースがあると助かる方が居ると思います。
- ✓観光にいかせるような森林整備を計画し竹林などをきれいにしてほしいです。
- ✓農地の宅地化、転用。栗島にしかない観光資源を創る。潜在的観光資源だけでは伸びない。養殖副業から本業への整備をし、雇用創出。
- ✓すべての分野で副業可能にしてほしい。
- ✓観光シーズンの前に、サイクリングロードや主要道路沿いは草刈りをした方が良くと思う。空き家を改修して、1棟ごと古民家宿泊施設になったらすてきだと思う。
- ✓災害がおきたときの場所をしっかりとってほしい。トイレとか。プライバシーとか。食べ物とか。ひなん場所しっかりとってほしい。タバコのポイ捨てをやめさせてほしい。タバコのポイ捨て多すぎ。
- ✓資料館を利用する人が増えるように。何かのイベントとかで使用したり工夫できたらなと思った。人が年々減ってるので昔みたいに沢山の人の協力もないし見る人も少ないので何かしら失くしても良いと思った。ずっと続けてきた行事とか。七夕様とか。色々。人手不足みたいになるくらいなら。島が良くなるなら色々ためすのも有りなのかなと。
- ✓何回も同じ様なアンケートを書いてきましたが、何も変わらない今回は変ってほしい。移住者の方も地域にとけこんでほしい。役場職員の方名前と顔がわからない
- ✓現役世代の増加なしでは、栗島の活性化は、見込めないと思います。その為に移住者にも住みやすい環境作りや支援も大事だと思います。個人的な意見ですが、移住者の方で、子供がいる家族が増えてくれると、栗島の子供の為に良い事だと思います。年をとったら、雪かき(小路をもっているのが大変です)、灯油の運び出しなどを考えると1人家に残ったら、栗島で過ごせるか不安です。
- ✓今後、より高齢者が増えていくことを考えると、医者の確保や介護施設に従事する職員の確保は必須であると考えます。確かに限界はあるかもしれないが、緊急事態の時に頼れる専門家(専門知識を持った人)がいることは、不安を取り除くことにもつながるため、身体に関わる分野についてはより一層の充実を図ってもらいたい。